



PLUMTREE PUBLISHER

管理者用ガイド

Plumtree Publisher 6.2

2005 年 9 月

この資料の内容は断り無く変更する場合がありますのでご了承ください。Plumtree Software, Inc. は、このマニュアルに関連する事項 (このマニュアルに記述されているソフトウェアの商品価値や特定の使用目的に対する責任などを含むがこれに限定されない) について、明示または黙示にかかわらずいかなる保証も行いません。このマニュアルにおける誤りまたはこのマニュアルの提供、有用性、利用等に関連または起因する損害について、Plumtree Software, Inc. はいかなる責任も負いません。

Copyright © 2001-2005 Plumtree Software, Inc. All rights reserved. Plumtree、Plumtree のロゴ、Plumtree Publisher、およびその他すべてのプラムツリーの製品名およびスローガンは、Plumtree Software, Inc. または米国およびその他の国における関連会社の商標または登録商標です。その他の製品名やスローガンは、各所有者に帰属する商標または登録商標です。

未出版：米国の著作権法の下で著作権が保護されています。著作権情報は、著作権侵害の予防手段として記載しているものであり、出版または公開を暗示するものではありません。

このソフトウェアには、プラムツリー ソフトウェアの秘密情報およびトレード シークレットが含まれています。このマニュアルの使用、公開、または複製は、プラムツリー ソフトウェアの事前の明示的な書面による許可が無い限り禁止します。

このライセンス ソフトウェアおよびマニュアルは、FAR Section 12.212 および DFARS Section 227.7202 で規定されている「commercial computer software (商用コンピュータ ソフトウェア)」、および「commercial computer software documentation (商用コンピュータ ソフトウェア マニュアル)」とみなされます。

ライセンス情報の詳細については、製品リリース パッケージのアトリビュション ファイルを参照してください。

本書に関してご意見がある場合は電子メールを次のアドレスに送付してください。documentation@plumtree.com

目次

1	Plumtree Publisher へようこそ	1-1
	記述方法	1-1
	このマニュアルで使用しているアイコンについて	1-2
	プラムツリーの資料	1-2
2	Plumtree Publisher のご紹介	2-1
	Publisher について	2-1
	Publisher の機能	2-1
	コンテンツの作成および発行の概要	2-1
	Publisher の機能およびエディタ	2-2
	Publisher ビルトイン ポートレット	2-5
	Publisher のフォルダ階層構造	2-6
	Publisher のユーザーと役割	2-6
	Publisher の役割	2-6
	Publisher のユーザー	2-7
	Publisher のアーキテクチャ	2-9
3	Publisher エクスプローラの使用	3-1
	Publisher エクスプローラについて	3-1
	Publisher エクスプローラのナビゲーション	3-2
	パス バーの使用方法	3-2
	ナビゲーション枠の使用方法	3-3
	テーブル枠の使用方法	3-3
	アクション バーの使用方法	3-3
	コンテキスト メニューの使用方法	3-4
	状態アイコンの表示	3-6
	表示設定	3-6
4	Publisher のフォルダ構造の設定および保護	4-1
	フォルダ構造の定義およびフォルダの管理	4-1
	Publisher のフォルダ構造	4-1
	新規フォルダの作成	4-4
	セキュリティの設定	4-4
	Publisher のセキュリティの概要	4-5
	「Publisher の管理」および「ワークフローの設定」ポータル アクティビティ権限の割り当て	4-8
	Publisher フォルダに対するユーザーおよび役割の割り当て	4-8
	Publisher セキュリティへのポータル セキュリティのマッピング	4-9
	発行ターゲットおよびプレビュー サイトの設定	4-11
	発行ターゲットおよびプレビュー サイト	4-11
	ルート フォルダに対する発行ターゲットおよびプレビュー サイトの設定	4-13
	その他の全てのフォルダに対する発行ターゲットおよびプレビュー サイトの設定	4-14
5	ワークフローの使用方法	5-1
	ワークフローについて	5-1
	ワークフローの設定	5-2
	[ワークフローの設定] アクティビティ権限の割り当て	5-2
	ワークフロー通知の設定	5-2
	ワークフローの定義および編集	5-3
	ワークフローの作成	5-3
	フォルダへのワークフローの添付	5-5
	ワークフローの処理	5-6
	ワークフローへのコンテンツ アイテムの提出	5-7
	ワークフロー アイテムの承認、拒否、転送、要求、および委任	5-7
	ワークフローの割り当ての詳細の表示	5-12
	ワークフローの上書き	5-12
	ワークフロー内のアイテムの Publisher フォルダごとの表示	5-12

6	発行済みコンテンツ ポートレットの作成	6-1
	提供ポートレット テンプレートを使用した発行済みコンテンツ ポートレットの作成および編集	6-1
	発行済みコンテンツ ポートレット用の提供テンプレート	6-1
	新しい発行済みコンテンツ ポートレットの作成	6-4
	ポートレット設定ウィザードを使用したポートレットの設定	6-5
	発行済みコンテンツ ポートレット用の提供テンプレートに含まれている編集可能なオブジェクト	6-7
	発行済みコンテンツ ポートレットの Publisher セキュリティの設定	6-10
	発行済みコンテンツ ポートレット フォルダの管理	6-12
	ブランド ポートレットの作成および編集	6-13
	発行済みコンテンツ ウェブ サービスを使用した発行済みコンテンツ ポートレットの作成および編集	6-13
	発行済みコンテンツ ウェブ サービスを使用したポートレットの作成	6-14
	発行済みコンテンツ ポートレットの削除	6-15
7	コンテンツ アイテムの作成および編集	7-1
	コンテンツ アイテム エディタを使用したコンテンツ アイテムの作成および編集	7-1
	コンテンツ アイテム エディタのアクセス方法	7-1
	コンテンツ アイテム エディタの使用	7-2
	コンテンツ アイテム エディタからのファイルおよびイメージの挿入および管理	7-6
	ファイル コンテンツ アイテムのアップロードおよび管理	7-9
	ファイル コンテンツ アイテムのアップロード	7-9
	WebDAV を使用したファイル コンテンツ アイテムの編集および管理	7-10
	コンテンツ アイテムのコピー、移動、名前の変更、および削除	7-10
8	コンテンツの発行および期限切れの設定	8-1
	発行について	8-1
	コンテンツ アイテムの発行	8-2
	発行済みコンテンツ アイテムの期限切れの設定	8-7
	期限切れについて	8-7
	コンテンツ アイテムの期限切れの設定	8-8
	期限切れの解除	8-9
9	データ入力テンプレートの作成	9-1
	データ入力テンプレートについて	9-1
	概要	9-1
	データ入力テンプレートに使用できるプロパティ タイプ	9-2
	提供データ入力テンプレート	9-6
	データ入力テンプレートの作成および編集	9-7
	データ入力テンプレート エディタの起動	9-7
	データ入力テンプレート エディタの使用	9-8
	データ入力テンプレートのコピー、移動、名前の変更、および削除	9-10
10	プレゼンテーション テンプレートの作成	10-1
	プレゼンテーション テンプレートの作成および編集	10-1
	プレゼンテーション テンプレート エディタの使用	10-2
	WYSIWYG エディタの使用	10-4
	単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレートの作成	10-4
	プレゼンテーション テンプレートのコピー、移動、名前の変更、および削除	10-5
	プレゼンテーション テンプレートのコード	10-5
	Plumtree Publisher エレメント (PCS タグ)	10-6
	プロパティ名	10-12
	表現	10-15

	タグ ヘルパーを使用してプレゼンテーション テンプレートのコードを作成する方法	10-20
	CSS および JavaScript ファイルの使用法	10-21
	プレゼンテーション テンプレート ツール	10-22
11	カスタム ポートレット テンプレートの設定	11-1
	発行済みコンテンツ ポートレット テンプレートについて	11-1
	発行済みコンテンツ ポートレット テンプレートの作成および設定	11-1
	前提条件	11-2
	ポートレット テンプレート設定ウィザードへのアクセス方法	11-2
	[メイン設定] ページの使用法	11-2
	[詳細設定] ページの使用法	11-3
	[オブジェクトのカテゴリ] ページの使用法	11-4
	[テンプレート セキュリティ] ページの使用法	11-4
	[ポートレット セキュリティ] ページの使用法	11-5
	ポートレット テンプレートの保存	11-6
12	WebDAV の使用	12-1
	ウェブ編集の有効化	12-1
	クライアントのセキュリティ設定	12-1
	ウェブ フォルダのマッピング機能の有効化	12-1
	フォルダのマッピング	12-2
	WebDAV 設定の設定	12-3
	Content.Properties ファイルを使用した WebDAV 機能の有効化および無効化	12-3
	ファイル タイプごとのウェブ編集機能の有効化および無効化	12-3
	IIS の設定	12-4
13	Publisher オブジェクトの移行	13-1
	Publisher オブジェクトの移行の概要	13-1
	Publisher オブジェクトのエクスポート	13-2
	ターゲット サイトへの Publisher オブジェクトのインポート	13-2

1 Plumtree Publisher へようこそ

このマニュアルは、Plumtree Publisher およびワークフロー サービスによるポータル コンテンツおよびブランドの管理を受け持つ管理ユーザーを対象にしています。

このマニュアルでは、Publisher の初期管理作業および継続的に実施する必要がある管理作業の実施方法について説明します。初めて Publisher をインストールする際は、以下の設定作業を実行するためのガイドブックとしてこのマニュアルを使用することができます。

1. Publisher のフォルダ階層構造の設定
2. Publisher のセキュリティ役割のポータル ユーザーおよびグループへの割り当て
3. ワークフローのセットアップおよび有効設定
4. ウェブ サーバーの発行場所の設定
5. 発行済みコンテンツ ポートレットの作成および設定 (コンテンツ アイテム、データ入力テンプレート、およびプレゼンテーション テンプレートなどのビルディング ブロックを含む)
6. 発行済みコンテンツ ポートレット テンプレートの作成および設定
7. WebDAV (ウェブベースの分散オーサリングおよびバージョン管理) 機能のセットアップおよび有効設定
8. データベース間の Publisher オブジェクトの移行

さらに、以下のエンドユーザー タスクを実行するためのガイドブックとしてこのマニュアルを使用することができます。

1. 発行済みコンテンツの作成
2. ワークフロー内のコンテンツ アイテムの処理

Publisher の初期インストール後も繰り返して実行する必要があるタスク、または、初期インストールでは適用されないが、Publisher の基本インストール環境を拡張した場合に適用する必要があるタスクの参考資料としてもこのマニュアルを使用することができます。

記述方法

このマニュアルでは、下記の記述方法を使用します。

表 1-1 : 記述方法

項目	記述方法	例
• ファイル名 • フォルダ名 • 画面要素	太字	• Procedures.doc をポータルにアップロードします。 • General フォルダを開きます。 • 変更内容を保存するには、[変更を適用] をクリックします。
入力するテキスト	コンピュータ フォント	コミュニティの名前に Marketing と入力します。

表 1-1 : 記述方法

項目	記述方法	例
入力する変数	コンピュータ フォント、斜め体	ポートレット サーバーのベース URL を入力してください。 例 : <code>http://my_computer/</code>
プラムツリー オブジェクト名の例	斜め体	図 5 のナレッジ ディレクトリの例は、 <i>Human Resources</i> フォルダです。

このマニュアルで使用しているアイコンについて

このマニュアルでは、下記のアイコンを使用します。



注意:「注意」アイコンは、段落の内容に関連するヒント、ベスト プラクティス、または追加情報を示します。



重要:「重要」アイコンは、段落の内容に関連する重要な情報（警告を含む）を示します。

プラムツリーの資料

この節では、プラムツリーが提供している資料およびリソースについて説明します。

表 1-2 : プラムツリーの資料およびリソース (3 の 1)

リソース名	説明
導入ガイド	ポータルをインストールまたは設定する前に、『プラムツリー エンタープライズ ウェブ導入ガイド』を参照し、ポータル コンポーネントのインストールのために行う必要のあるホスト コンピュータの準備、ポータルによる通信のためのセキュリティ モード、管理権限の委任、およびポータルから利用できるようにするドキュメントのソースとタイプ等、ポータル システムに関する明確なプランを立ててください。
インストールガイド、およびアップグレード ガイド	ポータル管理者用のマニュアルです。これらのマニュアルでは、Plumtree Publisher サーバーのインストール方法およびアップグレード方法について説明します。 Plumtree Product Center から電子形式（PDF）で入手できます。
リリース ノート	ポータル管理者用のファイルです。そのリリースに含まれている新しい機能や既知の問題に関する情報が含まれています。 Plumtree Product Center から電子形式（HTML）で入手できます。

表 1-2: プラムツリーの資料およびリソース (3 の 2)

リソース名	説明
開発者用ガイド、クイックスタートガイド、API 関連資料、およびサンプル コード	開発者用の資料です。これらには、エンタープライズ ウェブのユーザー インタフェースおよび機能のカスタマイズ方法の説明が記載されています。 Plumtree Support Center または Developer Center から入手可能なプロダクト インストール パッケージに含まれています。
オンライン ヘルプ	オンライン ヘルプは、ポータルすべてのレベルのユーザーが利用できます。Plumtree Publisher のユーザー インタフェースの説明および Publisher で作業を行うための詳細手順が記載されています。 オンライン ヘルプにアクセスするには、すべての Publisher ページまたはダイアログ ボックスの右上の端にある ? [ヘルプ] をクリックしてください。
Plumtree Support Center	Plumtree Support Center は、プラムツリー製品に関する技術情報の総合的なリポジトリです。Support Center では、製品およびドキュメントへのアクセス、ナレッジベースの記事の検索、最新のニュースや情報の参照、サポート コミュニティへの参加、トレーニングの受講、プラムツリー関連のニーズに適合するツールの入手を行うことができます。Support Center には次のコミュニティが含まれています。 Technical Support Center サポート問題や機能要求の提出および追跡、ナレッジ ベースの検索、サービス バックおよびホット フィックスのダウンロード等を行うことができます。 Deployment Center エンタープライズ ウェブ導入の展開、促進、および管理のためのツールの検索を行うことができます。同僚との戦略的なビジネスおよび技術目標への取り組み、アプリケーションのベストプラクティスの習得、ポータルの起動例のダウンロード、投資回収率の算出を行うことができます。 Product Center プロダクトのダウンロード、リリース ノートの参照、最新のプロダクト資料へのアクセスが可能です。 Developer Center 開発者用のツールや資料をダウンロードしたり、開発プロジェクトに対してサポートを得たり、ディスカッション フォーラムを通じて他の開発者と連絡を取ることができます。 Education Center トレーニング コースに関する情報の入手、トレーニング クレジットの購入、受講するための登録を行うことができます。 次のサイトにログインしても Support Center が表示されない場合は、アクセス権を得るために support@plumtree.com にお問い合わせください。 http://portal.plumtree.com

表 1-2 : プラムツリーの資料およびリソース (3 の 3)

リソース名	説明										
技術サポート	<p>上記のリソースを使用しても問題を解決できない場合は、プラムツリー技術サポートにお問い合わせください。弊社のスタッフが、24 時間 365 日体制でお客様の技術サポート ニーズに対応致します。</p> <p>電子メール : support@plumtree.com</p> <p>電話番号 :</p> <table> <tr> <td>米国およびカナダ</td><td>+1 415.263.1696 または +1 866.262.PLUM (7586)</td></tr> <tr> <td>アジア パシフィック</td><td>+61 2.9931.7822</td></tr> <tr> <td>ヨーロッパおよび英国</td><td>+44 (0)1628 589124</td></tr> <tr> <td>フランス</td><td>+33 1.46.91.86.79</td></tr> <tr> <td>シンガポール</td><td>+65 6832.7747</td></tr> </table>	米国およびカナダ	+1 415.263.1696 または +1 866.262.PLUM (7586)	アジア パシフィック	+61 2.9931.7822	ヨーロッパおよび英国	+44 (0)1628 589124	フランス	+33 1.46.91.86.79	シンガポール	+65 6832.7747
米国およびカナダ	+1 415.263.1696 または +1 866.262.PLUM (7586)										
アジア パシフィック	+61 2.9931.7822										
ヨーロッパおよび英国	+44 (0)1628 589124										
フランス	+33 1.46.91.86.79										
シンガポール	+65 6832.7747										

2 Plumtree Publisher のご紹介

この章では、Plumtree Publisher サーバーの概要および以下の項目について説明します。

- Publisher の機能
- Publisher のフォルダ階層構造
- Publisher のユーザーと役割
- Publisher のアーキテクチャ

Publisher を使用する前に、この章で説明する概念を理解する必要があります。各概念の詳細は、後の章で説明します。

Publisher について

Publisher は、Plumtree Application Suite のウェブ発行システムとして、カスタマー サポートのナレッジ ベースやセールス サポート センターのような、コンテンツ主体のアプリケーションを導入するために必要な基盤サービスを提供します。これらのアプリケーションでは、HTML の知識がないビジネス スタッフでもウェブ コンテンツを作成および管理することが可能になります。Publisher は、Plumtree Application Suite の他のコンポーネントと緊密に連動します。それによって、ビジネス ユーザーは、ウェブ発行を容易に行うことが可能になり、また、管理者は、完全に統合された管理、検索、セキュリティ、およびユーザー プロファイル管理を活用することができます。

Plumtree Publisher は、ポータルユーザー管理、ドキュメント管理、および検索機能と統合されているため、多数のコンテンツ寄稿者を持ち、記事、顧客プロフィール、社員の報告書、ニュースなどを含むすべての一般的なポータル コンテンツを処理するための発行済みコンテンツ ポートレットのセットを標準化する必要のある顧客に非常に適しています。

Publisher の機能

この節では次の項目について説明します。

- Publisher を使用したコンテンツの作成および発行の概要
- Publisher の機能およびエディタ
- Publisher ビルトイン ポートレット

コンテンツの作成および発行の概要

Publisher は、ユーザーが、ポートレット、ポータル ナレッジ ディレクトリ、および外部のウェブ サイトを通して、コンテンツを作成、格納、および発行できるようにします。

Publisher を使用して、コンテンツを作成および発行する方法は多数ありますが、一般的に、コンテンツ寄稿者が記事をポータルのコミュニティ ページに提出する場合、次の手順を使用します。

1. コミュニティ ページのコミュニティ ナレッジ ベース ポートレットにアクセスします。

2. ポートレットの [ハウツー記事] フォルダを開き、コンテンツ アイテム エディタを開くために [作成] ボタンをクリックします。
3. コンテンツ アイテム エディタの一連の編集ボックスに、名前、タイトル、概要、詳細情報などのプロパティ値を入力します。
4. ポータルに発行する前に記事を確認するために、プレビューします。
5. 記事を保存します。保存された記事は、Publisher エクスプローラのコミュニティ ナレッジ ベースのポートレット フォルダに表示されます。Publisher エクスプローラで、管理者および他の権限を持つ Publisher ユーザーは、Publisher のフォルダ階層構造の一部としてその記事を参照することができます。ユーザーは、セキュリティ役割に基づいて、ほとんどすべての Publisher の機能をその記事に対して実行することができます。
6. ワークフローに記事を提出します。
 - a. ワークフローの最初の手順では、編集者が、記事を編集し、次のワークフロー手順に進めるために記事を承認します。
 - b. 次のワークフロー手順では、コミュニティ マネージャーが記事を承認し、ウェブ サーバーおよびポータル ナレッジ ディレクトリに記事を発行します。
7. 発行された記事は、コミュニティ ページ上のコミュニティ ナレッジ ベース ポートレットの [ハウツー記事] フォルダに表示されます。ポートレットに対するアクセス権を持つすべてのユーザーがこの記事を参照することができます。また、適切な Publisher のセキュリティ役割を持つユーザーは、この記事をチェックアウト、編集、および再発行することができます。また、この記事は、ポータル ナレッジ ディレクトリにも表示され、ポータル検索インデックスにインデックスされます。

Publisher の機能およびエディタ

この提出手順および発行手順では、寄稿者は、Publisher が提供するほとんどの機能を直接的または間接的に使用します。

表 2-1 : Publisher の機能

機能	説明
発行済みコンテンツ ポートレット	上記の例にあるコミュニティ ナレッジ ベース ポートレット等の発行済みコンテンツ ポートレットは、ポータルを通してコンテンツを表示し、ユーザーがコンテンツを提出および編集できるようにします。 第 6 章、「発行済みコンテンツ ポートレットの作成」を参照してください。
発行済みコンテンツ ポートレット テンプレート	発行済みコンテンツ ポートレット テンプレートは、コミュニティ マネージャーのような HTML 知識の無いユーザーが、ポートレット設定ウィザードを使用して、発行済みコンテンツ ポートレットを作成できるようにします。 Publisher は、6 つのサンプル ポートレット テンプレートを提供します。そのサンプルのポートレット テンプレートは、そのまま使用することができますが、ポートレット テンプレート設定ウィザードを使用して、組織のニーズに合わせて設定することもできます。このウィザードを使用して、新しいポートレット テンプレートを作成することもできます。 第 6 章、「発行済みコンテンツ ポートレットの作成」および第 11 章、「カスタム ポートレット テンプレートの設定」を参照してください。

表 2-1 : Publisher の機能

機能	説明
コンテンツ アイテム	<p>コンテンツ アイテムは、コンテンツ アイテム エディタから入力された値のセット、アップロードされたドキュメントまたはイメージ ファイルといった、Publisher を通して管理する基本オブジェクトです。</p> <p>コンテンツ アイテム エディタは、コンテンツ アイテムを作成および編集するためのインタフェースです。コンテンツ アイテム エディタは、データを入力するための、フォームに似たフィールドのセットを表示します。コンテンツ アイテム エディタを使用して、ポータルまたはウェブに発行する前にコンテンツ アイテムをプレビューしたり、ワークフローにコンテンツ アイテムを提出したり、（権限が有る場合は、）コンテンツ アイテムの前のバージョンを表示したり、開いたり、発行したりすることができます。</p> <p>第 7 章、「コンテンツ アイテムの作成および編集」を参照してください。</p>
データ入力テンプレート	<p>コンテンツ アイテム エディタを使用して作成するコンテンツ アイテムは、コンテンツ アイテムを作成するために利用できるプロパティを定義するデータ入力テンプレートに基づいて作成されます。データ入力テンプレートからコンテンツ アイテムを作成または編集する際、これらのプロパティが、編集可能なフィールドとしてコンテンツ アイテム エディタに表示されます。データ入力テンプレート エディタを使用して、データ入力テンプレートを作成および編集することができます。</p> <p>第 9 章、「データ入力テンプレートの作成」を参照してください。</p>
プレゼンテーション テンプレート	<p>すべてのデータ入力テンプレートは、プレゼンテーション テンプレートに関連付けられます。プレゼンテーション テンプレートは、コンテンツ アイテムがウェブ サーバーに発行される際、またはコンテンツ アイテムがプレビュー サイトでプレビューされる際、そのコンテンツ アイテムの外観およびフォーマットを定義します。プレゼンテーション テンプレート エディタを使用して、プレゼンテーション テンプレートを作成および編集することができます。プレゼンテーション テンプレートを作成および編集するには、HTML の知識が多少必要です。</p> <p>第 10 章、「プレゼンテーション テンプレートの作成」を参照してください。</p>
Publisher エクスプローラ	<p>Publisher エクスプローラは、コンテンツ アイテム、データ入力テンプレート、およびプレゼンテーション テンプレートを含むすべての Publisher オブジェクトを表示および管理するための中心的インタフェースです。管理者は、Publisher エクスプローラから、コンテンツ アイテムおよび発行済みコンテンツ ポートレットを整理するためのフォルダ構造を設定および管理し、ユーザーおよびグループに、各フォルダに対するセキュリティ役割を割り当てることができます。通常、Publisher エクスプローラのフォルダは、ポータル コミュニティの分類構造および所有を反映しているため、コミュニティ マネージャーおよびコンテンツの所有者は、責任の範囲内で情報を作成および発行することができます。</p> <p>Publisher エクスプローラの内容を表示および検索することができるユーザーの範囲を自由に決定することができます。ユーザーは、Publisher に対する権限が許す範囲で、Publisher エクスプローラを使用し、コンテンツ アイテム、データ入力テンプレート、プレゼンテーション テンプレートの作成および編集、更にはコンテンツ アイテムの発行等を含む、ほとんどの Publisher の機能を実行することができます。</p> <p>第 3 章、「Publisher エクスプローラの使用」および第 4 章、「Publisher のフォルダ構造の設定および保護」を参照してください。</p>

表 2-1 : Publisher の機能

機能	説明
ワークフロー	<p>ワークフローは、組織が、構造化された、繰り返し可能なプロセスによって、コンテンツの確認、承認、および発行を管理できるようにします。管理者は、ワークフロー エディタを使用して、ワークフローを定義します。ワークフローは、ワークフロー アクティビティの順序付けされたリストによって構成されており、各アクティビティは、ユーザーまたはユーザーのグループに割り当てられます。コンテンツ寄稿者がワークフローにコンテンツ アイテムを提出すると、コンテンツ アイテムは、確認および承認を行う担当者に渡され、その後、次のアクティビティへと移動します（承認され次に進むか、または拒否され前に戻ります）。各アクティビティの担当者は、自動的に通知されます。コンテンツ アイテムは、最後の担当者がアイテムを承認および発行するまで、アクティビティ間を移動します。自動通知に加えて、Publisher は、個人用のワークフローのトラッキング、およびフォルダごとにワークフローのコンテンツ アイテムをトラッキングすることを可能にするポートレットを提供します。第 5 章、「ワークフローの使用法」を参照してください。</p>
発行および期限切れの設定	<p>発行を行うと、フォーマットされたウェブ用ファイルが、ポータルまたは他のウェブ サーバーからアクセスできる場所に置かれます。適切な権限を持つユーザーは、（発行可能なワークフロー アクティビティである場合、またはワークフローが適用されていない場合）すぐにコンテンツ アイテムを発行することができます。また、スケジュールを設定して、コンテンツ アイテムを一度だけ、または繰り返して、発行することもできます。発行済みコンテンツ アイテムをすぐに期限切れに設定したり、期限切れにするスケジュールを設定することもできます。第 5 章、「ワークフローの使用法」を参照してください。</p>
ファイル コンテンツ アイテム	<p>ファイル コンテンツ アイテムは、イメージまたはドキュメントを Publisher にアップロードすることによって作成するコンテンツ アイテムです。ファイル コンテンツ アイテムは、リンクとして、または他のコンテンツ アイテムのプロパティとして、含めることができます。コンテンツ アイテム エディタを使用せずに、ファイル コンテンツ アイテムを管理および発行することができます。</p> <p>WebDav（ウェブベースの分散オーサリングおよびバージョン管理）を使用して、Microsoft Windows のネットワーク フォルダを Publisher のフォルダ階層構造にマッピングすると、Microsoft Windows エクスプローラを使用して以下を行うことが可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ファイル コンテンツ アイテムおよび Publisher のフォルダ階層構造の表示。 Publisher とローカル ファイルシステムの間でのファイル コンテンツ アイテムのアップロードおよびダウンロード。 デスクトップ上で編集するためにファイル コンテンツ アイテムを開く。 <p>コンテンツ アイテムにアップロードした Microsoft Office ファイルには、ウェブ編集機能を使用することもできます。ウェブ編集機能は、コンテンツ アイテム エディタを閉じることなく、またアップロードやダウンロードを行うことなく、ネイティブのエディタでファイルを開き、編集することを可能にします。</p> <p>7-9 ページの「ファイル コンテンツ アイテムのアップロードおよび管理」および第 12 章、「WebDAV の使用」を参照してください。</p>

表 2-1 : Publisher の機能

機能	説明
診断	<p>〔 診断 〕 ページで、管理者は Publisher およびワークフロー サービスに関する診断テストを実行し、結果を表示することができます。また、主要なシステム プロパティを表示することもできます。</p> <p>この機能については、プラムツリー ナレッジ ベースの記事を参照してください。</p>
オブジェクトの移行	<p>Migration Wizard によって、管理者は、実稼動サイト、ステージング サイト、および開発サイトの間で、Publisher のオブジェクトを移行することができます。</p> <p>第 13 章、「Publisher オブジェクトの移行」を参照してください。</p>

Publisher ビルトイン ポートレット

上記の機能およびエディタに加えて、Publisher は、ユーザーがポータル ページから Publisher の機能へアクセスすることを可能にする以下のビルトイン ポートレットを提供します。

表 2-2 : ビルトイン ポートレット

ポートレット	説明
Publisher 管理	Publisher エクスプローラへのアクセスを提供します。管理者および適切なポータル アクティビティ権限を持つユーザーは、コンテンツ管理ポートレットを使用して、ワークフロー管理および〔 診断 〕 ページにアクセスすることもできます。
コンテンツの提出	コンテンツの提出ポートレットは、一般的にコミュニティ ページで使用され、コミュニティ マネージャーが選択したデータ入力テンプレートを基にコンテンツ アイテムを Publisher に迅速にかつ容易に提出できるようにします。
最近使われたコンテンツ	コンテンツ アイテム エディタで最近表示したコンテンツ アイテムへのアクセスを提供します。このポートレットは、アイテム名、データ入力テンプレート、関連付けられたポートレット、アイテムが割り当てられたユーザー、存在する場合は、現在のワークフロー アクティビティ、およびアイテムが現在チェックアウトされているかどうかを表示します。
Publisher 作業リストポートレット	ユーザーに現在割り当てられている全てのワークフロー アクティビティへのアクセスを提供します。このポートレットは、ワークフローのアイテム名、ワークフロー アクティビティ、期日、およびその他の情報を表示します。このポートレットによって、アイテムの承認または拒否、割り当ての要求、変更、または委任を行うことができます。また、このポートレットによって、ワークフローに提出した全アイテムの現在の状態、他の者に委任した全アイテムの現在の状態、およびワークフロー アクティビティを終了した全アイテムの現在の状態を表示することができます。
ワークフロー内のコンテンツ アイテム	ワークフローに含まれている、選択された Publisher フォルダの全てのアイテムのワークフロー アクティビティ、担当者、および期日等を表示することができます。

Publisher のビルトイン ポートレットの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

Publisher のフォルダ階層構造

Publisher エクスプローラは、Publisher オブジェクトへのアクセスおよび管理を可能にするフォルダ構造を提供します。Publisher のセキュリティ、ワークフロー、および発行ターゲット（コンテンツ アイテムが発行されるウェブ サーバー上の場所）は、全てフォルダごとに設定されます。したがって、フォルダの階層構造は、以下を決定または反映します。

- コンテンツの管理が管理者に集中している、または他の役割に分散されている割合。
- ワークフローの役割およびコンテンツ アイテムに対する責任。
- ウェブ サーバーが発行済みコンテンツを配信する元のファイル システムの構造。

また、Publisher は、指定されたポートレット フォルダに発行済みコンテンツ ポートレットを構成するオブジェクトを整理します。

詳細については、第 4 章、「Publisher のフォルダ構造の設定および保護」を参照してください。

Publisher のユーザーと役割

Publisher のセキュリティは、役割をベースにしており、その役割によって、完全なアクセス権限を持つ管理者からコンテンツを表示できる極普通の読者までの、Publisher に関する一般的な責任範囲が決定されます。役割は Publisher のフォルダごとに設定されるため、ユーザー（管理者の役割を持つユーザーを除く）は、異なるフォルダに対して異なる役割を持つことができます。例えば、Publisher の Marketing Community フォルダに関して、マーケティングのポータル コミュニティ マネージャーには、広範な管理権限を持つフォルダ管理者という役割が設定されるかもしれませんが、Employee Relations Community フォルダに関しては、コンテンツを提出することができますがコンテンツ管理の権限はほとんどない提出者の役割が設定されるかもしれません。この節では、Publisher の役割を一般的な Publisher の責任項目にマッピングする方法について説明します。

Publisher の役割

Publisher のコンテンツおよび機能へのアクセスは、各 Publisher フォルダのレベルに対して、ユーザーおよびグループに、次の役割を割り当てることによって制御されます。

表 2-3 : Publisher の役割

役割	説明
読者	コンテンツを表示することができます。ワークフローのアイテムが割り当てられた場合、そのアイテムを承認または拒否、またはワークフローの割り当てを他のユーザーに変更することができます。
提出者	記事の作成、プレビュー、編集、およびワークフローへの提出を行うことができます。また、ワークフローで割り当てられたアイテムを承認または拒否することができます。
寄稿者	提出者と同じ権限が与えられますが、それに加えて、コンテンツ アイテムのメモ、ワークフロー、バージョン履歴、発行情報、および発行スケジュールを表示することができます。

表 2-3 : Publisher の役割

役割	説明
編集者	寄稿者と同じ権限が与えられますが、それに加えて、アイテムを Publisher およびポータル ナレッジ ディレクトリに発行することができます。
製作者	編集者と同じ権限が与えられますが、それに加えて、フォルダ、データ入力テンプレート、選択リスト、およびプレゼンテーション テンプレートの作成および編集、コンテンツ アイテムの個別、またはフォルダ単位でのレビューおよび発行、他の者に割り当てられたコンテンツ アイテムの編集、発行およびレビューするためのフォルダの設定を行うことができます。
フォルダ管理者	製作者と同じ権限が与えられますが、それに加えて、他のユーザーのチェックアウトの取り消し、発行済みコンテンツ ポートレットの管理、ワークフローの割り当ておよびフォルダに対する Publisher のセキュリティの設定または変更を行うことができます。
管理者	<p>ポータルの管理者には、Publisher の管理者の役割が自動的に付与され、Publisher 内の全てのフォルダおよび全ての機能にアクセスすることができます。管理者は、トップレベル フォルダの作成、編集、コピー、および削除、フォルダ レベルでの管理権限の委任を行うことができます。また、ワークフロー管理にアクセスしてシステム全体のワークフロー定義を設定することができます。</p> <p>ポータル管理者は、以下のアクティビティ権限を割り当てることによって、他のユーザーおよびグループに管理権限を与えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Publisher の管理」アクティビティ権限は、ユーザーおよびグループに管理者の役割を付与します。 「ワークフローの設定」アクティビティ権限は、ワークフローの全ての管理機能へのアクセスを提供します。このアクセス権は、「Publisher の管理」アクティビティ権限にも含まれています。

Publisher のユーザー

Publisher は、以下の一般的なユーザーのニーズを満たすようにデザインされています。下記の表では、これらのユーザーを適切な Publisher の役割にマップしています。

表 2-4 : Publisher のユーザーと役割

ユーザー	説明	役割
読者	ビジネス業務にポートレットおよび発行済みコンテンツを使用します。	読者。ユーザーがポートレットを通してコンテンツを提出することがある場合は、提出者。
コンテンツ寄稿者	特定のトピックの専門家。ポートレットを使用して、新しいコンテンツを表示および提出します。コンテンツを編集します。イメージおよびドキュメントをアップロードします。ワークフロー プロセスに参加します。	提出者。編集を行う必要がある場合は、寄稿者。通常、この役割はフォルダごとに固有に設定されます。

表 2-4 : Publisher のユーザーと役割

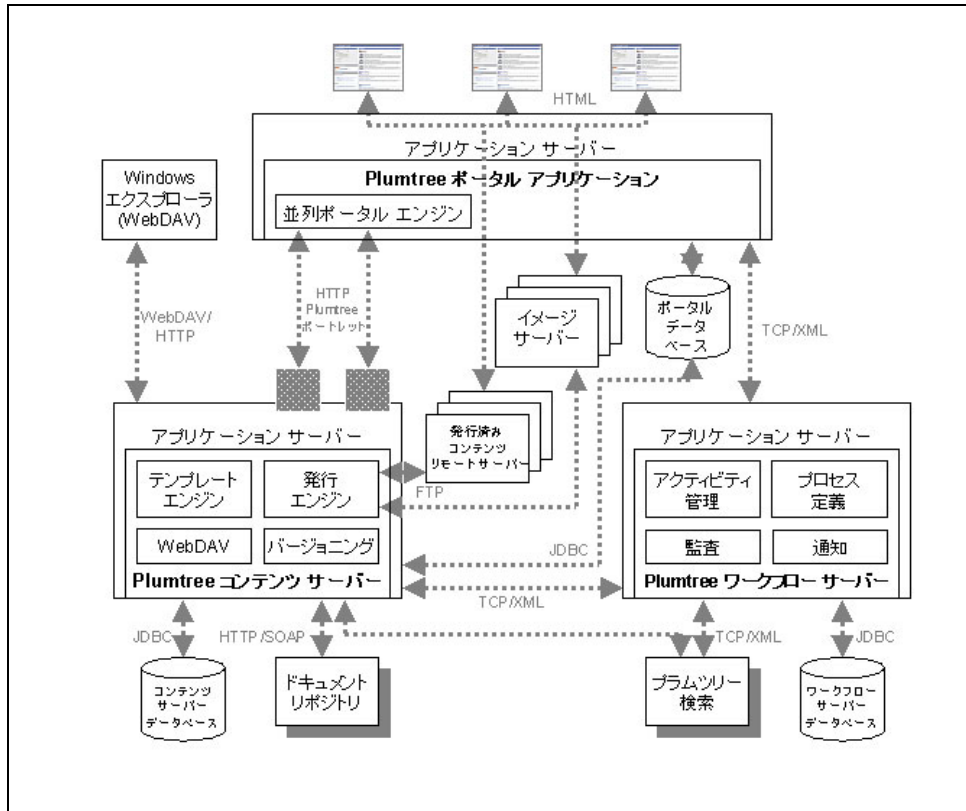
ユーザー	説明	役割
コンテンツ編集者	技術レビュアー、編集者、または普通の保管者として、コンテンツを管理または承認する役割を持つ特定のトピックの専門家。コンテンツ寄稿者と同じ役割を持ちますが、コンテンツの編集、ワークフローのアイテムの承認、および発行に重点を置きます。	編集者。通常、この役割は、フォルダごとに固有に設定されます。特に、ポートレット フォルダ、またはコミュニティやコンテンツのタイプに関連付けられたフォルダの場合等。
コンテンツ マネージャー	パワー ユーザーまたはポータル コミュニティ マネージャー。ポートレットおよび発行に対するビジネス要件の定義、コンテンツおよびポートレットの作成、ポートレット テンプレートから作成されたポートレットのコミュニティ用のカスタマイズ、コンテンツの発行および期限切れの監視、コンテンツの承認および発行の管理のためのワークフロープロセスの開始等を行います。	フォルダ管理者。通常、この役割はフォルダごとに固有に設定されます。
技術的なポートレットの作成者	ウェブ アプリケーション開発者またはウェブ デザイナー。通常コンテンツ マネージャーによって決定されるビジネス要件を満たすために、データ入力テンプレート、プレゼンテーション テンプレート、およびポートレット テンプレートを作成および編集します。また、外部ソースからコンテンツ アイテムをインポートします。	製作者。ユーザーがポートレット フォルダからポートレットを分離したり、セキュリティを割り当てたり、または他のユーザーのチェックアウトを取り消したりする必要がある場合は、フォルダ管理者。この役割は、多数のフォルダ、特にポートレット テンプレートに適用できます。
管理者	ポータル マネージャーまたは情報管理の専門家。セキュリティ設定、およびワークフローの基準を含む、Publisher の設定およびコンテンツの分類構造のインストール、アップグレード、および保守を行います。	管理者

詳細については、[4-4 ページの「セキュリティの設定」](#)を参照してください。

Publisher のアーキテクチャ

Publisher は、Plumtree Application Suite のコンポーネントとして、プラムツリーのポータルおよび検索製品と統合されています。

図 2-1: Publisher のアーキテクチャ



Publisher のアーキテクチャは、次の主要なコンポーネントから構成されています。

ポータル サーバー

ポータル サーバーは、ユーザーが、マイ ページおよびコミュニティ ページのポートレットを通して、またはナレッジ ディレクトリを通して、発行済みコンテンツにアクセスできるようにします。また、ポータル サーバーによって、ユーザーは全ての発行済みコンテンツを検索することができます。さらに、ポートレットおよびポートレット テンプレートの編集、ポートレットの基本設定の表示、コミュニティの管理等の管理操作を行うことを可能にします。

ポータル データベース

ポータル データベースは、ポータルが使用するデータを格納します。これには、ユーザー プロファイル、ポータル セキュリティ、ウェブ サービス、およびポートレットやポートレット テンプレートを含む、全てのポータル オブジェクトについての情報が含まれています。ポータル データベースは、ポータルを通して利用されるコンテンツを格納しません。Publisher は、発行時に、Publisher データベース (コンテンツ アイテム) およびドキュメント リポジトリ サービス (ファイル コンテンツ アイテム) からコンテンツをコピーします。

Publisher データベース

Publisher データベースは、Publisher が使用するデータを格納します。これには、コンテンツ アイテム、データ入力テンプレート、プレゼンテーション テンプレート、Publisher フォルダ、および役割の割り当てが含まれます。しかし、Publisher にアップロードされたファイル コンテンツ アイテムは、ドキュメント リポジトリに格納されます。

ワークフロー データベース

ワークフロー データベースは、ワークフローの定義、アクティビティ、ワークフローのインスタンス、およびワークフローのユーザーを格納します。

発行済みコンテンツ リモート サーバー

発行済みコンテンツ リモート サーバーは、ポータル サーバーがポータルを通して利用される発行済みコンテンツに対するウェブ リクエストを処理する場所です。

Image Service

Image Service は、ポータル システムで使用されるイメージおよびその他の静的コンテンツを配信します。複数の管理用ポータル サーバーおよびポータル サーバーを同じ Image Service に接続することができます。また、各管理用ポータル サーバーまたはポータル サーバーを専用の Image Service に接続することもできます。更に、これらの構成を組み合わせることも可能です。

Image Service をポータルや Publisher とは別のコンピュータに導入することによって、ユーザーのブラウザがイメージを要求するたびにセキュリティ情報を送信する必要がなくなり、ポータル システムの効率を大幅に向上させることができます。

プラムツリー検索

プラムツリー検索は、検索エンジン、およびポータルのオブジェクト (ドキュメント、コミュニティ、ポートレット等) に対するテキストおよびメタデータのインデックスが含まれている検索コレクションを収容しています。ポータルで多数のドキュメントがインデックスされている場合、検索インデックスが非常に大きくなる場合があります。場合によって、このファイルのコレクションは、ポータルでインデックスされている全ドキュメントの ASCII 表現の合計と同じ大きさになることがあります。通常このようなことはありませんが、検索インデックスを収容するコンピュータには、このような量を処理するための十分なディスク スペースが必要です。ポータルの中のドキュメント数が増えるにつれ、固有の単語 (未だインデックスに含まれていない単語) の数が減ります。したがって、ポータルの中のドキュメント数が増えるにつれ、インデックスの成長が弱まります。

コンテンツ アイテムは、発行時に検索用にインデックスされます。

ドキュメント リポジトリ サービス

ドキュメント リポジトリ サービスは、Publisher にアップロードされたイメージおよびファイル コンテンツ アイテムを含む、ポータル システムにアップロードされたコンテンツを格納します。

3 Publisher エクスプローラの使用

Publisher エクスプローラは、Publisher の全てのオブジェクトを表示、検索、作成、および管理するための中心的なインタフェースです。

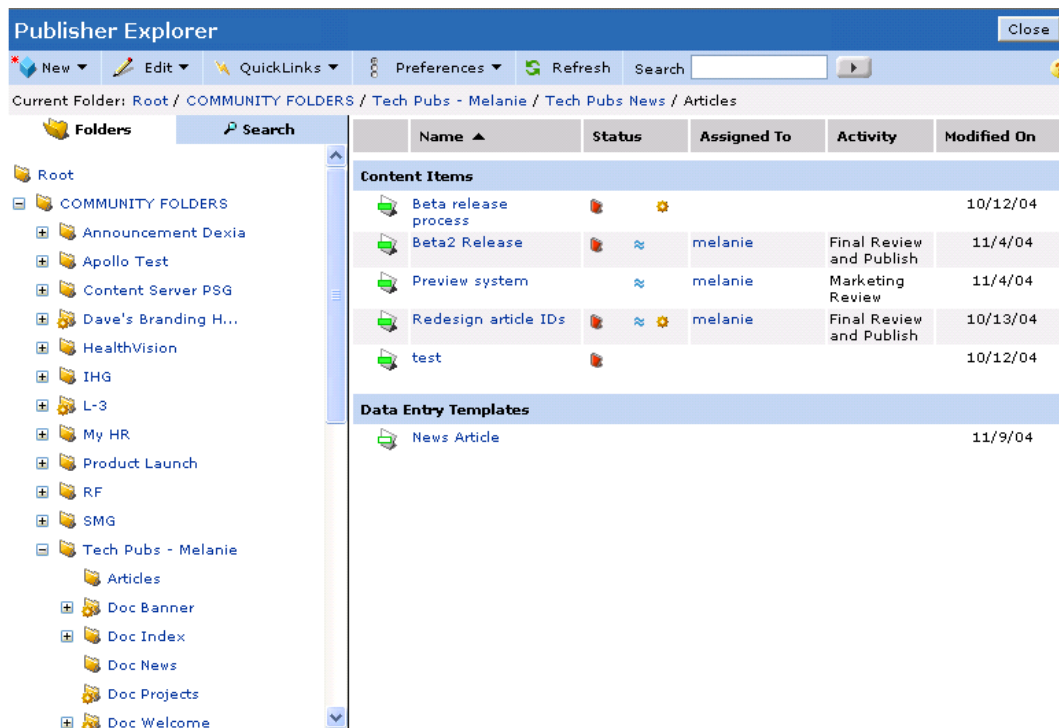
この章では、Publisher エクスプローラの概要および以下の項目について説明します。

- [「Publisher エクスプローラのナビゲーション」](#)
- [「アクション バーの使用方法」](#)
- [「コンテキスト メニューの使用方法」](#)
- [「状態アイコンの表示」](#)
- [「表示設定」](#)

Publisher エクスプローラについて

Publisher エクスプローラは、Publisher の全てのオブジェクトを表示および管理するための中心的なインタフェースです。

図 3-1: Publisher エクスプローラ



Publisher 管理ポートレットへのアクセス権限を持つユーザーは、Publisher エクスプローラにアクセスすることができます。特定のフォルダおよび Publisher エクスプローラの機能にアクセスできるかどうかは、ユーザーの Publisher に対する役割によって決まります。

Publisher に対する役割に依存しますが、Publisher エクスプローラを使用して、以下を行うことができます。

- セキュリティの設定およびフォルダに対するワークフローの適用を含む、Publisher のフォルダ階層構造の表示および管理。
- Publisher の全てのオブジェクトの作成、編集、コピー、移動、削除、名前の変更、チェックイン、チェックアウト、および表示。
- 名前、テキスト コンテンツ、ワークフローの割り当て、およびデータ入力テンプレートによるコンテンツ アイテムの検索。
- コンテンツ アイテムおよび他の Publisher オブジェクトの状態情報の表示。
- コンテンツ アイテムおよびフォルダの発行および期限切れの設定。
- コンテンツ アイテムに対して適用されているワークフローの上書き。
- 検索インデックスからのコンテンツ アイテムの削除。
- ポートレット フォルダまたはポートレット アイテムのポートレットの編集または分離。

また、Publisher エクスプローラは、クイックリンク、ウェブ フォルダのマップ機能を使用した Windows エクスプローラとの統合、および複数の表示設定を提供します。

Publisher のセキュリティ、および Publisher エクスプローラの機能および表示とセキュリティの関係に関する詳細については、[4-4 ページの「セキュリティの設定」](#)を参照してください。

ウェブ フォルダのマップ機能に関する詳細については、[12-1 ページの「ウェブ フォルダのマップ機能の有効化」](#)を参照してください。

Publisher エクスプローラのナビゲーション

Publisher エクスプローラは、左側にあるナビゲーション枠と、右側にあるテーブル枠の 2 つで構成されています。テーブル枠には、ナビゲーション枠で選択したノードに属するオブジェクトが含まれます。

この節では、以下の方法について説明します。

- パス バーの使用方法
- ナビゲーション枠の使用方法
- テーブル枠の使用方法

パス バーの使用方法

Publisher エクスプローラの左上のパスには、現在参照しているフォルダが表示されます。現在のフォルダの親フォルダに移動するには、パスの中のフォルダ名をクリックします。例えば、パスに Plumtree/Folder1/Subfolder1 と表示されている場合、Plumtree をクリックすることによって、Plumtree フォルダの内容を表示することができます。

ナビゲーション枠の使用法

ナビゲーション枠には、フォルダを選択するためのタブと、コンテンツ アイテムを検索するためのタブの 2 つのタブがあります。

- Publisher のフォルダを参照するには、フォルダ タブを使用します。フォルダの中のコンテンツを表示するには、そのフォルダをクリックします。フォルダのコンテンツが、テーブル枠に表示されます。
- Publisher の発行済みコンテンツ アイテム、および未発行のコンテンツ アイテムの高度検索を実行するには、検索タブを使用します。コンテンツ アイテムは、名前、コンテンツ アイテム内のテキスト、コンテンツ アイテムに割り当てられたワークフロー、コンテンツ アイテムに関連付けられたデータ入力テンプレート等によって検索することができます。

テーブル枠の使用法

テーブル枠には、参照しているフォルダの内容 (フォルダ、コンテンツ アイテム、データ入力テンプレート、選択リスト、およびプレゼンテーション テンプレート)、または検索結果を表示が表示されます。オブジェクトを表示するには、そのオブジェクトの名前をクリックします。

アクション バーの使用法

Publisher エクスプローラの上部にあるアクション バーには、以下の操作を実行するためのメニューが含まれています。

表 3-1 : アクション バーのオプション

オプション / メニュー	アクション
新規	現在参照しているフォルダ内にオブジェクトを作成します。作成できるオブジェクトは、フォルダ、コンテンツ アイテム、ファイル コンテンツ アイテム、データ入力テンプレート、選択リスト、プレゼンテーション テンプレート、ウェブ フォルダです。
編集	選択されている Publisher オブジェクトを編集します。
クイックリンク	クイックリンクを追加または削除します。 詳細については、 3-6 ページの「表示設定」 を参照してください。
基本設定	オブジェクトを表示または非表示にします。現在のフォルダを Publisher エクスプローラのデフォルトのホーム ページとして設定します。テーブル枠に表示されるアイテム数を制限します。 詳細については、 3-6 ページの「表示設定」 を参照してください。
更新	Publisher エクスプローラの表示を最新の情報に更新します。
検索	名前によってコンテンツ アイテムを検索します。検索するコンテンツ アイテムの名前をテキスト ボックスに入力し、クリックしてください。結果がテーブル枠に表示されます。

また、Publisher エクスプローラのテーブル枠の空白部分を右クリックすると、[新規] および [基本設定] メニューを表示することができます。

コンテキスト メニューの使用法

ナビゲーション枠またはテーブル枠のいずれかで、表示されている Publisher のオブジェクト名を右クリックすると、選択されたオブジェクトに対して実行できるアクションのメニューを表示することができます。表示されるアクションは、オブジェクトのタイプおよびオブジェクトのセキュリティによって異なります。

表 3-2: コンテキスト メニューのオプション

オプション	アクション	適用できるオブジェクト
チェックアウト / チェックイン / チェックアウトのキャンセル	編集するためにコンテンツ アイテムをチェックアウトします。アイテムを既にチェックアウトしている場合、アイテムをチェックインして、新しいバージョンとしてアイテムを保存するか、チェックアウトをキャンセルしてコンテンツ アイテムを前のバージョンに戻すことができます。	コンテンツ アイテム
コンテンツのセキュリティ	このフォルダのオブジェクトへのアクセスを許可するユーザーおよびグループを指定し、各ユーザーおよびグループがこのフォルダに対して持つ役割を指定します。	フォルダ
コピー	このオブジェクトを同じフォルダまたは別のフォルダにコピーします。	すべてのオブジェクト
コピーの作成	同じフォルダ内に、このオブジェクトの複製を作成します。	すべてのオブジェクト
削除	Publisher からこのオブジェクトを削除します。	すべてのオブジェクト
ポートレットの分離	コンテンツ アイテムまたはフォルダに関連付けられているポートレットまたはポートレット テンプレートを分離します。この場合、フォルダは、ポートレット フォルダである必要があり、コンテンツ アイテムは、ポートレット アイテムである必要があります。	フォルダおよびコンテンツ アイテム
編集 < オブジェクト >	オブジェクトを編集します。	コンテンツ アイテム、データ入力テンプレート、選択リスト、プレゼンテーション テンプレート
ポートレットの編集	コンテンツ アイテムまたはフォルダに関連付けられているポートレットまたはポートレット テンプレートを編集します。この場合、フォルダは、ポートレット フォルダである必要があり、コンテンツ アイテムは、ポートレット アイテムである必要があります。	フォルダおよびコンテンツ アイテム

表 3-2 : コンテキスト メニューのオプション

オプション	アクション	適用できるオブジェクト
移動	このオブジェクトを別のフォルダに移動します。	すべてのオブジェクト
プレビュー	<ul style="list-style-type: none"> フォルダ：フォルダ内のコンテンツを発行した場合の表示内容をプレビューします。 コンテンツ アイテム：コンテンツ アイテムを発行した場合の表示内容をプレビューします。 	フォルダおよびコンテンツ アイテム
発行	選択されたコンテンツ アイテムを発行します。フォルダを選択した場合、フォルダ内の全てのコンテンツ アイテムが発行されます。	フォルダおよびコンテンツ アイテム
発行ターゲット	フォルダのコンテンツ アイテムが発行される場所、およびプレビューできる場所を指定します。	フォルダ
ディレクトリへの発行	このコンテンツ アイテムをポータル ナレッジ ディレクトリに追加します。	コンテンツ アイテム
検索インデックスから削除	検索インデックスからコンテンツ アイテムを削除します。検索インデックスから削除したアイテムは、検索結果に含まれません。	コンテンツ アイテム
名前の変更	このオブジェクトの名前を変更します。	すべてのオブジェクト
スケジュール	コンテンツ アイテム、またはフォルダの全てのコンテンツ アイテムを発行する時間を設定します。	フォルダおよびコンテンツ アイテム
期限切れに設定	コンテンツが発行された最後の場所からコンテンツ アイテムまたはフォルダ全体のコンテンツを削除します。期限切れを設定しても、Publisher からコンテンツ アイテムは削除されません。	フォルダおよびコンテンツ アイテム
期限切れを元に戻す	期限切れになったコンテンツ アイテムを再発行します。	期限切れになったコンテンツ アイテム
ワークフロー	<ul style="list-style-type: none"> フォルダ：フォルダに適用するワークフロー プロパティを選択します。 ワークフローのコンテンツ アイテム：ワークフローの割り当てを上書きします。 	フォルダおよびコンテンツ アイテム

詳細については、これらのアクションを詳細に説明しているこの管理者ガイドの節を参照してください。

状態アイコンの表示

テーブル枠の最初の列および状態の列にあるアイコンは、コンテンツ アイテムの状態を示します。

- コンテンツ アイテムの名前の左側にある最初の列のアイコンは、コンテンツ アイテムのチェックイン、チェックアウト、および編集の状態を示します。
- 状態の列のアイコンは、以下に関する Publisher オブジェクトの状態を示します。
 - 発行
 - 発行および期限切れのスケジュール
 - 期限切れ
 - ワークフロー
 - ポートレットの使用
 - ポートレット テンプレートの使用

マウスのポインタをアイコンの上に置くことによって、状態の詳細を表示することができます。

状態アイコンに関する詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

表示設定

Publisher エクスプローラには、複数の表示設定を設定することができます。

- テーブル枠の列を表示する、または非表示にするには、右クリックしてコンテキスト メニューを開き、[列] をクリックし、必要な列を選択します。列の名前の横にあるチェックマークは、その列がテーブル枠に現在表示されていることを示します。
- オブジェクト (フォルダ、コンテンツ アイテム、データ入力テンプレート等) を表示する、または非表示にするには、アクション バーまたはコンテキスト メニューの [基本設定] をクリックし、表示するオブジェクト、または非表示にするオブジェクトを選択します。
- テーブル枠のページに表示されるアイテムの数を制限するには、アクション バーまたはコンテキスト メニューの [基本設定] をクリックし、[1 ページあたりのアイテム数] をクリックします。テーブル枠の下部にあるスクロール用の矢印を使用して、テーブル枠のページをスクロールします。
- テーブル枠内のオブジェクトを特定の列によってソートするには、その列の見出しをクリックします。
- Publisher エクスプローラを起動する度に特定のフォルダのコンテンツを表示するには、アクション バーまたはコンテキスト メニューの [基本設定] をクリックし、[現在のフォルダをホームに設定] をクリックします。
- 素早くアクセスできるようにするために、頻繁に使用するオブジェクト またはフォルダにブックマークを付けるには、オブジェクトまたはフォルダを選択し、アクション バーの [クイックリンク | クイックリンクの追加] をクリックします。

表示設定に関する詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

4 Publisher のフォルダ構造の設定および保護

Publisher の管理者が行う主な作業の 1 つは、Publisher のフォルダ構造を設定し、保護することです。管理者は、コンテンツの分類構造の所有権および保守作業を他のユーザーに委任することができますが、トップレベル フォルダの設定および保護は、管理者自身が行う必要があります。

Publisher のフォルダ構造の設定に関するタスクは以下を含みます。

- フォルダ構造の定義
- フォルダへのアクセスの保護
- 発行ターゲットおよびプレビュー サイト (Publisher によってコンテンツ アイテムが発行され、ポータル サーバーによってアクセスされるサイト) の設定
- トップレベル フォルダへのワークフローの適用

この章では以下のトピックについて説明します。

- [「フォルダ構造の定義およびフォルダの管理」](#)
- [「セキュリティの設定」](#)
- [「発行ターゲットおよびプレビュー サイトの設定」](#)

ワークフローの設定および Publisher フォルダに対するワークフローの適用については、第 5 章、「ワークフローの使用方法」を参照してください。

フォルダ構造の定義およびフォルダの管理

この節では、Publisher のフォルダ構造の概要について説明します。また、新しいフォルダの作成方法についても説明します。

Publisher のフォルダ構造

管理者の役割を持つユーザーは、Publisher のトップレベル フォルダを作成する必要があります。フォルダ構造および各フォルダに適用するセキュリティによって、コンテンツの管理の責任を、どの程度管理者の役割に集中させるか、またはどの程度多くのコンテンツ マネージャーに分散させるかを決定することができます。

組織のニーズを満たすために、自由に Publisher のフォルダ構造を設定することができます。しかし、以下の事を考慮する必要があります。

- 全ての Publisher フォルダは、そのフォルダに割り当てられたセキュリティを持つか、または階層構造内の 1 つ上のフォルダからセキュリティを継承します。つまり、Publisher のフォルダ構造は、組織がどのようにコンテンツ管理の業務を管理および委任するかを表しています。したがって、セキュリティの階層構造に基づいて Publisher のフォルダを分類することが最も効果的です。

セキュリティの設定に関する詳細については、[4-4 ページの「セキュリティの設定」](#)を参照してください。

- コンテンツおよびコミュニティを管理する責任が同じユーザーとグループによって共有されるという点で、Publisher のフォルダ構造は、ポータルの管理フォルダ構造と深く関連しています。これは、Publisher で作成

されたポートレットおよびポートレット テンプレートを含むポータル管理フォルダに特に該当します。

Publisher でポートレットおよびポートレット テンプレートを作成する際、Publisher オブジェクトに関連付けられたオブジェクトがポータル管理階層にも作成されるためです。通常、ポータル管理でポートレットおよびポートレット テンプレートへのアクセスが許可されているユーザーには、関連付けられた Publisher オブジェクトへの適切なアクセス権を設定する必要があります。

ポータルと Publisher のセキュリティのマッピングに関する詳細については、[4-9 ページの「Publisher セキュリティへのポータル セキュリティのマッピング」](#)を参照してください。

- デフォルトでは、コンテンツ アイテムを発行するウェブ サーバー (発行ターゲット) 上のフォルダ構造は、Publisher のフォルダ構造に従います。すなわち、コンテンツ アイテムを発行する度に、Publisher は、デフォルトで、Publisher のフォルダ構造と完全に一致するターゲット ウェブ サーバー上のフォルダ構造に、そのコンテンツ アイテムを格納します。管理ユーザーは、Publisher のフォルダ構造とウェブ サーバーのフォルダ構造をミラーリングするというデフォルト設定を上書きすることができます。しかし、Publisher のフォルダ構造をウェブ サーバーのフォルダ構造に近づけることによって、フォルダおよびコンテンツ アイテムの発行ターゲットを指定しなくてはならない頻度を少なくすることができます。したがって、Publisher のフォルダを整理する際は、ウェブ サーバーのフォルダ構造を考慮する必要があります。

発行ターゲットおよびウェブ サーバーのデフォルトのフォルダ構造を上書きする方法に関する詳細については、[4-11 ページの「発行ターゲットおよびプレビュー サイトの設定」](#)を参照してください。

- 社員用サービス アプリケーションまたはカスタマー サポート アプリケーションとして機能するポートレットのグループ等、連動して 1 つのアプリケーションとして機能する Publisher オブジェクトは、可能であれば同じフォルダにグループ化する必要があります。そうすることにより、Publisher オブジェクトの保守および一貫性のあるセキュリティを適用することがより容易になります。

部門での役割責任および管理責任に基づいたフォルダ構造の高度な例を以下に示します。

ROOT

- COMMUNITIES
 - Engineering
 - Marketing
 - Support Center
- IMAGES
 - Branding
 - Icons
 - Technical Publications
- PORTAL ADMINISTRATION
 - Home Page
- PORTLET TEMPLATES
 - Articles
 - Banners
 - Community
- TESTING
 - New portlet templates
 - New portlets

この例では、コンテンツ管理者は、セキュリティ アクセスおよび機能に基づいた分類によって、高度なフォルダ構造を整理しました。

下記の表では、この例のコンテンツ管理者がそれぞれのトップレベル フォルダのコンテンツに対して設定したセキュリティを示します (コンテンツ管理者のみがトップレベル フォルダの作成、コピー、移動、名前の変更、および削除を行うために必要なアクセス権限を持っていることに注意してください)。

表 4-1 : Publisher のトップレベル フォルダに対するセキュリティの割り当ての例

フォルダ	アクセス権限を持つグループおよび役割	備考
Communities	<ul style="list-style-type: none"> ポータル管理チーム：フォルダ管理者 コミュニティ マネージャー：編集者 	各コミュニティ フォルダは、そのコミュニティのポートレットを含みます。各コミュニティ フォルダ (Engineering、Marketing 等) に対して、適切なコミュニティ マネージャーがフォルダ管理者の役割を持ちます。
Portal Administration	<ul style="list-style-type: none"> ポータル管理チーム：フォルダ管理者 	企業のお知らせまたは休日案内など、ポータルのホームページに表示されるポートレットを含みます。
Portlet Templates	<ul style="list-style-type: none"> ポータル管理チーム：フォルダ管理者または製作者 (管理の役割かウェブ開発の役割かによって異なる) コミュニティ マネージャー：編集者 	ポートレット テンプレートは、ポートレット テンプレート タイプを表すフォルダに分類されます。ポートレット テンプレートは、ほとんどの場合ポータル管理チームのウェブ開発者によって作成されるため、これらのウェブ開発者は、ポートレット テンプレートの主要ユーザーであるコミュニティ マネージャーよりもトップレベル フォルダへの高いアクセス権を持ちます。
Images	<ul style="list-style-type: none"> ポータル管理チーム：フォルダ管理者 マーケティング チーム：製作者 開発チーム：編集者 	発行ターゲットとして Image Service を設定し、1 つのフォルダにイメージを格納することによって、イメージへのアクセスをゲートウェイ処理する必要がなくなります。マーケティング チームに製作者のアクセス権限を提供することによって、マーケティング チームはポートレットにわたって一貫性のあるイメージ設定を行うことができます。
Testing	<ul style="list-style-type: none"> ポータル管理チーム：フォルダ管理者 開発者チーム：フォルダ管理者 	トップレベルのテスト フォルダは、導入する前にポートレット アプリケーションをテストするためのサンドボックスとして役立ちます。

Publisher に対する各役割のアクセス権限の詳細については、[4-5 ページの「Publisher の役割」](#)を参照してください。

新規フォルダの作成

Publisher エクスプローラを使用して、またはポートレット設定ウィザードを通して発行済みコンテンツ ポートレットを作成することによって、フォルダを作成することができます。



重要：管理者の役割を持つユーザーのみがトップレベル フォルダを作成または編集することができます。

Publisher エクスプローラ

Publisher エクスプローラで新しいフォルダを作成するには、次の手順に従います。

1. 新しいフォルダを作成するフォルダを選択します。
新しいトップレベル フォルダを作成するには、ルート フォルダを選択します。
2. メニュー バーの [**新規 | フォルダ**] をクリックするか、またはテーブル枠を右クリックし、[**新規 | フォルダ**] を選択します。
3. フォルダの名前を入力し、[**OK**] をクリックします。



注意：Windows エクスプローラを使用して Publisher のフォルダ構造を表示するためにウェブ フォルダのマッピング機能を使用している場合は、フォルダ名に特殊記号 (\ / : * ? " < >) を含めないください。Windows エクスプローラでは、これらの記号を含むファイル名またはフォルダ名を使用することができません。したがって、Windows エクスプローラを使用して表示した場合、そのようなフォルダは、Publisher のフォルダ構造に表示されません。

Publisher エクスプローラに関する詳細については、[第 3 章、「Publisher エクスプローラの使用」](#)を参照してください。

発行済みコンテンツ ポートレット フォルダ

ポートレット設定ウィザードを使用して発行済みコンテンツ ポートレットを作成した場合、Publisher は、保存場所として指定したフォルダ内に、対応するポートレット フォルダを自動的に作成します。

下位レベルのフォルダを作成するのと同じように、Publisher エクスプローラを使用して、ポートレット フォルダを作成することもできます。

ポートレット フォルダは、Publisher のフォルダ構造内の他のフォルダと区別される独自の条件および機能を持っています。

詳細については、[6-12 ページの「発行済みコンテンツ ポートレット フォルダの管理」](#)を参照してください。

セキュリティの設定

この節では、Publisher のセキュリティの概要および以下の項目の手順について説明します。

- 「Publisher の管理」および「ワークフローの設定」ポータル アクティビティ権限の割り当て
- Publisher フォルダに対するユーザーおよび役割の割り当て

- Publisher のフォルダ セキュリティとポータル セキュリティのマッピング

Publisher のセキュリティの概要

Publisher のセキュリティは、役割に基づいており、フォルダごとに設定されます。Publisher の各役割には、Publisher の機能に対するアクセス レベルが定義されています。Publisher で作成した各フォルダに関して、どのプラットフォーム ユーザーおよびグループに Publisher のどの役割を割り当てるかを指定することができます。または、作成したフォルダが階層構造内の 1 つ上のフォルダからセキュリティを継承するように設定することもできます。管理者は、トップレベル フォルダを含む Publisher の全てのフォルダにセキュリティを割り当てることができます。フォルダ管理者は、下位レベルのフォルダにセキュリティを割り当てることができます。

例えば、管理者が、すべてのマーケティング コミュニティ ポートレットおよびコンテンツを格納するための Marketing フォルダを作成した場合、マーケティング コミュニティ マネージャーが、そのフォルダの中のポートレットに対して、編集、削除、名前の変更、セキュリティの再割り当て、ワークフローの上書き、および発行を行うことができるようにする必要があります。これには、コミュニティ マネージャーに、フォルダ管理者の役割を割り当てて、このフォルダに対するこれらの機能へのアクセスを提供する必要があります。また、ウェブ マスターが、マーケティング コミュニティ ポートレットのプレゼンテーション テンプレートおよびデータ入力テンプレートを編集できるようにする必要があります。これには、ウェブ マスターに、製作者の役割を割り当てて、セキュリティの設定の変更、フォルダの削除、またはフォルダの名前の変更以外の、このフォルダに対する機能へのアクセスを提供する必要があります。さらに、特定のコミュニティ メンバーが、フォルダの中のポートレットのバージョン履歴および発行情報を表示できるようにする必要があります。これには、これらのコミュニティ メンバーには、寄稿者の役割を割り当てる必要があります。デフォルトで、管理者の役割は、常に、Publisher の全てのフォルダおよび機能への完全なアクセスを持ちます。



注意：Publisher セキュリティは、ポータルを通したポートレットへのアクセスには適用されません。このようなアクセスについては、ポータル セキュリティで定義する必要があります。しかし、重要なことは、ユーザーがポータルを通してコンテンツを提出することを可能にする発行済みコンテンツ ポートレットに関して、Publisher セキュリティが可能な限りポータル管理のセキュリティを緊密にミラーリングしていることです。このため、Publisher は、ポートレットに関して、ポータル セキュリティをコンテンツのセキュリティにマップするための手段を提供しています。詳細については、[4-9 ページの「Publisher セキュリティへのポータルセキュリティのマッピング」](#)を参照してください。

Publisher の役割

Publisher のコンテンツおよび機能へのアクセスは、下記の役割を設定することによって制御されます。

- 読者：コンテンツを表示することができます。また、ワークフローのアイテムが割り当てられている場合、アイテムを承認または拒否するか、またはワークフローの割り当てを別のユーザーに変更することができます。
- 提出者：記事の作成、プレビュー、編集、およびワークフローへの提出を行うことができます。また、ワークフローで割り当てられたアイテムを承認または拒否することができます。
- 寄稿者：提出者と同じ権限が与えられますが、それに加えて、コンテンツ アイテムのメモ、ワークフロー、バージョン履歴、発行情報、および発行スケジュールを表示することができます。
- 編集者：寄稿者と同じ権限が与えられますが、それに加えて、アイテムをウェブ サーバーおよびポータル ナレッジ ディレクトリに発行することができます。
- 製作者：編集者と同じ権限が与えられますが、それに加えて、フォルダ、データ入力テンプレート、選択リスト、およびプレゼンテーション テンプレートの作成および編集、コンテンツ アイテムの個別またはフォルダ単位でのプレビューおよび発行、他の者に割り当てられたコンテンツ アイテムの編集、発行およびプレビューするためのフォルダの設定を行うことができます。

- フォルダ管理者：製作者と同じ権限が与えられますが、それに加えて、他のユーザーのチェックアウトの取り消し、発行済みコンテンツ ポートレットの管理、ワークフローの割り当ておよびフォルダに対する Publisher のセキュリティの設定または変更を行うことができます。つまり、フォルダ管理者は、フォルダ管理者の役割が割り当てられているフォルダに対して全ての Publisher 機能を実行することができます。
- 管理者：Publisher の全てのフォルダおよび全ての機能へのアクセスが提供されます。管理者は、トップレベルフォルダの作成、編集、コピー、および削除、フォルダ レベルでの管理権限の委任を行うことができます。また、ワークフロー管理にアクセスしてシステム全体のワークフロー定義を設定することができます。管理者の役割は、ポータル管理者グループのユーザーに自動的に付与されます。また、「Publisher の管理」ポータル アクティビティ権限を通して他のユーザーに割り当てることもできます。

！ 重要：同じユーザーが、異なる Publisher フォルダに対して、異なる役割を持つことがあります。

下記の表では、Publisher の機能およびそれらの機能に対するアクセス権限を持つ役割の詳細なリストを示します。

表 4-2 : Publisher の機能および役割

凡例：R = 読者、S = 提出者、C = 寄稿者、E = 編集者、P = 製作者、FA = フォルダ管理者、A = 管理者。

機能	アクセス権限を持つ役割
発行済みコンテンツ ポートレットの参照、検索、および表示	A、FA、P、E、C、S、R
ビルトイン Publisher ポートレットの参照、検索、および表示	A、FA、P、E、C、S、R
Publisher エクスプローラでのユーザーのクイック リンクおよび基本設定の設定	A、FA、P、E、C、S
トップレベル フォルダの作成	A
トップレベル フォルダのコピー、名前の変更、および削除	A、FA
セキュリティ：フォルダへのユーザー、グループ、および役割の割り当て	A、FA
フォルダからのポートレットの分離	A、FA
(別のユーザーによる) チェックアウトの取り消し	A、FA
下位レベルのフォルダの作成、削除、コピー、移動、および名前の変更 (移動に関しては、移動元のフォルダおよび移動先のフォルダの両方に対してアクセス権限が必要)	A、FA、P
新しいデータ入力テンプレート、プレゼンテーション テンプレート、および選択リストの作成	A、FA、P
ワークフローで別のユーザーに割り当てられたコンテンツ アイテムの編集	A、FA、P
発行ターゲットの設定	A、FA、P
ディレクトリへの発行	A、FA、P、E

表 4-2 : Publisher の機能および役割

凡例 : R = 読者、S = 提出者、C = 寄稿者、E = 編集者、P = 製作者、FA = フォルダ管理者、A = 管理者。

機能	アクセス権限を持つ役割
コンテンツ アイテムまたはフォルダの発行	A、FA、P、E
コンテンツ アイテム エディタでの発行情報の表示および編集	A、FA、P、E
発行および期限切れのスケジュール設定	A、FA、P、E
コンテンツ アイテム エディタでのバージョンの表示および復元	A、FA、P、E、C
コンテンツ アイテムの作成、編集、コピー、削除、および名前の変更	A、FA、P、E、C、S
コンテンツ アイテムのプレビュー	A、FA、P、E、C、S
コンテンツ アイテムのチェックインおよびチェックアウト	A、FA、P、E、C、S
コンテンツ アイテムを作成および編集する際のウェブ編集機能の使用	A、FA、P、E、C、S
Publisher エクスプローラでのコピー機能の使用 (セキュリティはコピー先のフォルダにも適用される)	A、FA、P、E、C、S
Publisher エクスプローラでの移動機能の使用 (セキュリティは移動先のフォルダにも適用される)	A、FA、P、E、C、S
コミュニティ ディレクトリ提供ポートレットでの新規フォルダの作成	A、FA、P、E、C、S
Publisher エクスプローラでのフォルダに対するワークフローの適用	A、FA
ワークフローの上書き	A、FA
ワークフロー アクティビティを受け持つ	A、FA、P、E、C、S、R
作業アイテムの承認または拒否	A、FA、P、E、C、S、R
WebDAV にアクセスし、Publisher 用のウェブ フォルダを設定	A、FA、P、E、C、S

Publisher およびワークフローのポータル アクティビティ権限

管理者の役割を持つユーザーは、「Publisher の管理」ポータル アクティビティ権限を持つ必要があります。ポータル アクティビティ権限は、管理アクティビティのセットへのアクセスを割り当てるためのポータル セキュリティの機能です。ポータル セキュリティの管理者グループのユーザーは、デフォルトで「Publisher の管理」ポータル アクティビティ権限を持ち、そのポータル アクティビティ権限を別のポータル グループに割り当てることによって権限を委任することができます。「Publisher の管理」アクティビティ権限は、Publisher の管理者の役割のアクセス権限を設定し、Publisher の全ての機能への完全なアクセスを提供します。ほとんどの組織では、「Publisher の管理」アクティビティ権限 (すなわち管理者の役割) は、IT マネージャー、ポータル マネージャー、またはウェブ マスターに割り当てられます。

管理者の役割を持つユーザーは、ワークフロー管理の全ての機能にアクセスすることができます。また、管理者は、ポータル セキュリティの「ワークフローの設定」アクティビティ権限を、別のユーザーまたはグループに割り当てることによって、そのユーザーまたはグループにワークフロー管理を委任することもできます。

「Publisher の管理」および「ワークフローの設定」ポータル アクティビティ権限の割り当て

アクティビティ権限をグループに割り当てるには、次の手順に従います。

1. ポータルの管理者として、ポータルにログインします。
2. [**管理**] タブをクリックします。
3. [**アクティビティ マネージャー**] を選択します。
4. 編集するアクティビティ権限をクリックします。
5. [**グループの追加**] をクリックします。
6. アクティビティ権限を割り当てるグループを選択します。
7. [**OK**] をクリックします。
8. [**終了**] をクリックします。

ポータル アクティビティ権限の割り当てについては、『Plumtree Foundation 管理者用ガイド』を参照してください。

Publisher フォルダに対するユーザーおよび役割の割り当て

[Publisher の管理] アクティビティ権限を通して、またはポータル管理者グループのメンバーになることによって、ユーザーに管理者の役割が割り当てられると、そのユーザーは、Publisher のトップレベル フォルダのセキュリティを設定することができます。管理者がトップレベル フォルダのセキュリティを設定すると、フォルダ管理者の役割を持つユーザーは、フォルダに対してフォルダ管理者の役割を持っていれば、そのフォルダにセキュリティを割り当てることができます。これは、トップレベル フォルダも含みます。管理者またはフォルダ管理者が、下位レベルのフォルダへのセキュリティの継承を上書きしない限り、セキュリティ設定は、デフォルトで、階層構造内の上位フォルダから下位フォルダに順番に継承されていきます。



注意: フォルダに対する管理者またはフォルダ管理者の割り当てが継承された場合、それを上書きすることはできません。

Publisher セキュリティを割り当てる前に、ユーザーおよびグループをポータル管理で定義する必要があります。

詳細については、『Plumtree Foundation 管理者用ガイド』を参照してください。

Publisher のフォルダに対する Publisher の役割をユーザーまたはグループに割り当てるには、次の手順に従います。

1. [**コンテンツのセキュリティ**] ページにアクセスします。以下の方法で、このページにアクセスできます。
 - Publisher エクスプローラで、セキュリティを割り当てるフォルダを右クリックし、[**コンテンツのセキュリティ**] をクリックします。
 - ポートレット設定ウィザードで、[**セキュリティ**] ボタンをクリックします。ポートレット フォルダに対してフォルダ管理者の役割を持っていれば、そのフォルダのセキュリティを設定することができます。
 - ポートレット テンプレート設定ウィザードで、[**テンプレート セキュリティ**] ページを選択し、[**編集**] ボタンをクリックします。ポートレット テンプレート フォルダに対してフォルダ管理者の役割を持っていれば、そのフォルダのセキュリティを設定することができます。

2. [コンテンツのセキュリティ] ページで、以下の操作を行います。

- フォルダに、そのフォルダが含まれている Publisher フォルダの Publisher セキュリティを継承させる場合で、ポータル管理オブジェクトのポータル セキュリティをそのフォルダの Publisher セキュリティにマッピングしない場合は、[セキュリティの継承] チェック ボックスをオンにしてください。フォルダを作成した際、このオプションは、デフォルトでオンに設定されます。
- フォルダに対して Publisher セキュリティを指定する場合、またはポータル管理オブジェクトのポータル セキュリティをフォルダの Publisher セキュリティにマッピングする場合、[セキュリティの継承] チェック ボックスをオフにしてください。[ユーザーおよびグループの追加] および [ポートレット セキュリティ マップの追加] ボタンが有効になります。



注意: ポートレット テンプレート 用の [コンテンツのセキュリティ] ページは、上記とは少し異なります。詳細については、[11-2 ページの「ポートレット テンプレート 設定ウィザード へのアクセス方法」](#)を参照してください。

- [ユーザーおよびグループの追加] ボタンを使用して、フォルダへのアクセスが必要なユーザーおよびグループを選択し、追加します。[役割] の列を使用して、Publisher の役割を各ユーザーおよびグループに割り当てます。
- フォルダの Publisher セキュリティをポータル オブジェクトのポータル セキュリティにマッピングする場合、[ポートレット セキュリティ マップの追加] ボタンをクリックして、マッピング フィールドを有効にします。

Publisher セキュリティへのポートレット セキュリティのマッピングに関する詳細については、[4-9 ページの「Publisher セキュリティへのポータル セキュリティのマッピング」](#)を参照してください。

3. [終了] をクリックして、セキュリティ設定を保存します。

Publisher セキュリティへのポータル セキュリティのマッピング

ポータル セキュリティは、Publisher セキュリティとは別々に管理されます。例えば、ポータル内のポートレットへのアクセスは、ポータル管理で管理され、ユーザーのマイ ページへのポートレットの追加、コミュニティでのポートレットの表示等が制御されます。ポートレットを構成する Publisher オブジェクト (ポートレット フォルダ、サブフォルダ、コンテンツ アイテム、データ入力テンプレート、選択リスト、およびプレゼンテーション テンプレート) のセキュリティは、すべて Publisher 内で定義されます。基本的に、ポータル内のポートレットへのアクセスを持つユーザーは、Publisher でもそのポートレットへの同じレベルのアクセス権を持つ必要があります。このように Publisher セキュリティとポータル セキュリティのマッピングを行わないと、以下が発生する可能性があります。

- ユーザーが、ポートレットを通してコンテンツを提出しようとした際に、基となる Publisher のポートレット フォルダへのアクセスが拒否され、コンテンツ アイテムを作成できない場合があります。
- ユーザーが、ポートレット テンプレートからポートレットを作成しようとした際に、ポートレット テンプレートの Publisher フォルダおよびオブジェクトのコピーが拒否され、ポートレットを作成できない場合があります。

[コンテンツのセキュリティ] ページを使用して、ポータル オブジェクトのセキュリティを、Publisher フォルダに対する Publisher セキュリティにマッピングすることができます。このようにマッピングした場合、Publisher は、ポータル オブジェクトのアクセス コントロール リスト (ACL) に含まれている全てのユーザーを、Publisher の

フォルダの Publisher セキュリティ リストに自動的に追加し、[コンテンツのセキュリティ] ページで指定した Publisher の役割をそれらのユーザーに割り当てます。次の表では、マッピングの例を示します。

表 4-3 : ポータルと Publisher のセキュリティのマッピング

ポータル オブジェクト のセキュリティ	Publisher フォルダのセキュリティ
読み取り	提出者
選択	提出者
編集	製作者
管理	フォルダ管理者

この例では、ポータル内のポートレットに対して**読み取り**アクセス権限を持つ全てのユーザーは、Publisher のポートレット フォルダに対して**提出者**のアクセス権限を持つことになります。その他の権限も同様にマッピングされます。

ポータル セキュリティのマッピングによって定義された Publisher フォルダへのユーザーのアクセスが、([コンテンツのセキュリティ] ページのユーザー / グループおよび役割の列で定義された) 明示的な Publisher のフォルダセキュリティと同じではない場合、より高いレベルのアクセスが適用されます。例えば、ポータル セキュリティのアクセス レベルに基づいて、Publisher フォルダに対して提出者の役割がユーザーに割り当てられていて、それと同時に、そのフォルダの明示的な Publisher セキュリティに基づいて寄稿者の役割がユーザーに割り当てられている場合、ユーザーは、フォルダに対して寄稿者の役割を持ちます。

ポータル オブジェクトのセキュリティを Publisher フォルダの Publisher セキュリティにマッピングするには、次の手順に従います。

1. フォルダ (またはポートレット、またはポートレット テンプレート) の [コンテンツのセキュリティ] ページにアクセスします。

[4-8 ページの「Publisher フォルダに対するユーザーおよび役割の割り当て」](#)を参照してください。

2. [ポータル セキュリティ マップの追加] をクリックして、[ポータル オブジェクト] ダイアログ ボックスにアクセスし、Publisher フォルダにセキュリティをマッピングするポータル オブジェクトを選択します。



注意: ポートレット テンプレート 設定ウィザード から [コンテンツのセキュリティ] ページを開いた場合、ポートレット テンプレート の名前が付いたショートカット ボタンが表示されます。そのショートカット ボタンをクリックすると、[ポータル オブジェクト] ダイアログボックスを開くことなく、ポートレット テンプレートを [ポータル オブジェクト] の列に追加することができます。

3. セキュリティをマッピングするポータル オブジェクトを選択すると、ポータル オブジェクトは、[コンテンツのセキュリティ] ページの [ポータル オブジェクト] の列に表示されます。

4. [役割のアクセス レベル] の列では、ポータル セキュリティの各アクセス レベルにマッピングする適切な Publisher の役割を選択します。

図 4-1 : [コンテンツのセキュリティ] ページのポートレット マッピング フィールドの表示

Users/Groups	Role
Administrators Group	Administrator
kpeon	Submitter
Product Marketing	Administrator

Portal Object	Access Level to Role
Technical Publications Community	Read: Submitter
	Select: Submitter
	Edit: Producer
	Admin: Folder Administrator

Inherit Security: ☐

例えば、Technical Publications News ポートレット フォルダのセキュリティに、ポータル オブジェクトであるコミュニティのセキュリティをマッピングする場合、「選択」ポータル アクセス レベルを提出者の役割にマッピングすると、コミュニティに対して「選択」ポータル アクセス権限を持つ全てのユーザーには、Publisher のポートレット フォルダに対して提出者のアクセス権限が割り当てられ、ポートレットのコンテンツ アイテムの作成、編集、および確認を行うことが可能になります。

5. [終了] をクリックして、セキュリティ設定を保存します。



注意：新しい発行済みコンテンツ ポートレット テンプレートに関して、ポータル セキュリティを Publisher セキュリティ にマッピングする場合、このプロセスは少し異なります。詳細については、[11-4 ページの「 \[テンプレート セキュリティ\] ページの使用法」](#)を参照してください。

発行ターゲットおよびプレビュー サイトの設定

この節では、発行ターゲットおよびプレビュー サイトの概要および以下の項目の手順について説明します。

- ルート フォルダに対する発行ターゲットおよびプレビュー サイトの設定
- その他の全てのフォルダに対する発行ターゲットおよびプレビュー サイトの設定

発行ターゲットおよびプレビュー サイト

Publisher のフォルダ構造を設定した後、Publisher フォルダのコンテンツ アイテムをプレビューおよび発行する場所を指定する必要があります。

- プレビュー サイトは、フォーマットされたウェブ用コンテンツ アイテムを、アイテムを発行する前のコンテンツ アイテムの編集およびワークフローの段階で表示するためにステージングする場所です。
- 発行ターゲットは、フォーマットされたウェブ用コンテンツ アイテムが発行されるポータルまたはその他のウェブ サーバーの場所です。

Publisher が、ネットワークを通して、または FTP を通してこれらの場所へアクセスできる必要があります。また、フォルダへの書き込みアクセス権限が必要になります。Publisher の発行ターゲットを設定するには、サーバーの場所およびネットワークおよびインターネットからアクセスする方法を決定する必要があります。

- 転送パス：Publisher は、転送パスを使用して、コンテンツ アイテムを発行ターゲットに保存します。標準のファイル転送または FTP を使用することができます。
 - 発行ターゲットが同じサーバー上またはマッピングされたネットワーク ドライブ上にある場合、ドライブ レターおよびフォルダを指定したパスを使用して、標準のファイル転送でコンテンツ アイテムをアップロードすることができます。例：file://localhost/w:/website/wwwroot/。一方、発行ターゲットが別のサーバー上にある場合は UNC パスを使用できます。例：file:///machinename/wwwroot
 - FTP を使用するには、FTP サーバーのホスト名およびセキュリティ条件を知る必要があります。匿名ユーザーにサーバーへのアップロードが許可されている場合があります。また、有効なユーザー名およびパスワードを使用する必要がある場合もあります。FTP 転送パスは、ftp://host:port/path/ という形式を使用します。例：ftp://ftp.mycompany.com/wwwroot/
- ブラウザ パス：どの方法でファイルをサイトにアップロードするにしても、インターネットのブラウザがコンテンツを表示できるようにするために、ブラウザのパス (URL またはウェブ アドレス) を決定する必要があります。発行済みコンテンツへのリンクには、ウェブ ブラウザを使用して発行ターゲットにあるアイテムへアクセスするために、このパスが使用されます。
- イメージを別の場所に発行：発行したイメージをゲートウェイ処理するときにパフォーマンスが低下してしまう場合は、イメージ用に別の発行ターゲットを指定して、ゲートウェイ領域の外にあるサーバーに発行することも可能です。[**イメージを別の場所に発行する**] チェック ボックスをクリックすると、他のコンテンツ タイプを設定するのと同じ方法で、イメージの発行ターゲットを設定できます。イメージ発行のオプションとしては、[次を使用して転送]、[転送パス]、[ブラウザ パス]、および [イメージ発行ターゲットのテスト] が表示されます。



注意：適切なエントリ ポイント (index.html、default.html 等) を持たないフォルダのコンテンツのリストを表示するには、ウェブ サーバーのディレクトリの参照を有効にする必要があります。

管理者は、ルート フォルダに対する発行ターゲットおよびプレビュー サイトを設定します。製作者以上の役割を持つユーザーは、その他の全てのフォルダの発行ターゲットおよびプレビュー ターゲットを設定することができます。

デフォルトで、各フォルダは、階層内の親フォルダから発行場所およびプレビュー場所を継承します。例えば、ルート フォルダの発行ターゲットが

```
file://localhost/C:/Program Files/mycompany/ptcs/publishedcontent/publish
```

で、Publisher のフォルダ構造内の Root/Communities/Marketing/Marketing News フォルダに含まれているコンテンツ アイテムがあるとした場合、この場合、このコンテンツ アイテムのデフォルトの発行ターゲットは下記の通りになります。

```
file://localhost/C:/Program Files/mycompany/ptcs/publishedcontent/publish/communities/marketing/marketing news/<content item>
```

デフォルトで、発行ターゲットのディレクトリ構造は、Publisher のフォルダ構造をミラーリングします。任意のフォルダ レベルで、親フォルダから継承された発行ターゲットを上書きし、フォルダに対して別の発行ターゲット

を設定することによって、デフォルトのウェブ サーバーのディレクトリ構造を変更することができます。そのフォルダの全てのサブフォルダは、新しい発行ターゲットを継承します。

上記の例の場合、Marketing フォルダのコンテンツ アイテムを、ウェブ サーバーの下記のフォルダに発行するには、

file://localhost/C:/Program Files/mycompany/ptcs/publishedcontent/publish/communities/sales_and_marketing

Marketing フォルダの発行ターゲットを上記の新しいファイル パスに変更します。Marketing フォルダ以下の全てのフォルダは、この発行ターゲットを継承します (それらの発行ターゲットを変更した場合は除きます)。この結果、上記の例のコンテンツ アイテムは、下記の発行ターゲットに発行されます。

file://localhost/C:/Program Files/mycompany/ptcs/publishedcontent/publish/communities/sales_and_marketing/marketing news/<content item>

ルート フォルダに対する発行ターゲットおよびプレビュー サイトの設定

管理者の役割を持つユーザーは、他のフォルダを設定する前に、ルート フォルダの発行ターゲットおよびプレビュー サイトを設定する必要があります。発行およびプレビューを行うためにルート フォルダを設定するには、次の手順に従います。

1. Publisher エクスプローラを開きます。
2. ルート フォルダを右クリックして、[発行ターゲット] を選択します。
3. [発行] タブをクリックします。
4. 転送方法として、[FTP] または [ファイル パス] を選択します。



注意: ローカルドライブまたはマッピングされたネットワークドライブを通してサーバーにアクセスできる場合のみ、[ファイル パス] を使用してください。

5. [転送パス] で、発行ターゲットとして選択した場所へのパスを入力してください。転送パスには、UNC (国際命名規則) パスも使用できます。
6. 手順 4 で FTP を選択した場合は、以下の 1 つを選択してください。
 - [匿名 FTP] : ターゲット システムに、パスワードを必要としないゲスト アカウントが設定されている場合。
 - [ログイン] : ターゲット システムに、パスワードが必要である場合。有効なユーザー名およびパスワードを入力する必要があります。
7. [ブラウザ パス] で、発行ターゲットとして選択した場所の URL (ウェブ パス) を入力してください。
8. このフォルダおよびサブフォルダに関して、発行場所のフォルダ構造を Publisher のフォルダ構造と一致させる場合、[ミラー サイトの階層 (サブフォルダを維持)] チェック ボックスをオンにしてください。このフォルダの全てのコンテンツ アイテムに対して、下位レベルのフォルダ階層のないフラットな構造を適用する場合、チェック ボックスをオフにしてください。この場合、システムは、フォルダ内のアイテムの名前が重複した場合に発生する問題を防ぐために、各発行済みアイテムに対して固有の ID を付加します。



注意: ほとんどのユーザーは、コンテンツ アイテムをウェブ サーバーのフラットなディレクトリ構造に発行しませんが、これは、場合によっては有用です。例えば、Publisher のフォルダ ツリーが複数あり、それぞれのフォルダ ツリーにイメージ フォルダが含まれていて、全てのイメージをウェブ サーバーの同じフォルダに発行する場合に、このオプションは有用です。[ミラー サイトの階層 (サブフォルダを維持)] チェック ボックスをオフにした場合、フォルダ内およびサブフォルダ内の各アイ

テムの名前には、固有の ID が付加されます。これによって、イメージ ファイルの名前が重複した場合の問題を防ぎます。

9. [**プレビュー**] タブをクリックし、プレビュー サイトを設定するために手順 4 から手順 8 を実行してください。
10. 転送パスおよびブラウザ パスが同じ場所を示しているかどうかを確認するには、[**発行ターゲットのテスト**] をクリックしてください。エラーが発生した場合は、エラー メッセージがページの下部に表示されます。
11. [**終了**] をクリックし、変更内容を保存し、ウィンドウを閉じてください。

その他の全てのフォルダに対する発行ターゲットおよびプレビュー サイトの設定

デフォルトで、全てのフォルダは、Publisher のフォルダ階層の上位フォルダから発行場所およびプレビュー場所を継承します。ルート フォルダ以外のフォルダに関して、管理者、フォルダ管理者、および製作者は、この継承を上書きし、フォルダに対する新しい発行ターゲットまたはプレビュー サイトを設定することができます。フォルダの設定を変更した場合、そのフォルダの全てのサブフォルダは新しい設定を継承します。

フォルダの発行設定およびプレビュー設定を変更するには、フォルダを右クリックし、[**発行ターゲット**] を選択します。[**親フォルダの設定を継承**] をまず解除し、再設定できるようにしてから、「ルート フォルダに対する発行ターゲットおよびプレビュー サイトの設定」の手順 3 から手順 11 を実行してください。

フォルダを設定した後で、親フォルダの設定を継承するようにフォルダをリセットするには、[**発行ターゲット**] ページの [**親フォルダの設定を継承**] チェック ボックスをオンにしてください。これは、発行ターゲットおよびプレビュー サイトを親フォルダの発行ターゲットおよびプレビュー サイトに設定し直します。

5 ワークフローの使用法

ワークフローは、コンテンツ アイテムを発行する前に、その品質および正確さを制御できるようにします。ワークフローは、順番に行われるアクティビティのセットで構成されます。各アクティビティは、割り当て先が承認する必要があります。ワークフローがフォルダに添付された場合、ワークフローに提出されたフォルダのコンテンツ アイテムは、発行される前に、定義されたアクティビティのセットを通して、処理される必要があります。

この章では、Publisher のワークフローの概要および以下の項目について説明します。

- [「ワークフローの設定」](#)
- [「フォルダへのワークフローの添付」](#)
- [「ワークフローの処理」](#)

ワークフローについて

ワークフローは、レビューや承認のチェックリストに似ています。ワークフローの基本的なビルディング ブロックは、ワークフロー定義で、単純にワークフローとも呼ばれますが、ワークフロー アクティビティという承認手順の順序付けられたセットの定義です。ワークフロー内の各ワークフロー アクティビティは、ユーザーまたはユーザーのグループに割り当てられます。例えば、新しい製品ラインを発表するためのプレス リリースを送信する場合、組織は以下のような手順を実行する必要があります。

- マーケティング部が、プレス リリースを作成します。
- 製品ラインのマネージャーが、プレス リリースの内容が正確であることを確認します。
- 法務部が、法律上問題がないことを確認します。
- 編集者が、プレス リリースを見直します。
- プレス担当が最終的なレビューを行い、全てに対して問題がなければ、プレス リリースを発行します。

上記の場合、ワークフロー定義には、これらの各手順に対するワークフロー アクティビティを含めます。また、これらの各アクティビティに対してユーザーまたはユーザーのグループを割り当てます。コンテンツ アイテムがワークフローに提出されると、そのアイテムのことを作業アイテムと呼びます。作業アイテムがワークフロー アクティビティに提出または転送された場合、そのアクティビティに割り当てられているユーザーは、以下の 1 つを行うことができます。

- 作業アイテムを承認し、次のアクティビティの割り当て先に転送します。また、作業アイテムが、そのアクティビティで発行できる場合は、作業アイテムを発行します。
- 作業アイテムを拒否し、前の割り当て先に戻します。
- ワークフロー アクティビティで許可されている場合、別のユーザーに転送または委任します。

ワークフロー サービスは、自動的に作業アイテムを 1 つのアクティビティから次のアクティビティに移動し、割り当て先がアイテムをレビューまたは処理する順番になると、その担当者に通知します。

ワークフローは、システム レベルで定義しますが、Publisher のフォルダにワークフローを添付することによって、そのワークフローを導入します。デフォルトで、全てのフォルダは、親フォルダのワークフロー プロパティを継承しますが、管理者またはフォルダ管理者の役割を持つユーザーは、どのフォルダ レベルでも、デフォルトを上書きして新しいワークフロー プロパティを割り当てることができます。

管理者は、以下のワークフロー設定作業を実施する必要があります。

- ワークフローの管理を別のユーザーに委任する場合は、「ワークフローの設定」ポータル アクティビティ権限の割り当て。
- ワークフローの定義。管理者の役割を持つユーザー、または「ワークフローの設定」ポータル アクティビティ権限を持つユーザーは、ワークフローを定義することができます。
- Publisher** のフォルダへのワークフローの添付。管理者の役割を持つユーザー、または「**Publisher** の管理」ポータル アクティビティ権限を持つユーザー、およびフォルダ管理者は、ワークフローを添付することができます。

管理者より低い役割を持つユーザーは、以下のタスクを実行することができます。

- ポータルのユーザー プロファイルへの、ワークフロー通知のための電子メール アドレスの設定。
- コンテンツ アイテムのワークフローへの提出。提出者以上の役割を持つユーザーは、ワークフローを提出することができます。
- 作業アイテムの承認および拒否。読者以上の役割を持つユーザーは、作業アイテムを承認および拒否することができます。発行を行うことが可能なワークフロー アクティビティ内にコンテンツ アイテムがある場合、編集者以上の役割を持つユーザーは、コンテンツ アイテムを承認し、発行することができます。
- ワークフローの割り当ての要求、転送、および委任。読者以上の役割を持つユーザーは、そのユーザーが割り当てられているワークフロー アクティビティを要求、転送、および委任することができます。
- ワークフローの上書き。フォルダ管理者以上の役割を持つユーザーは、ワークフロー アクティビティを上書きする、またはワークフローからコンテンツ アイテムを削除することができます。
- ワークフロー内のアイテムのフォルダごとの表示。提出者以上の役割を持つユーザーは、フォルダに対してアクセス権限がある場合、ワークフローに提出されているそのフォルダのアイテムを表示することができます。

ワークフローの設定

この節では、以下の方法について説明します。

- [ワークフローの設定] アクティビティ権限の割り当て
- ワークフロー通知の設定
- ワークフローの定義および編集

[ワークフローの設定] アクティビティ権限の割り当て

管理者の役割を持つユーザーは、全てのワークフロー管理機能にアクセスすることができます。管理者は、[ワークフローの設定]ポータル アクティビティ権限を他のユーザーに割り当てることによって、それらの機能を他のユーザーに委任することができます。

[4-8 ページの「\[Publisher の管理\]および「ワークフローの設定」ポータル アクティビティ権限の割り当て」](#)を参照してください。

ワークフロー通知の設定

ワークフロー通知の送信には、ポータルのユーザー プロファイルに入力された電子メール アドレスが使用されます。ポータル管理者が設定したアクセス設定によって、この電子メール アドレスの更新は、管理機能またはエンドユーザー機能のいずれかになります。

詳細については、『Plumtree Foundation 管理者用ガイド』を参照してください。

ワークフローの定義および編集

Publisher では、ワークフローは、ワークフロー アクティビティの設定および順番を制御します。管理者および「ワークフローの設定」アクティビティ権限を持つユーザーは、ワークフロー エディタを使用して、必要な数のワークフロー アクティビティを含んだワークフローをいくつでも定義することができます。定義された全てのワークフローは、Publisher のディレクトリのいかなるフォルダにも添付することができます。



注意：既にフォルダに添付されているワークフローを変更した場合、現在ワークフローで処理されている作業アイテムは、アイテムが最初に提出されたときのワークフローの定義に従って処理されます。ワークフローを変更した後に提出されたコンテンツ アイテムのみが、変更されたワークフローに従って処理されます。

ワークフローを定義する際は、ワークフローを添付するフォルダに割り当てられている Publisher のセキュリティを考慮する必要があります。ワークフロー アクティビティに割り当てるユーザーおよびグループがアクティビティを実行するための十分なセキュリティ アクセス権限を持っていることを確認してください。例えば、発行を行うことが可能なワークフロー アクティビティに割り当てるユーザーは、ワークフローが添付されているすべてのフォルダに対して、(編集者以上の) 発行が許可されている役割を持つ必要があります。

ワークフローの作成

この節では、以下の方法について説明します。

- ワークフロー エディタの起動
- ワークフロー エディタの使用

ワークフロー エディタの起動

ワークフロー エディタを起動するには、次の手順に従います。

1. Publisher 管理ポータルで、[ワークフロー管理]をクリックし、[ワークフロー管理] ページを開きます (このリンクは、管理者または「ワークフローの設定」ポータル アクティビティ権限を持つユーザーのみが使用できます)。
2. [新規ワークフロー] をクリックし、ワークフロー エディタを起動します。

[ワークフロー管理] ページで既存の定義をコピーすることによっても、新規ワークフローを定義することができます。

1. コピーするワークフローの横にあるチェック ボックスをオンにします。
2. [コピー] をクリックし、ワークフロー エディタを起動します。

ワークフロー エディタの使用

ワークフローを定義し、ワークフロー アクティビティの順番を設定するには、次の手順に従います。

- ワークフローの [名前] および [説明] を入力します。

名前および説明は、フォルダにワークフローを添付するための [フォルダのワークフロー プロパティ] ページ、担当者が割り当てられた作業の詳細を表示するための [ワークフロー割り当て] ページ、および [ワークフロー管理] ページに表示されます。ワークフローの内容が明確に分かるような名前および説明を使用してく

ださい。例えば、ワークフローが特定のフォルダのために作成された場合、そのことが分かるように説明を追加する必要があります。

- ワークフローを **[有効]** にするかどうかを選択します。ワークフローを有効にした場合のみ、Publisher のフォルダに添付することができます。
- ワークフローにアクティビティを追加するには、**アクティビティ リスト** の下の **[新規アクティビティ]** をクリックしてください。新しいアクティビティがアクティビティ リストに表示され、**[アクティビティ プロパティ]** エリアのフィールドで、新しいアクティビティのプロパティを定義することができるようになります。

既存のワークフローをコピーまたは編集している場合、全ての既存のアクティビティがアクティビティ リストに表示されます。アクティビティ名をクリックすると、**[アクティビティ プロパティ]** エリアで編集できるようになります。



注意: システムは、アイテムをワークフローに提出したユーザーに割り当てられる **[開始]** という最初のアクティビティを自動的に作成します。次のアクティビティの割り当て先がアイテムを拒否し、提出者に戻された場合のみ、作業アイテムは、このアクティビティに含まれます。ユーザーをこのアクティビティに割り当てることはできません。また、このアクティビティを移動することはできません。

- **[アクティビティ プロパティ]** エリアで、各ワークフロー アクティビティを定義します。
 - **[アクティビティ名]** および **[説明]** を入力します。

名前および説明は、割り当て先がワークフロー アイテムを処理する **[ワークフロー割り当て]** ページに表示されます。また、**[フォルダのワークフロー プロパティ]** ページからアクセスする説明ページにも表示されます。名前は、ワークフロー情報を含む全てのビルトイン Publisher ポートレットに表示されます。アクティビティで何を実行する必要があるかが明確に分かるような名前、および何のためのアクティビティなのか明確に分かるような説明を入力してください。

- **[割り当て先の追加]** をクリックすることによって、ユーザーをワークフロー アクティビティに割り当てることができます。

アクティビティにユーザーまたはグループを割り当てることによって、作業アイテムがそのアクティビティで処理されている間、その作業アイテムへのアクセスを制限することができます。Publisher のフォルダにワークフローを添付するには、そのワークフローの全てのアクティビティに対して割り当て先が割り当てられている必要があります。編集者以上の役割を持つユーザーは、いつでもコンテンツ アイテムを編集することができますが、寄稿者および提出者は、個人としてまたはグループのメンバーとして現在のアクティビティに割り当てられていない限り、コンテンツ アイテムを編集することができません。



重要: 割り当て先は、ワークフローが添付されるすべてのフォルダに対して適切なセキュリティ アクセス権限を持つ必要があります。

[開始者の割り当て] をクリックして、開始者にアクティビティを割り当てることができます。ユーザーがアクティビティに既に割り当てられている場合、**[割り当て先の追加]** というフィールドが、**[割り当て先の追加 / 変更]** に変わります。この場合、**[すべて削除]** というリンクも表示されます。このリンクによって、アクティビティから全ての割り当て先を削除することができます。

- アクティビティでコンテンツ アイテムが処理されている場合に、編集者以上の役割を持つユーザーがそのコンテンツ アイテムを発行できるようにするには、**[発行可能]** チェック ボックスをオンにします。
- ユーザーがこのアクティビティを別のユーザーに委任できるようにするには、**[委任の許可]** チェック ボックスを選択します。アクティビティを委任することによって、ユーザーは、アクティビティを別のユーザーに割り当て直すことができますが、アクティビティを自分で要求し、処理する権利を保持することができます。

- ユーザーがこのアクティビティを別のユーザーに転送できるようにするには、[**転送の許可**] チェックボックスを選択します。委任とは違って、転送の場合、ユーザーは、ワークフローを別のユーザーに割り当て直すことができますが、アクティビティを自分で処理する権利は保持しません。
- ワークフロー内のアクティビティの順番を変更するには、アクティビティ リストの右端の列の上下ボタンをクリックしてください。

フォルダへのワークフローの添付

ワークフローを導入するには、管理者またはフォルダ管理者の役割を持つユーザーは、**Publisher** のフォルダにワークフローを添付する必要があります。下位フォルダは、デフォルトでは親フォルダのワークフローを継承します。管理者またはフォルダ管理者は、この継承を上書きして、選択したワークフローを添付することができます。

Publisher のフォルダにワークフローを添付する、またはフォルダに添付されたワークフローを変更するには、次の手順に従います。

1. [**フォルダのワークフロー プロパティ**] ページにアクセスします。いくつかの方法でこのページにアクセスすることができます。
 - **Publisher** エクスプローラで、フォルダを右クリックし、[**ワークフロー**] をクリックします。
 - ポートレット設定ウィザードまたはポートレット テンプレート設定ウィザードで、[**ワークフロー**] ボタンをクリックします。
2. [**フォルダのワークフロー プロパティ**] ページでは、以下を行うことができます。
 - フォルダに、階層内の 1 つ上のフォルダからワークフローを継承させる場合、[**親フォルダからワークフロー設定を継承**] チェックボックスをオンにします。デフォルトではこれが選択されています。
 - ワークフローをトップレベルのフォルダに添付する場合、または親フォルダのワークフロー以外のワークフローを下位レベルのフォルダに添付する場合、[**親フォルダからワークフロー設定を継承**] チェックボックスをオフにします。これによって、フォルダのワークフローを選択することが可能になります。
 - ワークフローが添付されていないフォルダにワークフローを追加するには、[**選択**] をクリックします。[**ワークフローの選択**] ダイアログ ボックスが開きます。
 - フォルダに添付されているワークフローを変更するには、[**変更**] をクリックします。[**ワークフローの選択**] ダイアログ ボックスが開きます。
 - フォルダからワークフローを削除するには、[**削除**] をクリックします。
 - ワークフローの説明およびワークフローに設定されているワークフロー アクティビティのリストを表示するには、そのワークフローの名前をクリックします。
3. [**ワークフローの選択**] ダイアログ ボックスは、有効なワークフローをリストします。フォルダに添付するワークフローを選択するには、次の手順に従います。
 - ワークフローの名前の横にあるラジオ ボタンをクリックします。
 - [**OK**] をクリックし、[**フォルダのワークフロー プロパティ**] ページに戻ります。このページには、新しいワークフローが表示されます。



注意: フォルダのセキュリティ設定が、ワークフローに含まれている割り当てと一致しない場合、警告メッセージおよびフォルダに対して適切な権限を持っていないワークフローの割り当て先のリストが [**フォルダのワークフロー プロパティ**] ページに表示されます。

4. フォルダ内のコンテンツ アイテムがワークフローに提出されていない場合、そのコンテンツ アイテムを発行できるように設定することができます。そのようにするには、[**ワークフロー内にはないコンテンツ アイテムを発行できるようにする**] を選択します。このオプションをオフにした場合、フォルダのコンテンツ アイテムがワークフローに提出され、発行可能なワークフロー アクティビティに到達するまで、コンテンツ アイテムを発行することはできません。
5. [**終了**] をクリックします。

ワークフローの処理

レビューが必要なコンテンツ アイテムを作成した場合、承認を得るためにそのコンテンツ アイテムを提出し、システムは最初のワークフロー アクティビティの割り当て先に通知します。割り当てられたコンテンツ アイテムを開いた後、そのアイテムを承認し、次のワークフロー アクティビティに提出するか、または、アイテムを拒否し、前のワークフロー アクティビティに戻すか、または、割り当てを別のユーザーに転送または委任することができます。複数のユーザーがワークフロー アクティビティに割り当てられている場合は、割り当てを要求し、別の割り当て先の作業リストから割り当てを削除した後で、承認を行うことができます。寄稿者以上の役割を持つユーザーは、いかなるワークフロー アクティビティも上書きすることができます。

ワークフロー機能は、コンテンツ アイテム エディタから直接作業アイテムを提出、承認、拒否、転送、または委任することを可能にします。また、ワークフロー機能は、割り当てに関する詳細を表示し、現在のワークフローの割り当ての検索、表示、および処理、別のユーザーの割り当ての検索および表示を可能にする作業リスト ポートレットのセットを含む [ワークフロー割り当て] ページを提供します。以下のポートレットが含まれています。

Publisher 作業リスト ポートレット :

- 現在の割り当て、委任された割り当て、および完了した割り当てに関する詳細、および提出した作業アイテムの表示。
- 作業アイテムの承認または拒否。
- 現在のワークフローの割り当ての転送、委任、または要求 (1 つのアクティビティに対して複数の割り当て先が設定されている場合、割り当ての所有権を取得します)。
- コンテンツ アイテム エディタからのコンテンツ アイテムの編集。
- コンテンツ アイテムのプレビュー。
- [ワークフロー割り当て] ページを開き、割り当ての詳細を表示。

ワークフロー内のコンテンツ アイテム ポートレット :

- ワークフロー アクティビティ、割り当て先、および期日を含む、ワークフロー内の **Publisher** フォルダの全アイテムの表示。
- アイテムのチェックアウト、コンテンツ エディタからのアイテムの編集、または、アイテムに対する [ワークフロー割り当て] ページの表示。
- 表示するフォルダを含めたポートレット表示設定の設定。フォルダに対して提出者以上のアクセス権限を持っている場合のみ表示することができます。

最近使われたコンテンツ ポートレット :

- 最近アクセスしたコンテンツ アイテム、アイテムが含まれているワークフロー アクティビティ、およびその割り当て先の表示。
- アイテムのチェックインまたはチェックアウト、コンテンツ アイテム エディタからのアイテムの編集。

この節では、以下の方法について説明します。

- ワークフローへのコンテンツ アイテムの提出。
- 作業アイテムまたは割り当ての承認、拒否、転送、要求、および委任。
- ワークフローの割り当ての詳細の表示。
- ワークフローの上書き。
- Publisher フォルダごとのワークフロー アイテムの表示。

ワークフローへのコンテンツ アイテムの提出

コンテンツ アイテムを作成し、レビューをする段階になった場合、コンテンツ アイテムをコンテンツ アイテム エディタから直接ワークフローに提出します。

コンテンツ アイテムをワークフローに提出するには、次の手順に従います (寄稿者以上の役割が必要)。

1. コンテンツ エディタで、[承認を受けるために提出] ボタンをクリックし、[承認を受けるために提出] ページにアクセスします。
2. [承認を受けるために提出] ページの全てのフィールドは、オプションで入力することができます。以下を行うことができます。
 - [内容] フィールドには、ワークフロー アイテムの名前を入力します。この名前は、作業リスト ポートレット、および [ワークフロー割り当て] ページで、コンテンツ アイテムの名前の上に表示されます。[内容] フィールド に名前を入力していない場合、コンテンツ アイテムの名前のみが表示されます。
 - ワークフローの割り当て先に表示する [ワークフロー コメント] を入力します。アイテムがチェックアウトされた場合、システムは、チェックインのコメントとしても、このワークフロー コメントを使用します。
 - [期日] および時間を入力します。
 - [優先順位] を入力します。
 - ワークフローの [次のアクティビティ] を表示します。
 - [次の割り当て] フィールドには、次のアクティビティの割り当て先が表示されます。グループまたは複数のユーザーがアクティビティに割り当てられている場合、[1 つ選択] をクリックして、特定の割り当て先を選択します。

上記の情報を入力したかどうかに関わらず、[終了] をクリックすると、コンテンツ アイテムは、次のワークフロー アクティビティの割り当て先に提出されます。

コンテンツ アイテム エディタの [提出者] ビューを使用してワークフローにコンテンツ アイテムを提出する場合は、少々手順が異なります。エディタの右端の上には、[承認を受けるために提出] ボタンではなく [提出] ボタンが表示されます。提出者が [提出] ボタンをクリックすると、コンテンツ アイテムは、ワークフローの最初のワークフロー アクティビティに自動的に提出されます。この場合、ユーザーに、[承認を受けるために提出] ページが表示されないため、コメント、期日、または優先順位を入力することができません。提出者が提出したコンテンツのデフォルトの優先順位は、標準です。

ワークフロー アイテムの承認、拒否、転送、要求、および委任

ワークフローのアイテムが割り当てられた場合、そのアイテムを承認、拒否、要求、要求を元に戻す、転送、または委任することができます。これらは、2 つのコンポーネントから実行することが可能です。

1. コンテンツ アイテム エディタ
2. Publisher 作業リスト ポートレット

コンテンツ アイテム エディタからの作業アイテムの処理

コンテンツ アイテム エディタからの作業アイテムの処理については、[7-2 ページの「コンテンツ アイテム エディタの使用法」](#)を参照してください。

コンテンツ アイテム エディタは、以下のワークフロー ページへのアクセスを提供します。

- 承認を受けるために提出
- 承認
- 拒否
- 転送
- ワークフローの割り当て

[承認を受けるために提出] ページに関する詳細については、[5-7 ページの「ワークフローへのコンテンツ アイテムの提出」](#)を参照してください。

[承認] ページ、[拒否] ページ、および [転送] ページに関する詳細については、[5-8 ページの「Publisher 作業リスト ポートレットからの作業アイテムの処理」](#)を参照してください。

[ワークフロー割り当て] ページに関する詳細については、[5-12 ページの「ワークフローの割り当ての詳細の表示」](#)を参照してください。

Publisher 作業リスト ポートレットからの作業アイテムの処理

Publisher 作業リスト ポートレットは、提出したワークフロー アイテム、割り当てられたワークフロー アイテム、委任したワークフロー アイテム、または完了したワークフロー アイテムといった複数の表示を提供するワークフローのインボックスのようなものです。Publisher 作業リスト ポートレットに表示されているすべてのアイテムに対して、コンテンツ アイテム エディタおよび [ワークフロー割り当て] ページにアクセスすることができます。または、ポートレットから直接作業アイテムを承認する、拒否する、要求する、要求を元に戻す、転送する、または委任することができます。

Publisher 作業リスト ポートレットの表示の選択

Publisher 作業リスト ポートレットは、[表示] ドロップダウン リストから選択することが可能な、ワークフローの割り当てに関する 4 つの表示を提供します。

1. **現在の割り当て** : 割り当てられている全ての処理中のアクティビティを表示します。以下も表示されます。

- そのアクティビティに割り当てられている唯一の担当者であるか、または多数の割り当て先の中の 1 人であるかを示すアイコン。このアイコンをクリックすることによって、[ワークフロー割り当て] ページにアクセスすることができます。

多数の割り当て先の中の 1 人である場合に、アクティビティを要求して所有権を得る方法については、[5-11 ページの「Publisher 作業リスト ポートレットからのアイテムの要求および要求の取り消し」](#)を参照してください。


- 前のワークフロー アクティビティの割り当て先 (**開始**)。このアクティビティが、ワークフロー プロセスの最初のアクティビティである場合、これはアイテムを提出したユーザーになります。
- ワークフロー アイテムがインボックスで受信された日付 (**受信日**)。
- アイテムのワークフローを完了する必要がある **期日**。
- 優先順位。

2. **委任された割り当て** : 別の割り当て先に委任した処理中の全ての割り当てを表示します。以下も表示されます。
 - アクティビティが 1 つの割り当て先に委任されたのか、または多数の割り当て先があるのかを示すアイコン。このアイコンをクリックすることによって、[ワークフロー割り当て] ページにアクセスすることができます。
 - アクティビティを委任したユーザー (**タスクを割り当てられた人**)。
 - ワークフロー アイテムがインボックスで受信された日付 (**受信日**)。
 - アイテムのワークフローを完了する必要がある **期日**。
 - 優先順位。
3. **完了した割り当て** : 割り当てられた作業アイテムの中で、承認または拒否した全てのアイテムを表示します。以下も表示されます。
 - [ワークフロー割り当て] ページにアクセスするためのアイコン。
 - 現在のアクティビティおよび現在の割り当て先。現在のアクティビティは、[**ワークフロー**] の列に表示され、現在の割り当て先は、**タスクを割り当てられた人**の列に表示されます。
 - 完了したアクティビティの名前およびアクティビティを完了した日付。これらは、[**完了したアクティビティ**] に表示されます。
 - アイテムのワークフローを完了する必要がある **期日**。
 - 優先順位。
4. **提出済みの割り当て** : ワークフローに提出した全てのアイテムを表示します。以下も表示されます。
 - 現在のアクティビティおよび現在の割り当て先。現在のアクティビティは、[**ワークフロー**] の列に表示され、現在の割り当て先は、**タスクを割り当てられた人**の列に表示されます。
 - **提出日**。
 - アイテムのワークフローを完了する必要がある **期日**。
 - 優先順位。

上記の全ての表示では、アイテムの名前をクリックすることによってアイテムをプレビューすることができます。また、コンテンツ アイテムのアイコンをクリックすることによってコンテンツ アイテム エディタでそのアイテムを編集することができます。期日を過ぎていて、まだ完了していない割り当ては、赤で表示されます。

Publisher 作業リスト ポートレットからのアイテムの承認

作業リスト ポートレットを使用して、作業アイテムを承認するには、次の手順に従います。

1. 現在の割り当ての表示、または委任された割り当ての表示の中の Publisher 作業リスト ポートレットにアクセスします。
2.  **注意** : 割り当てられたワークフローの割り当て、または委任したワークフローの割り当てを要求し、処理することができます。
3. アクティビティの横にあるチェック ボックスをクリックすることによって、作業アイテムまたは複数の作業アイテムを承認するために選択することができます。
4. [承認] ボタンをクリックして、[**承認**] ページを開きます。



注意 : アクティビティが複数のユーザーに割り当てられている場合、その割り当てを選択し、[承認] をクリックすると、黙示的にその割り当てを要求したことになります。そのアクティビティに対して唯一の割り当て先になります。

- 承認の説明または次のアクティビティの割り当て先へのその他のコメントを入力するには、[**ワークフロー コメント**] 編集ボックスに入力します。これらのコメントは、次のアクティビティの割り当て先に対する **Publisher** 作業リスト ポートレット、および [**ワークフロー割り当て**] ページに表示されます。また、それらはチェックイン コメントとしても表示されます。
- 承認時に、コンテンツ アイテムを**発行**するかしないかを選択します。このオプションは、ワークフロー アクティビティで発行が許可されている場合のみ使用できます。
- 次のアクティビティに割り当てられているユーザーが複数いる場合、[**1 つ選択**] をクリックして、次のアクティビティを 1 人のユーザーに割り当てることができます。



注意: 1 人の担当者を選択するオプションは、同時に承認するために複数のアクティビティを選択している場合は、使用できません。

- [**OK**] をクリックします。アイテムが承認されたことを確認するダイアログが表示されます。このダイアログには、作業アイテムが表示されます。また、ワークフローに、他にもアクティビティがある場合は、次のアクティビティ、および次の割り当て先が表示されます。ワークフローに、他にもアクティビティがある場合、アイテムは、次のアクティビティに進み、次のアクティビティの割り当て先の **Publisher** 作業リストに表示されます。



注意: **Publisher** 作業リスト ポートレット の完了した割り当ての表示を通して、作業アイテムの進行状況を確認することができます。

Publisher 作業リスト ポートレットからのアイテムの拒否

Publisher 作業リスト ポートレットを使用して作業アイテムを拒否するには、次の手順に従います。

- 現在の割り当ての表示、または委任された割り当ての表示の中の **Publisher** 作業リスト ポートレットにアクセスします。



注意: 割り当てられたワークフローの割り当て、または委任したワークフローの割り当てを要求し、処理することができます。

- アクティビティの横にあるチェック ボックスをクリックすることによって、作業アイテムまたは複数の作業アイテムを拒否するために選択することができます。
- [**拒否**] ボタンをクリックして、[**拒否**] ページを開きます。
- 拒否の理由、または前のアクティビティの割り当て先への説明を [**ワークフロー コメント**] 編集ボックスに入力します。これらのコメントは、前のアクティビティの割り当て先に対する **Publisher** 作業リスト ポートレット、および [**ワークフロー割り当て**] ページに表示されます。また、それらはチェックイン コメントとしても表示されます。
- [**OK**] をクリックします。アイテムが拒否されたことを確認するダイアログが表示されます。このダイアログは、作業アイテム、前のアクティビティ、および前の割り当て先を表示します。アイテムは、前のアクティビティに戻され、そのアクティビティの割り当て先の **Publisher** 作業リストに表示されます。



注意: 前のアクティビティは、常に 1 つの割り当て先しか持たないため、拒否されたアクティビティに対して 1 つの割り当て先を選択するためのオプションはありません。

Publisher 作業リスト ポートレットからのアイテムの要求および要求の取り消し

割り当てを要求した場合、他の割り当て先の作業リストから割り当てが削除されます。Publisher 作業リスト ポートレットから割り当てを要求するには、次の手順に従います。

1. 現在の割り当ての表示、または委任された割り当ての表示の中の Publisher 作業リスト ポートレットにアクセスします。



注意: 割り当てられたワークフローの割り当て、または委任したワークフローの割り当てを要求し、処理することができます。

2. 割り当ての横にあるチェック ボックスをクリックすることによって、要求するワークフローの割り当てまたは複数の割り当てを選択することができます。
3. [**要求**] ボタンをクリックします。
4. [**要求結果**] ページが開き、問題なく要求することができた割り当てが表示されます。
5. [**閉じる**] をクリックし、Publisher 作業リスト ポートレットに戻ります。

Publisher 作業リスト ポートレットを使用して割り当ての要求を元に戻すには、割り当てを要求するための手順に従ってください。但し、ポートレットのツール バーの [**要求**] ボタンではなく [**要求を元に戻す**] をクリックしてください。要求を元に戻した場合、割り当ては元の状態に戻ります。

Publisher 作業リスト ポートレットからのワークフロー割り当ての転送および委任

割り当てを転送した場合、別の割り当て先に責任が割り当てられます。割り当てを委任した場合、別の割り当て先にタスクが割り当てられますが、割り当てを自分で処理する権利を保持することができます。ワークフロー アクティビティの転送および委任は、ワークフロー アクティビティに対してそれらの設定が有効である場合のみ使用できます。コンテンツ アイテムが格納されている Publisher フォルダへのアクセス権限を持つユーザーまたはグループのみに、転送または委任することができます。

Publisher 作業リスト ポートレットを使用してワークフローの割り当てを転送または委任するには、次の手順に従います。

1. 現在の割り当ての表示、または委任された割り当ての表示の中の Publisher 作業リスト ポートレットにアクセスします。
2. アクティビティの横にあるチェック ボックスをクリックすることによって、転送または委任する割り当てを選択することができます。
3. [**転送**] ボタンをクリックして、[**転送**] ページを開きます。
4. [**編集**] をクリックして、[**ユーザーおよびグループの選択**] ダイアログ ボックスにアクセスし、割り当て先を選択します。
5. [**OK**] をクリックして、[**転送**] ページに戻ります。
6. アクティビティを転送ではなく委任する場合は、[**委任**] を選択します。
7. [**終了**] をクリックします。

Publisher 作業リスト ポートレットの基本設定の設定

[作業リスト - ユーザー設定] ページで、Publisher 作業リスト ポートレットに表示するアイテムの最大数を設定することができます。

Publisher 作業リスト ポートレットの基本設定にアクセスするには、Publisher 作業リスト ポートレットの [**ポートレットの基本設定の編集**] アイコンをクリックします。

ワークフローの割り当ての詳細の表示

[ワークフロー割り当て] ページは、ワークフロー定義、ワークフロー アクティビティ、および作業アイテムの割り当て、そのアイテムが割り当てられた日付、期日、および優先順位、に関する情報を提供します。コンテンツ アイテム エディタにアクセスすることもできます。そこでは、ワークフロー アイテムを編集することができます。

以下から [ワークフロー割り当て] ページにアクセスすることができます。

- コンテンツ アイテム エディタ
- Publisher 作業リスト ポートレット
- ワークフロー内のコンテンツ アイテム ポートレット

ワークフローの上書き

フォルダ管理者以上の役割を持つユーザーは、[**ワークフローの上書き**] ページを使用してコンテンツ アイテムのワークフローを上書きし、ワークフローからそのアイテムを削除したり、そのアイテムを別のワークフロー アクティビティに再割り当てしたりすることもできます。

コンテンツ アイテムのワークフローを上書きするには、次の手順に従います。

1. Publisher エクスプローラで、ワークフローを上書きするコンテンツ アイテムを右クリックし、[**ワークフロー**] を選択します。[**ワークフローの上書き**] ページが開きます。
2. [**ワークフロー アクティビティ**] リストから、アイテムを移動する先のワークフロー アクティビティを選択するか、または、[**ワークフローからアイテムを削除**] を選択します。
3. [**OK**] をクリックします。
4. 警告ボックスで、[**OK**] をクリックします。

ワークフロー内のアイテムの Publisher フォルダごとの表示

ワークフローに含まれている特定の Publisher フォルダまたはフォルダのセットの全てのアイテムを表示するには、ワークフロー内のコンテンツ アイテム ポートレットを使用します。

このポートレットでワークフロー アイテムを表示するには、まず、[ワークフロー内のコンテンツ アイテム - ユーザー設定] ページで、表示するフォルダを選択する必要があります。

ワークフロー内のコンテンツ アイテム ポートレットの設定

ワークフロー内のコンテンツ アイテム ポートレットの基本設定を設定するには、ポートレットの [基本設定の編集] アイコンをクリックし、[ワークフロー内のコンテンツ アイテム - ユーザー設定] ページにアクセスします。ユーザー設定ページでは以下を行うことができます。

- [**フォルダ表示オプション**] エリアで、[**フォルダの追加**] をクリックし、[**フォルダの選択**] ダイアログにアクセスします。このダイアログでは、表示するワークフロー アイテムが含まれている Publisher フォルダを選択することができます。フォルダに対して提出者以上のアクセス権限を持っている場合のみ、そのフォルダがダイアログ ボックスに表示されます。
- [**アイテム表示オプション**] エリアで、ワークフロー内のコンテンツ アイテム ポートレットで表示するアイテムの最大数を入力します。

6 発行済みコンテンツ ポートレットの作成

発行済みコンテンツ ポートレットは、ポータル ページ内からコンテンツ アイテムにアクセスできるようにします。ポートレット エディタおよびポートレット設定ウィザードを使用して、発行済みコンテンツ ポートレットを作成するために使用できる 3 つの提供コンテンツ ポートレット テンプレートと、コミュニティ ページおよび環境定義のコンテンツ キャンバス ポートレット、ヘッダ ポートレットおよびフッタ ポートレットを作成するために使用できる 3 つのブランド ポートレット テンプレートがあります。さらに、提供テンプレートをカスタマイズする、または自分のポートレット テンプレートを作成することを可能にするポートレット テンプレート エディタおよびウィザードも提供しています。ポートレット テンプレートを使用せずに、既存のウェブ ページからポートレットを作成するために使用できる発行済みコンテンツ ウェブ サービスも提供しています。

この章では以下のトピックについて説明します。

- [「提供ポートレット テンプレートを使用した発行済みコンテンツ ポートレットの作成および編集」](#)
- [「ブランド ポートレットの作成および編集」](#)
- [「発行済みコンテンツ ウェブ サービスを使用した発行済みコンテンツ ポートレットの作成および編集」](#)
- [「発行済みコンテンツ ポートレットの削除」](#)

ポートレット テンプレート ウィザードについては、第 11 章、「カスタム ポートレット テンプレートの設定」を参照してください。

提供ポートレット テンプレートを使用した発行済みコンテンツ ポートレットの作成および編集

この節では、発行済みコンテンツ ポートレット用の提供テンプレートの概要および以下の項目の手順について説明します。

- 新しい発行済みコンテンツ ポートレットの作成
- ポートレット設定ウィザードを使用した発行済みコンテンツ ポートレットの設定
- 提供発行済みコンテンツ ポートレットでのオブジェクトの編集
- 発行済みコンテンツ ポートレットの Publisher セキュリティの設定
- 発行済みコンテンツ ポートレット フォルダの管理

発行済みコンテンツ ポートレット用の提供テンプレート

提供ポートレット テンプレートは、幅広く使用できる次の 3 つのポートレット タイプ用の、デフォルト データ入力テンプレートおよびデフォルト プレゼンテーション テンプレート (場合によっては、デフォルト コンテンツ アイテム) を提供します。

- お知らせポートレット
- ニュース ポートレット
- コミュニティ ディレクトリ ポートレット

全ての提供デフォルトをそのまま使用することによって、これらのテンプレートからポートレットを作成することができます。または、ポートレット設定ウィザードを使用してテンプレートに含まれるポートレット オブジェクトを編集し、必要に合ったプレゼンテーション フォーマットおよびデータ フォーマットを作成することができます。

お知らせポートレット テンプレート

お知らせポートレットは、コミュニティ マネージャー (またはポートレット フォルダに対して編集者以上の役割を持つユーザー) がコンテンツ アイテム エディタまたはポートレット設定ウィザードを使用して編集および発行することができるフォーマットされたテキスト メッセージを表示します。メッセージには、イメージ、ウェブ サイトへのリンク、およびその他のコンテンツを含めることができます。

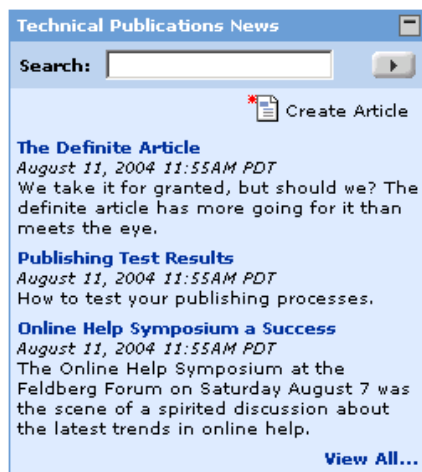
お知らせポートレットは、コミュニティ メンバーに分単位で最新の情報、またはその他の重要なコミュニティ メッセージを継続して通知するために一般的に利用されています。お知らせポートレットは、コミュニティ ページの紹介やラベルとして利用し、コミュニティの目的の説明等を含めることもできます。

ニュース ポートレット テンプレート

ニュース ポートレットは、メイン ページに発行済みコンテンツ アイテム (記事) の参照可能なリストを表示し、記事用のページに、各記事の本文を表示します。コミュニティ メンバーが、ニュース ポートレットの記事を検索、作成、編集、および削除できるように設定することができます。

ニュース ポートレットの一般的な利用方法は、コミュニティのメンバーが、コミュニティに表示する最新情報や主要な課題に関する情報を、適時に提出できるようにすることによって、コミュニティ メンバー間のコミュニケーションを促進することです。また、ニュース ポートレットは、コミュニティが関心を持つトピックに関する最新情報へのアクセスを提供することに利用することができます。

図 6-1: ニュース ポートレットのメイン ページ



ニュース ポートレットのメイン ページには、記事のタイトルおよび要約、発行日と発行時間が表示されます。ポートレットを作成する際、コミュニティ メンバーがポートレットのルート フォルダ内の全ての記事を検索することを可能にする検索フィールドを追加することができ、コミュニティ メンバーがニュース記事を編集するためにコンテンツ アイテム エディタを開き、ポートレットに直接記事を作成することを可能にする [記事の作成] ボタンを追加することもできます。

新しいポートレット テンプレートからポートレットを作成する際、メイン ページに表示されるタイトルと要約の数を制限することができます。ポートレット フォルダ内の全ての記事のタイトルと要約を表示するには、[すべてを表示]を選択することによって全ての記事をリストするインデックス ページを表示することができます。

ニュース記事のページは、名前、タイトル、要約、および本文フィールドから構成されています。ポートレット テンプレートからポートレットを作成する際、ニュース記事のページに [編集] ボタンおよび [削除] ボタンを追加して、コミュニティ メンバーがポートレットから直接記事を編集または削除できるようにすることができます。

コミュニティ ディレクトリのポートレット テンプレート

コミュニティ ディレクトリ ポートレットは、参照可能なフォルダ構造内に記事を表示します。コミュニティ メンバーが、コミュニティ ディレクトリ ポートレットから記事を検索、作成、編集、および削除できるようにすることもできます。

コミュニティ ディレクトリ ポートレットの一般的な利用方法は、コミュニティのナレッジ ベースのインタフェースとして使用することです。また、コミュニティ ディレクトリ ポートレットを使用して、コミュニティ メンバーがコミュニティ ページ内から重要なコミュニティ フォルダのコンテンツにアクセスできるようにすることもできます。

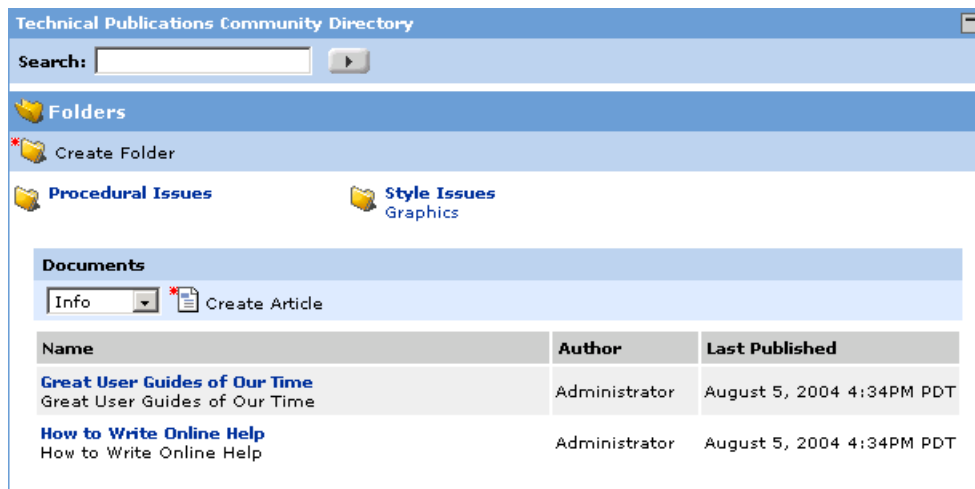
コミュニティ ディレクトリ ポートレットは以下から構成されています。

- メイン ページ
- フォルダ ページ
- 記事ページ

メイン ページ

コミュニティ ディレクトリ ポートレットのメイン ページは、([ドキュメント] エリア内に表示される) 記事の一覧、および ([フォルダ] エリアに表示される) 記事の一覧または記事を格納したサブフォルダを含むフォルダの一覧を含みます。ドキュメントの記事ページを表示するには、ドキュメントの名前をクリックします。フォルダ内の記事のリストを表示するには、フォルダ名をクリックします。

図 6-2: コミュニティ ディレクトリのメイン ページ



メイン ページに以下を含めることもできます。

- ポートレットのルート フォルダ内およびサブフォルダ内の全ての記事を検索することを可能にする [検索] ボックス。
- 新しいフォルダを作成するための [フォルダの作成] ページにアクセスすることを可能にする [フォルダの作成] ボタン。フォルダ内にサブフォルダを作成することもできます。
- 新しい記事を作成するための [新規アイテムの作成] ページにアクセスすることを可能にする [記事の作成] ボタン。[新規アイテムの作成] ページで使用するフィールドは、ドロップダウン リストで選択した記事の種類 (情報、ハウツー、または問題) に依存します。

フォルダ ページ

フォルダ ページは、フォルダのリスト、およびフォルダに含まれている記事を表示します。また、ポートレットを作成した際に機能を有効にしていれば、検索ボックス、[記事の作成] ボタン、記事の種類のドロップダウン リスト、および [フォルダの作成] ボタンがフォルダ ページに表示されます。

記事 ページ

コミュニティ ディレクトリのポートレット テンプレートには、3 種類の記事に対するデータ入力テンプレートおよびプレゼンテーション テンプレートが含まれています。

- 情報記事
- ハウツー記事
- 問題記事

メイン ページに [記事の作成] ボタンを含めるように選択した場合、コミュニティ メンバーは、ポートレットからこれらの記事を直接作成することができます。

情報記事およびハウツー記事は、シンプルな記事タイプで、コミュニティ メンバーが、コンテンツ アイテム エディタを使用して [名前] フィールド、[タイトル] フィールド、[概要] の長いテキスト フィールド、[詳細] の長いテキスト フィールドに入力できるようにします。

問題記事は、コミュニティ メンバーが、[名前]、[タイトル]、[概要]、[原因]、[解決法]、[問題の状態]、および [詳細] フィールドを使用して、問題および解決方法に関する情報を入力できるようにします。

新しい発行済みコンテンツ ポートレットの作成

各発行済みコンテンツ ポートレットは、Publisher 内のフォルダを表します。発行済みコンテンツ ポートレットを作成した際、システムは、ポートレット エディタまたはポートレット設定ウィザードに入力した名前を持つフォルダを自動的に作成します。また、システムは、関連するデータ入力テンプレートおよびプレゼンテーション テンプレートを作成し、この新しいフォルダにそれらのテンプレートを格納します。Publisher コンテンツ ポートレットを通して作成されたコンテンツ アイテムは、ポートレットの Publisher フォルダに格納され、そのコンテンツ アイテムを検索することが可能です。

新規ポートレットを作成するには、次の手順に従います。

1. [管理] タブをクリックします。
2. 管理フォルダをクリックします。
3. [オブジェクトの作成 | ポートレット] をクリックします。

4. 作成するポートレットのタイプに適合するポートレット テンプレートを選択します。ポートレット エディタが起動します。



注意: [このコミュニティのポートレット] をクリックし、次に [ポートレットの作成] をクリックすることによって、コミュニティ エディタからポートレット エディタにアクセスすることができます。これにより、ポートレット エディタの [ポートレット テンプレートの選択] ページが開きます。

5. [ポートレットの設定] の横にある [編集] ボタンをクリックして、ポートレット設定ウィザードにアクセスし、ポートレット テンプレートに含まれているオブジェクトを編集します。

詳細については、[6-5 ページの「ポートレット設定ウィザードを使用したポートレットの設定」](#)および [6-7 ページの「発行済みコンテンツ ポートレット用の提供テンプレートに含まれている編集可能なオブジェクト」](#)を参照してください。

6. [終了] をクリックします。
7. 保存します。

ポートレット エディタの手順および詳細な説明については、『Plumtree Foundation 管理者用ガイド』またはオンライン ヘルプを参照してください。

ポートレット設定ウィザードを使用したポートレットの設定

ポートレット設定ウィザードは、ポートレット テンプレートからポートレットを作成するために必要なタスクを実行するための単一のインタフェースを提供します。ポートレット テンプレートが提供する全てのデフォルト値をそのまま使用することができますが、ポートレット設定ウィザードを使用して、ポートレットの表示形式、データ構造、およびコンテンツを編集することもできます。基本的に、提供データ入力テンプレートおよび提供プレゼンテーション テンプレートを使用して新しいポートレットを作成し、発行して確認した後、ポートレット設定ウィザードに戻って編集することをお勧めします。データ入力テンプレートおよびプレゼンテーション テンプレートを編集するには、HTML の編集に関するある程度の知識が必要になることがあります。

1. ポートレット エディタからポートレット設定ウィザードへアクセスします (前節を参照してください)。[ポートレットの作成] ページで、ポートレットの [フォルダ名] および、Publisher がポートレット フォルダを作成する [保存場所] (Publisher フォルダ) を入力します。
2. [次へ] をクリックします。Publisher は、ポートレット フォルダを作成した後、メッセージを表示します。
3. [次へ] を再度クリックし、最初の [オブジェクトの編集] ページにアクセスします。ポートレット テンプレートに定義されている各オブジェクトのカテゴリ (メイン ページ、インデックス、またはニュース記事など) に対するページがあります。



注意: 各ページへの入力を終えるごとに、[次へ] をクリックすることによって、またはウィザードの左側の列に表示されているページの名前をクリックすることによって、必要なポートレット 設定ウィザードのページを表示することができます。

4. 各 [オブジェクトの編集] ページには、オブジェクトのカテゴリに対するコンテンツ アイテム、データ入力テンプレート、およびプレゼンテーション テンプレートのリストが表示されます。オブジェクトのカテゴリによっては、これら 3 つのオブジェクト タイプが全て含まれていないことがあります。オブジェクト名をクリックすることによって、そのオブジェクトのエディタ (コンテンツ アイテム エディタ、データ入力テンプレート エディタ、またはプレゼンテーション テンプレート エディタのいずれか) にアクセスし、オブジェクトの定義を変更することができます。

コンテンツ アイテム エディタ、データ入力テンプレート エディタ、およびプレゼンテーション テンプレート エディタについては、このガイドのそれぞれの章で説明します。

発行済みコンテンツ ポートレット用の各提供テンプレートの編集可能なオブジェクト プロパティについては、[6-7 ページの「発行済みコンテンツ ポートレット用の提供テンプレートに含まれている編集可能なオブジェクト」](#)で説明します。

5. [オブジェクトの編集] ページは、ポートレットの作成者に、ポートレットを設定するために必要な全てのアクセスを提供するためのものです。しかし、ウィザードの [オブジェクトの編集] ページから編集できるオブジェクトのカテゴリおよびオブジェクト、ポートレット アイテム (ポータル ページでポートレットのビューまたはエントリ ポイントとして使用されるコンテンツ アイテム) として指定されているオブジェクト、またはコミュニティ ポートレット のカスタマイズ権限を変更する必要がある場合は、ポートレット 設定ウィザードの [詳細設定] をクリックし、[ポートレットの詳細設定] ページにアクセスします。



重要: ポートレット におけるオブジェクト の機能を完全に理解した上で、そのオブジェクトを追加または削除してください。既存のポートレット テンプレート で利用できるオブジェクトとは異なるオブジェクトのセットを必要とするポートレット に関しては、新しいポートレット テンプレート を作成することをお勧めします。

[ポートレットの詳細設定] ページの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

6. [セキュリティ] をクリックし、[コンテンツのセキュリティ] ページにアクセスします。このページでは、ポートレット テンプレート で指定されているポートレット フォルダまたはサブフォルダに、Publisher セキュリティを割り当てることができます。ポートレット に対するデフォルトの Publisher セキュリティは、使用するポートレット テンプレート に定義されています。[セキュリティ] ボタンは、ポートレット テンプレート に対して有効に設定されている場合のみ表示されます。



注意: ポートレット のポータル セキュリティは、ポータル管理で割り当てます。

詳細については、[6-10 ページの「発行済みコンテンツ ポートレットの Publisher セキュリティの設定」](#)、[4-8 ページの「Publisher フォルダに対するユーザーおよび役割の割り当て」](#)、[11-3 ページの「\[詳細設定 \] ページの使用法」](#)、および『Plumtree Foundation 管理者用ガイド』を参照してください。

7. [ワークフロー] をクリックして、[フォルダのワークフロー プロパティ] ページにアクセスします。このページでは、ポートレット フォルダにワークフローの定義を割り当てることができます。[ワークフロー] ボタンは、ポートレット テンプレート に対して有効に設定されている場合のみ表示されます。

詳細については、[5-5 ページの「フォルダへのワークフローの添付」](#)および [11-3 ページの「\[詳細設定 \] ページの使用法」](#)を参照してください。

8. [終了] をクリックします。Publisher にポートレットが保存され、ポートレットが発行され、ポートレット エディタの画面に戻ります。
9. ポートレット エディタで、[終了] をクリックして、ポートレットを保存します。



重要: ポートレット 設定ウィザードで [終了] をクリックするだけでは、ポートレット は保存されません。ポートレット エディタで、[終了] ボタンをクリックしてポートレット を保存しなかった場合、コンテンツ アイテム、データ入力テンプレート、およびプレゼンテーション テンプレート は、Publisher に保存され、ポートレット はウェブ サーバーに発行されますが、ポートレット は、ポートレット の管理ディレクトリに保存されていないため、マイ ページまたはコミュニティ ページに追加することができません。

発行済みコンテンツ ポートレット用の提供テンプレートに含まれている編集可能なオブジェクト

この節では、ポートレット設定ウィザードを使用して編集することができる各発行済みコンテンツ ポートレット用の提供テンプレートに含まれているオブジェクトについて説明します。

お知らせ

ポートレット設定ウィザードによって、お知らせコンテンツ アイテムを編集することができます。永久的なコンテンツ (例えば、連絡先情報) を表示に追加するには、関連付けられているプレゼンテーション テンプレートを編集します。データ入力テンプレートまたはプレゼンテーション テンプレートを編集するには、Publisher エクスプローラを使用するか、または [ポートレットの詳細設定] ページを使用してテンプレートをポートレット設定ウィザードに追加します。

コンテンツ アイテム エディタ、プレゼンテーション テンプレート エディタ、およびデータ入力テンプレート エディタに関する詳細については、第 7 章、「コンテンツ アイテムの作成および編集」、第 10 章、「プレゼンテーション テンプレートの作成」、および第 9 章、「データ入力テンプレートの作成」を参照してください。

ニュース

ニュース ポートレット テンプレートには、編集可能なオブジェクトを含む次の 3 つのオブジェクト グループが含まれています。

- メイン ページ
- インデックス
- ニュース記事

メイン ページ

ニュース ポートレットのメイン ページは、発行済みコンテンツ アイテムである記事の一覧を表示します。

メイン ページのコンテンツ アイテムに関して、以下のオプションを選択することができます (これらのいくつかのオプションは、メインページではなくニュース記事ページに影響を与えます)。

- **[編集を含む]** は、ユーザーが既存のニュース記事を編集するための [編集] ボタンをポートレットのニュース記事のページに追加します。
- **[作成を含む]** は、ユーザーがポートレットから直接新しいニュース記事を作成するための [作成] ボタンをポートレットのメイン ページに追加します。
- **[削除を含む]** は、ユーザーがポートレットからニュース記事を削除するための [削除] ボタンをポートレットのニュース記事のページに追加します。
- **[検索を含む]** は、ユーザーがポートレットのフォルダ内のニュース記事を検索するためのフィールドをポートレットのメイン ページに追加します。
- **[最大アイテム数]** は、ポートレットのメイン ページに表示されるニュース記事の数を設定します。

全てのボタンは、デフォルトでオプションを含むように設定されています。ポートレットの編集機能、作成機能、削除機能、および検索機能へのアクセスは、ポートレット セキュリティの設定に依存します。

プレゼンテーション テンプレートの名前の横にある [編集] ボタンをクリックして、プレゼンテーション テンプレート エディタにアクセスし、ポートレットのプレゼンテーション テンプレートを編集することができます。

インデックス

ニュース ポートレットのインデックス ページは、利用可能な全てのニュース記事をリストする第二のビューを表示します。

コンテンツ アイテムの名前、データ入力テンプレートの名前、プレゼンテーション テンプレートの名前の横にある [編集] ボタンをクリックすることによって、適切なエディタにアクセスし、インデックス ページを編集することができます。

ニュース記事

ニュース記事は、ニュース ポートレットを通して提供される発行済みコンテンツ アイテムです。ニュース記事のタイトルおよび要約は、ポートレットのメイン ページおよびインデックス ページに表示され、実際の記事は、ニュース記事のページに表示されます。コンテンツ アイテムの名前、データ入力テンプレートの名前、プレゼンテーション テンプレートの名前の横にある [編集] ボタンをクリックすることによって、適切なエディタにアクセスし、ニュース記事のページを編集することができます。

コンテンツ アイテム エディタ、プレゼンテーション テンプレート エディタ、およびデータ入力テンプレート エディタに関する詳細については、第 7 章、「コンテンツ アイテムの作成および編集」、第 10 章、「プレゼンテーション テンプレートの作成」、および第 9 章、「データ入力テンプレートの作成」を参照してください。

コミュニティ ディレクトリ

コミュニティ ディレクトリのポートレット テンプレートには、編集可能なオブジェクトを含む次のオブジェクトグループが含まれています。

- メイン ページ
- インデックス
- 情報記事
- 問題記事
- ハウツー記事
- ドキュメント
- 道標
- 記事ヘッダ
- サブフォルダ
- 記事フッタ
- フッタ

メイン ページ

コミュニティ ディレクトリ ポートレットのメイン ページには、記事のリスト、および、フォルダまたは記事のリストを含むフォルダのリストが含まれています。また、メイン ページには、検索フィールド、および新しい記事やフォルダを作成するための作成ボタンが含まれていることもあります。

コンテンツ アイテムの名前、データ入力テンプレートの名前、プレゼンテーション テンプレートの名前の横にある [編集] ボタンをクリックすることによって、適切なエディタにアクセスし、メイン ページを編集することができます。

コンテンツ アイテム エディタは、コミュニティ ディレクトリのメイン ページのコンテンツ アイテムに対して以下のオプションを提供します (これらのいくつかのオプションは、メイン ページではなく記事のページに影響を与えます)。

- **[編集を含む]** は、ユーザーが既存の記事を編集するための **[編集]** ボタンをポートレットの記事のページに追加します。
- **[作成を含む]** は、コミュニティ メンバーがポートレットから直接新しいフォルダおよび新しい記事を作成するための 2 つの **[作成]** ボタンをポートレットのメイン ページに追加します。また、フォルダ ページにも **[作成]** ボタンを追加します。
- **[検索を含む]** は、ユーザーがポートレットのフォルダ内の記事を検索するためのフィールドをポートレットのメイン ページに追加します。また、フォルダ ページにも検索フィールドを追加します。

全てのボタンは、デフォルトでオプションを含むように設定されています。ポートレットの編集機能、作成機能、および検索機能へのアクセスは、ポートレット セキュリティの設定に依存します。

インデックス

インデックスは、メイン ページのドキュメント エリアとフォルダ ページに、記事の名前、タイトル、作者、および、最終発行日をリストします。

コンテンツ アイテムの名前、データ入力テンプレートの名前、プレゼンテーション テンプレートの名前の横にある **[編集]** ボタンをクリックすることによって、適切なエディタにアクセスし、インデックス ページを編集することができます。

情報記事およびハウツー記事

情報記事およびハウツー記事は、シンプルな記事タイプで、コミュニティ メンバーが、コンテンツ アイテム エディタを使用して **[名前]** フィールド、**[タイトル]** フィールド、**[概要]** の長いテキスト フィールド、**[詳細]** の長いテキスト フィールドに入力できるようにします。

データ入力テンプレートの名前またはプレゼンテーション テンプレートの名前の横にある **[編集]** ボタンをクリックすることによって、適切なエディタにアクセスし、コンテンツ アイテム エディタがこれらの種類の記事を表示する方法を変更することができます。

問題記事

問題記事は、コミュニティ メンバーが、**[名前]**、**[タイトル]**、**[概要]**、**[原因]**、**[解決法]**、**[問題の状態]**、および **[詳細]** フィールドを使用して、問題および解決方法に関する情報を入力できるようにします。

データ入力テンプレートの名前またはプレゼンテーション テンプレートの名前の横にある **[編集]** ボタンをクリックすることによって、適切なエディタにアクセスし、コンテンツ アイテム エディタが問題記事を表示する方法を変更することができます。

ドキュメント

ドキュメントのオブジェクト グループには、メイン ページの **[ドキュメント]** エリアの外観および動作を決定するプレゼンテーション テンプレートが含まれています。**[ドキュメント]** エリアを編集するには、プレゼンテーション テンプレートの名前の横にある **[編集]** ボタンをクリックして、エディタにアクセスします。

道標

道標のオブジェクト グループには、フォルダ ページに表示される道標の外観および動作を決定するプレゼンテーション テンプレートが含まれています。道標を編集するには、プレゼンテーション テンプレートの名前の横にある [編集] ボタンをクリックして、プレゼンテーション テンプレート エディタにアクセスします。

記事ヘッダ

記事ヘッダのオブジェクト グループには、このポートレットを通して作成される記事のヘッダの外観および動作を決定するプレゼンテーション テンプレートが含まれています。記事のヘッダを変更するには、プレゼンテーション テンプレートの名前の横にある [編集] ボタンをクリックして、プレゼンテーション テンプレート エディタにアクセスします。

サブフォルダ

サブフォルダのオブジェクト グループには、ポートレットのメイン ページでサブフォルダが表示される方法を決定するプレゼンテーション テンプレートが含まれています。編集するには、プレゼンテーション テンプレートの名前の横にある [編集] ボタンをクリックして、プレゼンテーション テンプレート エディタにアクセスします。

記事フッタ

記事フッタのオブジェクト グループには、このポートレットを通して作成される記事のフッタの外観および動作を決定するプレゼンテーション テンプレートが含まれています。記事のフッタを変更するには、プレゼンテーション テンプレートの名前の横にある [編集] ボタンをクリックして、プレゼンテーション テンプレート エディタにアクセスします。

フォルダ

フォルダのオブジェクト グループには、ポートレットの [フォルダ] ページの外観および動作を決定するプレゼンテーション テンプレートが含まれています。編集するには、プレゼンテーション テンプレートの名前の横にある [編集] ボタンをクリックして、プレゼンテーション テンプレート エディタにアクセスします。

コンテンツ アイテム エディタ、プレゼンテーション テンプレート エディタ、およびデータ入力テンプレート エディタに関する詳細については、第 7 章、「コンテンツ アイテムの作成および編集」、第 10 章、「プレゼンテーション テンプレートの作成」、および第 9 章、「データ入力テンプレートの作成」を参照してください。

発行済みコンテンツ ポートレットの Publisher セキュリティの設定

この節では次の項目について説明します。

- 発行済みコンテンツ ポートレットに対する Publisher フォルダのデフォルト セキュリティ
- 発行済みコンテンツ ポートレットに対するポータル セキュリティのマッピング

発行済みコンテンツ ポートレットに対する Publisher フォルダのデフォルト セキュリティ

発行済みコンテンツ ポートレットに対する Publisher フォルダのデフォルト セキュリティは、以下の要素に依存します。

- ポートレット フォルダの親フォルダの Publisher セキュリティ

- ポートレット テンプレートに定義されているポートレット フォルダおよびサブフォルダのデフォルトの Publisher セキュリティ

ポートレット テンプレートの作成者が、ポートレット フォルダおよびサブフォルダのデフォルト セキュリティを定義した場合、作成者は、明示的な Publisher フォルダのセキュリティ ([コンテンツのセキュリティ] ページの ユーザー / グループの列および役割の列に表示されるセキュリティの設定) ではなく、ポータル セキュリティのデフォルトのマッピングを定義したことになります。ポータル テンプレートによってポートレット フォルダのデフォルト セキュリティが指定されている場合、そのフォルダのセキュリティは、以下の両方の要素から構成されます。

- マップされたポータル オブジェクトのデフォルト セキュリティ
- ポートレット フォルダの親フォルダからコピーされる明示的な Publisher セキュリティ

ポートレット テンプレートでデフォルトの Publisher セキュリティが定義されていない場合、そのポートレット フォルダおよび全てのサブフォルダは、単に親フォルダからマップされた明示的なセキュリティを継承します。

ポートレット テンプレートによっては、[セキュリティ] ボタンをクリックして、[コンテンツのセキュリティ] ページにアクセスし、ポートレット フォルダまたはサブフォルダのデフォルト、または継承された Publisher セキュリティをポートレット設定ウィザードから直接上書きすることができます。ポートレット フォルダまたはそのサブフォルダの一つのどちらかにアクセスするかは、ポートレットテンプレートの設定によって異なります。ポートレット フォルダまたはサブフォルダのセキュリティをポートレット設定ウィザードからアクセスできない場合、デフォルトの Publisher セキュリティを上書きするには、Publisher エクスプローラを使用してください。

発行済みコンテンツ ポートレット テンプレートを作成する際の Publisher フォルダのデフォルト セキュリティの設定方法については、[11-3 ページの「\[詳細設定 \] ページの使用法」](#)および [11-5 ページの「\[ポートレット セキュリティ \] ページの使用法」](#)を参照してください。

発行済みコンテンツ ポートレットに対するポータル セキュリティのマッピング

Publisher フォルダの継承されたセキュリティを上書きする場合、以下を行うことができます。

- ユーザーおよびグループに Publisher の役割を明示的に割り当てることができます。
- 特定のポータル オブジェクト (ポータル コミュニティまたはポートレットなど) に対するポータル セキュリティのアクセス権限を Publisher の役割にマップすることができます。すなわち、特定のポータル オブジェクトへのアクセス権限を持つ全てのユーザーおよびグループに、そのアクセス レベルによって異なる Publisher の役割を割り当てることができます。

ポートレット テンプレートの作成者は、ポータル オブジェクトのセキュリティをポートレット フォルダおよびサブフォルダにマップすることによって、それらのフォルダに対してデフォルトの Publisher セキュリティを設定するため、ポートレット テンプレートの作成者、およびポータル セキュリティのマッピングを追加または変更することによってポートレット フォルダおよびサブフォルダのデフォルトの Publisher セキュリティを上書きする人は、マップするポータル オブジェクトおよびそのオブジェクトのポータル セキュリティを十分考慮する必要があります。ポータル オブジェクトのセキュリティを Publisher のポートレット フォルダまたはサブフォルダにマップする場合、ポートレットまたはポートレットのコミュニティを、マップするポータル オブジェクトとして選択することをお勧めします。それは、これらのオブジェクトが、Publisher のポートレット フォルダおよびサブフォルダに適合するセキュリティの割り当てが設定されている可能性が高いからです。また、以下を行うことをお勧めします。

- ポートレットの作成者が、マップするオブジェクトのポータル セキュリティを完全に理解しており、必要な場合にセキュリティを変更することができる場合のみ、Publisher の継承されたセキュリティまたはデフォルト セキュリティを上書きすることを許可してください。

- ポートレットの作成者がデフォルトのポータル セキュリティのマッピングを上書きする場合、[コンテンツのセキュリティ] ページでマッピングを実行する前に、マップされるポートレット オブジェクトのポータル セキュリティを表示し、必要であれば変更する必要があります。

詳細については、[4-4 ページの「セキュリティの設定」](#)、[11-5 ページの「\[ポートレット セキュリティ\] ページの使用方法」](#)、および『Plumtree Foundation 管理者用ガイド』を参照してください。

発行済みコンテンツ ポートレット フォルダの管理

ポートレット フォルダは、発行済みコンテンツ ポートレット、そのコンテンツ アイテム、およびそのオブジェクトを格納する Publisher フォルダです。システムは、Publisher のポートレット フォルダを使用して、Publisher の発行済みコンテンツ ポートレットをポータルのポートレット管理オブジェクトに関連付けます。また、ポートレット フォルダは、コンテンツがプラムツリー検索サーバーでどのようにインデックスされるかを決定します (検索で表示されないようにマークされている場合を除いて、1 つのポートレット フォルダに含まれる全てのコンテンツはポートレット用にインデックスされます)。

全ての発行済みコンテンツ ポートレット フォルダは、ポートレット アイテムを持ちます。ポートレット アイテムは、ポートレットの主要コンテンツ アイテムであり、ポータル ページにポートレットのビューまたはエントリポイントとして表示されます。一部のポートレット アイテムは、スタンドアロンのページ (例えば、お知らせポートレットの単一コンテンツ アイテム) ですが、ポートレット内のその他の発行済みコンテンツ アイテム (例えば、提供ニュース ポートレットのメイン ページのコンテンツ アイテム) へのリンクが含まれているポートレット アイテムもあります。

基本的に、ポートレット フォルダは、1 つのポートレットを構成するオブジェクトを含みます。例えば、発行済みコンテンツ ポートレット用の提供テンプレートから作成した全てのポートレットはこのようになります。しかし、ポートレットとポートレット フォルダの 1 対 1 の関係は必須ではありません。例えば、場合によっては、以下を行うこともできます。

- 1 つのポートレット フォルダ内に複数のポートレットを含める。

例えば、ニュース ポートレット用の提供テンプレートを利用して、メイン ページのみが異なる同一のポートレットを 2 つ作成することができます。1 つのポートレットは、[作成] ボタン、[検索] ボタン、[編集] ボタンを含み、もう 1 つのポートレットは、それらのボタンを含まないように設定します。こうすることによって、コミュニティ管理ポータル ページに 1 つのポートレットを導入し、参照ユーザーのための一般アクセス向けのコミュニティ ポータル ページに、もう 1 つのポートレットを導入することができます。この場合、まずニュース ポートレット用の提供テンプレートから最初のポートレットを作成して、メイン ページ コンテンツ アイテムに [作成] ボタン、[編集] ボタン、[検索] ボタンを含めます。次に、ボタンを持たないメイン ページ コンテンツ アイテムのコピーを作成し、発行済みコンテンツ ウェブ サービスを使用して 2 つ目のポートレットのポートレット アイテムとして設定します。この 2 つのポートレットのニュース記事のコンテンツは同一であるため、検索すると同じ値が返されます。

- ポートレット アイテムに対してポートレット フォルダを全く使用しない。

単一のコンテンツ アイテムから構成される発行済みコンテンツ ウェブ サービス ポートレットを作成することができます。このコンテンツ アイテムを検索可能にする必要がない場合、ポートレット フォルダにコンテンツ アイテムを含める必要はありません。

ブランド ポートレットの作成および編集

ブランド ポートレットは、環境定義およびコミュニティの外観をカスタマイズできるようにします。プラムツリーは、ブランド ポートレットを作成するために利用できる以下のポートレット テンプレートを提供しています。

- ヘッダ：カスタマイズされたヘッダを作成できるようにします。ヘッダ ポートレットは、ページの上部、ポータル バナー エリアに表示されます。
- フッタ：カスタマイズされたフッタを作成できるようにします。フッタ ポートレットはページの下部に表示されます。
- コンテンツ キャンパス：バナーの真下の部分に表示されるブランド ポートレットを作成できるようにします。

発行済みコンテンツ ポートレットと同じように、ポートレット エディタおよびポートレット設定ウィザードを使用して、ポートレット テンプレートからブランド ポートレットを作成および設定します。各ポートレットに対して、ポートレット設定ウィザードで以下の項目を入力する必要があります。

- ポートレット フォルダの名前。
- 親フォルダ。
- ポータル スタイル (ヘッダ ポートレットのみ)。このフィールドは、デフォルトのヘッダ形式を決定します。しかし、[オブジェクトの編集] ページでリッチ テキスト エディタを使用してヘッダ形式を変更することができます。
- コンテンツ。[オブジェクトの編集] ページでリッチ テキスト エディタを使用して長いテキスト フィールドに入力します。リッチ テキスト エディタを使用して、テキストおよび背景色の形式を編集したり、イメージをアップロードおよび挿入したり、リンクを追加したり、HTML を挿入したり、ポータル トランスフォーマ タグを含めたりすることができます。



注意：プレゼンテーション テンプレート およびデータ入力テンプレートをポートレット 設定ウィザードから直接編集できるようにするには、[ポートレットの詳細設定] ページを使用してください。

詳細については、[6-4 ページの「新しい発行済みコンテンツ ポートレットの作成」](#)および『Plumtree Foundation 管理者用ガイド』を参照してください。

発行済みコンテンツ ウェブ サービスを使用した発行済みコンテンツ ポートレットの作成および編集

ポートレット テンプレートを使用するのではなく、発行済みコンテンツ ウェブ サービスを直接使用することによって、ポータル ページで既存のコンテンツ アイテムを表示するポートレットを作成することができます。例えば、企業のイントラネットまたはその他のウェブベース リソースを Publisher のコンテンツ アイテムとして管理している場合、発行済みコンテンツ ウェブ サービスを使用して、それらのリソースを表示するポートレットを作成し、コミュニティ メンバーが利用できるようにすることができます。

発行済みコンテンツ ウェブ サービスを使用してポートレットを作成した場合、ポートレット設定ウィザードは、ポートレット テンプレートから発行済みコンテンツ ポートレットを作成した場合のように、ポートレット フォルダ、データ入力テンプレート、およびプレゼンテーション テンプレートを自動的に作成しません。Publisher のポートレット フォルダ、コンテンツ アイテム、およびプレゼンテーション テンプレートは、他の発行済みコンテンツ ポートレットに関連付けられていない既存のものである必要があります。発行済みコンテンツ ポートレットとまだ関連付けられていないコンテンツ アイテムを、この方法で作成するポートレットの基礎として使用すること

ができます。これは、HTML が含まれていて、発行されているものであれば、Publisher にアップロードされた、ファイル コンテンツ アイテムおよびイメージを含みます。

発行済みコンテンツ ウェブ サービスを直接使用してポートレットを作成する場合、ポートレット設定ウィザードの外観および動作は、発行済みコンテンツ ポートレット テンプレートから発行済みコンテンツ ポートレットを作成する際に使用するものとは異なります。ウィザードで選択する必要があるのは、ポートレットに表示されるコンテンツ アイテムのみです。

発行済みコンテンツ ウェブ サービスを使用したポートレットの作成

発行済みコンテンツ ウェブ サービスを使用してポートレットを作成するには、次の手順に従います。

1. ポートレットに含める情報を持つコンテンツ アイテムを作成し、発行します。ポートレットにまだ関連付けられていない Publisher 内の発行済みコンテンツ アイテムを使用して、ポートレットを作成することができます。
2. [管理] タブをクリックします。
3. 適切な管理フォルダをクリックします。
4. [オブジェクトの作成 | ポートレット] をクリックします。[ポートレット テンプレートの選択] または [ウェブ サービスの選択] ダイアログ ボックスが表示されます。
5. [発行済みコンテンツ ウェブ サービス] を選択します。ポートレット エディタが起動します。
6. ポートレット エディタで、[このポートレットの設定] の横にある [編集] ボタンをクリックして、ポートレット設定ウィザードにアクセスします。
7. ポートレット設定ウィザードで、ポートレット アイテムとして使用するコンテンツ アイテムを参照し、選択します。
8. (オプション) オブジェクトのカテゴリおよびオブジェクトを追加して、ポートレット設定ウィザードから直接それらを編集、ポートレット アイテムとして指定されているオブジェクトを変更、(ポートレットを検索可能にするために) ポートレット フォルダを選択、または、コミュニティ ポートレットのカスタマイズ権限を変更するには、以下を行ってください。
 - a. [作成および編集] をクリックして、[詳細設定] ボタンを有効にします。
 - b. [詳細設定] をクリックして、[ポートレットの詳細設定] ページを開きます。このページで、上記のオプション タスクを実行することができます。



重要: ポートレットにおけるオブジェクトの機能を完全に理解したうえで、そのオブジェクトを追加または削除してください。

[ポートレットの詳細設定] ページの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

9. (オプション) [ポートレットの詳細設定] ページでオブジェクトのカテゴリおよびオブジェクトを追加した場合、ポートレット設定ウィザードに戻ると、これらのオブジェクトのカテゴリおよびオブジェクトが編集できるようになります。ポートレット フォルダを指定した場合、[コンテンツのセキュリティ] ページおよび [フォルダのワークフロー プロパティ] ページにアクセスし、ポートレットのセキュリティおよびワークフローを設定することができます。

[6-5 ページの「ポートレット設定ウィザードを使用したポートレットの設定」](#)を参照してください。

10. [終了] をクリックして、ポートレットを発行し、ポートレット エディタに戻ります。
11. ポートレット エディタの [終了] をクリックして、ポートレットを保存し、ポータルでそのポートレットを利用できるようにします。

発行済みコンテンツ ポートレットの削除

発行済みコンテンツ ポートレットは、ポータル管理ディレクトリ内のポートレット オブジェクト、およびオブジェクトが含まれた **Publisher** のフォルダ階層構造内にあるフォルダから構成されます。ポートレットを完全に削除するには、両方の階層構造からオブジェクトを削除する必要があります。以下の方法で、**Publisher** から発行済みコンテンツ ポートレットを削除することができます。

- **Publisher** エクスプローラを使用する。
- ポートレット設定ウィザードを使用する。

第 8 章、「コンテンツの発行および期限切れの設定」も参照してください。

7 コンテンツ アイテムの作成および編集

Publisher では、ウェブ ページは、コンテンツ アイテムに格納され、そこから参照されるコンテンツから構成されます。ウェブ ページを作成するには、コンテンツ アイテムを作成します。ウェブ ページを変更するには、そのコンテンツ アイテムを編集します。

次の 2 つの方法でコンテンツ アイテムを作成することができます。

- 別の場所で作成されたファイルを Publisher にインポートします (ファイル コンテンツ アイテム)。
- Publisher 内のコンテンツ アイテム エディタを使用します。

この章では以下のトピックについて説明します。

- [「コンテンツ アイテム エディタを使用したコンテンツ アイテムの作成および編集」](#)
- [「ファイル コンテンツ アイテムのアップロードおよび管理」](#)
- [「コンテンツ アイテムのコピー、移動、名前の変更、および削除」](#)

コンテンツ アイテム エディタを使用したコンテンツ アイテムの作成および編集

コンテンツ アイテム エディタを使用して作成するコンテンツ アイテムは、コンテンツ アイテムを作成するために利用できるプロパティを定義するデータ入力テンプレートに基づいて作成されます。データ入力テンプレートを使用してコンテンツ アイテムを作成または編集する際、これらのプロパティが、テキスト ボックス、定義された選択リスト、ファイルをダウンロードするためのフィールド、ブール型の真 / 偽ラジオ ボタンといった編集可能なフィールドとしてコンテンツ アイテム エディタに表示されます。

コンテンツ アイテムを構成するプロパティの値を入力または選択し、コンテンツ アイテム エディタに保存すると、コンテンツ アイテムは、プレビュー サイト上のページに変換されます。そのページのデータは、データ入力テンプレートに基づいて構造化されており、その外観およびフォーマットは、関連付けられたプレゼンテーション テンプレートによって決定されます。コンテンツ アイテムを発行すると、コンテンツ アイテムは、ウェブ サイト上のページに変換されるか、またはポータル ナレッジ ディレクトリ内のオブジェクトに変換されます。

この節では、以下の方法について説明します。

- コンテンツ アイテム エディタのアクセス方法
- コンテンツ アイテム エディタの使用方法
- コンテンツ アイテム エディタからのファイルおよびイメージの挿入および管理

データ入力テンプレートおよびプレゼンテーション テンプレートの詳細については、以下を参照してください。

- 第 9 章、「データ入力テンプレートの作成」
- 第 10 章、「プレゼンテーション テンプレートの作成」

コンテンツ アイテム エディタのアクセス方法

以下を含む Publisher 内の多数の場所からコンテンツ アイテム エディタにアクセスすることができます。

- Publisher エクスプローラ

- コンテンツの提出ポートレット
- 作業リスト ポートレット
- 最近使われたコンテンツ ポートレット
- ワークフロー内のコンテンツ アイテム ポートレット
- ポートレット設定ウィザード
- ワークフロー割り当てページ
- コンテンツを作成することを可能にする発行済みコンテンツ ポートレット

この節では、コンテンツの提出ポートレットからコンテンツ アイテム エディタにアクセスする方法について説明します。その他の **Publisher** コンポーネントからコンテンツ アイテム エディタにアクセスする方法については、オンライン ヘルプまたはこの管理者ガイドの各コンポーネントに対する節を参照してください。

コンテンツの提出ポートレット

コンテンツの提出ポートレットは、提出者以上の役割を持つユーザーが、コミュニティ ページからコンテンツ アイテムを **Publisher** に提出できるようにします。コミュニティ マネージャーは、ユーザーが利用できるデータ入力テンプレートを選択します。各データ入力テンプレートは、ポートレットに関連付けられます。関連付けられたポートレットは、コンテンツ アイテムが発行された後のみ、コンテンツ アイテムを表示します。

新しいコンテンツ アイテムを作成するには、コンテンツ アイテムのベースとして使用するデータ入力テンプレートの右側にある **[作成]** アイコンをクリックします。コンテンツ アイテム エディタが開きます。

コンテンツの提出ポートレットの基本設定

提出者以上の役割を持つユーザーが行うこともできますが、通常、ユーザーがコンテンツの提出ポートレットからコンテンツを提出するために利用できるデータ入力テンプレートを選択するのは、コミュニティ マネージャーの役目です。データ入力テンプレートを選択するには、次の手順に従います。

1. コミュニティで、**[マイ コミュニティ | このコミュニティを編集]** をクリックします。
2. **[コミュニティの設定を編集]** で **[ポートレットの基本設定]** をクリックします。
3. **[ポートレットの基本設定]** エリアで、コンテンツの提出ポートレットの横にある **[編集]** アイコンをクリックします。これにより、**[コンテンツの提出] - [コミュニティの基本設定]** ページにアクセスします。
4. データ入力テンプレートを追加するには、**[テンプレートの選択]** をクリックします。
5. **[データ入力テンプレートの選択]** ダイアログ ボックスで、追加するテンプレートを選択します。
6. **[OK]** をクリックして、**[コンテンツの提出] - [コミュニティの基本設定]** ページに戻ります。
7. コンテンツの提出ポートレットにテンプレートが表示される順番を変更するには、各テンプレートの右側にある上下矢印をクリックしてください。
8. **[OK]** をクリックして変更を保存します。

コンテンツ アイテム エディタの使用法

コンテンツ アイテム エディタは、アクション バーおよび次のページから構成されています。

- プロパティ
- コンテンツ メモ
- コンテンツ パージョン
- 発行情報



注意: コンテンツ アイテム エディタの [提出者] ビューでは、コンテンツ アイテム エディタが編集可能なプロパティ フィールドを含む単一のページとして表示され、アクション バーには、[プレビュー] ボタンと、[提出] ボタンおよび [キャンセル] ボタンのみが表示されます。

アクション バー

コンテンツ アイテム エディタの上部にあるアクション バーには、コンテンツ アイテムに対して様々な操作を実行するためのボタンのセットが含まれています。表示されるボタンは、ユーザーの役割、およびコンテンツ アイテムのチェックアウト状態、発行状態、およびワークフロー状態によって異なります。

- **チェックイン:** コンテンツ アイテムを Publisher にチェックインするには、このボタンをクリックします。変更が保存され、Publisher に更新されたバージョンが格納されます。更新されたバージョンをチェックインすることにより、アイテムを現在のバージョンに戻したり、またはその他のバージョンと比較したりすることができます。[保存] ボタンをクリックすることによって、チェックインを行わずにコンテンツ アイテムを保存することもできます。
- **チェックアウト:** コンテンツ アイテムを開いて編集し、新しいバージョンを作成するには、このボタンをクリックします。コンテンツ アイテムがチェックアウトされている場合、その他のユーザーは、コンテンツ アイテムを編集するために開くことができません。フォルダ管理者および管理者のみがチェックアウトを無効にすることができます。
- **チェックアウトを元に戻す:** 変更を取り消して、コンテンツ アイテムを前のバージョンに戻し、他のユーザーがコンテンツ アイテムを編集できるようにするには、このボタンをクリックします。
- **プレビュー:** コンテンツ アイテムがウェブに発行された際に表示される内容をプレビューするには、このボタンをクリックします。コンテンツ アイテム エディタでコンテンツ アイテムを作成または編集している間、コンテンツ アイテムをプレビューすることができます。コンテンツ アイテムにページ コンポーネントのプレゼンテーション テンプレートが使用されている場合、プレビュー オプションは使用できません。すなわち、完全なウェブ ページを発行するように設定されていないプレゼンテーション テンプレートの場合、このオプションは使用できません。

ページ コンポーネントのプレゼンテーション テンプレートに関する詳細については、[10-2 ページの「プレゼンテーション テンプレート エディタの使用法」](#)を参照してください。

- **発行:** [発行情報] ページに設定されている発行ターゲットにコンテンツ アイテムを発行するには、このボタンをクリックします。編集者以上の役割を持つユーザーのみが発行を行うことができます。また、コンテンツ アイテムが発行可能なワークフロー アクティビティで処理されている場合、またはワークフローが適用されていない場合のみ発行を行うことができます。
- **承認を受けるために提出:** [承認を受けるために提出] ページにアクセスするにはこのボタンをクリックします。このページでは、ワークフローのオプションを選択し、コンテンツ アイテムをワークフローに提出することができます。このボタンは、ワークフローが添付されているフォルダに含まれる新しいコンテンツ アイテムの場合のみ表示されます。このボタンをクリックすると、コンテンツ アイテムをまだ保存していない場合、コンテンツ アイテムを保存します (保存を確認するメッセージが表示されます)。[承認を受けるために提出] ページの [終了] をクリックすると、コンテンツ アイテムを Publisher にチェックインしていない場合、チェックインします。

コンテンツ アイテムが既にワークフローに提出されている場合、[承認を受けるために提出] ボタンの代わりに、[承認] ボタン、[拒否] ボタン、[転送] ボタン、および [割り当ての詳細] ボタンが表示されます。



注意: コンテンツ アイテム エディタの [提出者] ビューの場合、エディタの右端の上は、[承認を受けるために提出] ボタンではなく [提出] ボタンが表示されます。このボタンをクリックすると、コンテ

ンツ アイテムが、ワークフロー定義の最初のワークフロー アクティビティに自動的に提出されます。ユーザーには、[承認を受けるために提出] ボタンは表示されません。

- **承認** : [承認] ページにアクセスするには、このボタンをクリックします。このページでは、コンテンツ アイテムを承認し、次のワークフロー アクティビティにコンテンツ アイテムを回すことができます。このボタンをクリックすると、コンテンツ アイテムをまだ保存していない場合、コンテンツ アイテムを保存します (保存を確認するメッセージが表示されます)。[承認] ページの [終了] をクリックすると、コンテンツ アイテムを Publisher にチェックインしていない場合、チェックインします。
- **拒否** : [拒否] ページにアクセスするには、このボタンをクリックします。このページでは、コンテンツ アイテムを拒否し、前のワークフロー アクティビティにコンテンツ アイテムに戻すことができます。このボタンをクリックすると、コンテンツ アイテムをまだ保存していない場合、コンテンツ アイテムを保存します (保存を確認するメッセージが表示されます)。[拒否] ページの [終了] をクリックすると、コンテンツ アイテムを Publisher にチェックインしていない場合、チェックインします。
- **転送** : [転送] ページにアクセスするには、このボタンをクリックします。このページでは、コンテンツ アイテムに対するワークフロー アクティビティを別のユーザーに転送または委任することができます。このボタンは、ワークフローの定義で、転送または委任が許可されている場合のみ使用できます。このボタンをクリックすると、コンテンツ アイテムをまだ保存していない場合、コンテンツ アイテムを保存します (保存を確認するメッセージが表示されます)。[転送] ページの [終了] をクリックすると、コンテンツ アイテムを Publisher にチェックインしていない場合、チェックインします。
- **割り当ての詳細** : [ワークフロー割り当て] ページにアクセスするには、このボタンをクリックします。このページでは、コンテンツ アイテムに対するワークフローの割り当ての詳細、およびワークフローの履歴を表示することができます。

ワークフローに関する詳細については、第 5 章、「ワークフローの使用法」を参照してください。

プロパティ ページ

コンテンツ アイテム エディタの [**プロパティ**] ページは、関連付けられているデータ入力テンプレートに基づく編集可能なフィールドのセットによって構成されています。このページで入力した値は、コンテンツ アイテムの発行済みコンテンツを構成します。

コンテンツ アイテム エディタに表示されるプロパティ タイプの完全なリストについては、[9-2 ページの「データ入力テンプレートに使用できるプロパティタイプ」](#)を参照してください。

コンテンツ アイテム エディタを使用してファイルおよびイメージをコンテンツ アイテムに挿入する手順については、[7-6 ページの「コンテンツ アイテム エディタからのファイルおよびイメージの挿入および管理」](#)を参照してください。

これらのプロパティに関連付けられている機能の使用法の詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

コンテンツ メモ ページ

[**コンテンツ メモ**] ページでは、発行されることのない、コンテンツ アイテムに関する情報を入力することができます。入力されたメモは、コンテンツ アイテム エディタからアクセスすることができますが、発行済みコンテンツ アイテムには表示されません。また、入力されたメモは、コンテンツ アイテムのメタデータには含まれず、Publisher を通して検索することもできません。寄稿者以上の役割を持つユーザーのみが、このページにアクセスすることができます。

コンテンツ バージョン ページ

[**コンテンツ バージョン**] ページには、現在のコンテンツ アイテムの各バージョン、それらのバージョン番号、チェックインの日付、バージョンを保存したユーザー、およびユーザーが入力したバージョンのコメントが表示されます。新しいコンテンツ アイテムを作成している場合、バージョンは表示されません。寄稿者以上の役割を持つユーザーのみが、このページにアクセスすることができます。

現在のバージョンは、リストの上部に表示され、「**アクティブ バージョン**」とマークされます。

このページでは以下の操作を行うことができます。

- **比較**：バージョンの違いを表示するには、比較するバージョンを選択し、[**比較**] をクリックします。[**バージョンの比較**] ページでは、各バージョンのコンテンツ アイテムのプロパティが表示され、バージョンの違いが強調表示されます。
- **復元**：Publisher に格納されているコンテンツ アイテムを前のバージョンに戻すには、適切なバージョンを選択し、[**復元**] をクリックします。前のバージョンを復元するには、コンテンツ アイテムをチェックアウトする必要があります。
- **バージョンのイベント**：選択したコンテンツ アイテムのバージョンのイベントを表示するには、そのバージョンの右側にある [**バージョンのイベント**] アイコンをクリックします。イベントは、ページの下部の [**バージョンのイベント**] エリアに表示されます。表示されるイベントには、ワークフロー アクティビティ、発行履歴等が含まれます。このページには、各イベントの日付、関連ユーザー、イベントの種類、およびイベントの説明が表示されます。
- **コンテンツ アイテム エディタからのアーカイブされたバージョンの表示**：コンテンツ アイテムの前のバージョンを表示するには、バージョン番号をクリックします。別のコンテンツ アイテム エディタのウィンドウが開き、そのバージョンのプロパティ値が表示されます。このエディタのウィンドウ内で、[**プレビュー**] をクリックして、そのバージョンをプレビューすることもできます。

アーカイブされたバージョンを編集または発行することはできません。コンテンツ アイテムの前のバージョンを発行するには、まずそのバージョンを復元する必要があります。アクション バーの [**発行**] ボタンは、コンテンツ アイテムの**アクティブ バージョン**にのみ適用されます。

発行情報 ページ

編集者以上の役割を持つユーザーのみが、このページにアクセスすることができます。

[**発行情報**] ページには、コンテンツ アイテムのデータ入力テンプレート、関連付けられているプレゼンテーション テンプレート、関連付けられているポートレット、および以下の項目が表示されます。

- **発行可能**：コンテンツ アイテムがスタンドアロン ページとして発行可能であるかどうかを示します。一部のコンテンツ アイテムは、他の発行済みコンテンツ アイテムによって参照されている必要があります。
- **発行名**：アイテムを発行した際に、発行ターゲットで作成されるファイル名を表示します。

このページでは、**発行名**のみを変更することができます。他のアイテムは、Publisher エクスプローラを使用して設定する必要があります。

[**発行情報**] グループ ボックスの**アクション バー**には、コンテンツ アイテムに対して以下の発行操作を実行するためのボタンのセットが含まれています。

- **ディレクトリ**：[**ナレッジ ディレクトリへ発行**] ページにアクセスするには、このボタンをクリックします。このページでは、ポータルナレッジ ディレクトリに発行済みコンテンツ アイテムへのリンクを作成することができます。

- **スケジュール:** [発行スケジュール] ページにアクセスするには、このボタンをクリックします。このページでは、スケジュールされた最新の発行日を表示したり、新しい発行または期限切れのスケジュールを作成したり、現在のスケジュールを編集したりすることができます。
- **期限切れに設定:** コンテンツ アイテムをその場で期限切れに設定するには、このボタンをクリックします。Publisher は、発行ターゲットおよび検索インデックスから、アイテムのイメージまたはファイル プロパティに含まれているファイルを含む発行済みコンテンツ ファイルを削除します。期限切れになったコンテンツは、Publisher ディレクトリに保管されますが、再度発行するには期限切れを元に戻す必要があります。
- **期限切れを元に戻す:** コンテンツ アイテムが期限切れに設定されており、アイテムを再発行する必要がある場合は、このボタンをクリックします。期限切れを元に戻すと、アイテムが発行ターゲットに発行されます。

スケジュールの設定および期限切れ等、発行に関する詳細については、第 8 章、「コンテンツの発行および期限切れの設定」を参照してください。

コンテンツ アイテム エディタからのファイルおよびイメージの挿入および管理

コンテンツ アイテムのデータ入力テンプレートにファイル プロパティ タイプが含まれている場合、ファイルをコンテンツ アイテムにアップロードすることができます。ローカル コンピュータ上で、WebDAV のウェブ編集機能が有効になっている場合、コンテンツ アイテム エディタからファイルのネイティブ エディタを使用して、アップロードされたファイルを直接編集することもできます。

コンテンツ アイテムのデータ入力テンプレートにイメージ プロパティ タイプまたは長いテキスト プロパティ タイプが含まれている場合、イメージ ファイルをコンテンツ アイテムにアップロードすることができます。

この節では、以下の方法について説明します。

- コンテンツ アイテム エディタを使用してコンテンツ アイテムへファイルをアップロードする方法
- コンテンツ アイテム エディタを使用してファイルを編集する方法
- コンテンツ アイテム エディタを使用してイメージ ファイルをアップロードおよび編集する方法
- イメージ ファイルの管理
- 参照されているファイルおよびイメージの発行

コンテンツ アイテム エディタを使用してコンテンツ アイテムへファイルをアップロードする方法

コンテンツ アイテム エディタで、ファイル プロパティ タイプを使用してファイルをアップロードするには、次の手順に従います。

1. ファイル プロパティのグループ ボックスで、[**アップロード**] をクリックします。
2. 表示されたダイアログ ボックスで、ファイル名を入力するか、またはファイルを参照して、選択します。
3. [**OK**] をクリックします。

コンテンツ アイテム エディタを使用してファイルを編集する方法

コンテンツ アイテム エディタを使用して、ファイルをコンテンツ アイテムに挿入した場合、以下のいずれかの方法で、そのファイルを編集することができます。

1. ファイルをデスクトップにダウンロードして、任意のエディタでファイルを編集します。
 - a. ファイル プロパティのグループ ボックスで、[**ダウンロード**] をクリックします。
 - b. 表示されたダイアログ ボックスの指示に従って、ダウンロードを開始し、保存場所を選択してください。

- c. 任意のエディタを使用して、ファイルを編集し、ローカル環境にファイルを保存します。
 - d. コンテンツ アイテム エディタに戻り、編集したファイルをアップロードします。
 - e. **[保存]** をクリックします。
2. ウェブ編集を使用して、任意のエディタを使用し、その場でファイルを編集します。
 - a. ファイル プロパティ グループ ボックスで、**[ウェブ編集]** をクリックします。
 - b. ファイルは、最後に編集した際に使用したエディタで開かれます。アイテムを編集します。
 - c. ファイルを保存します。
 - d. コンテンツ アイテム エディタに戻ります。
 - e. **[保存]** をクリックします。



注意: この機能を使用するには、クライアントでウェブ編集を有効にしている必要があります。また、Internet Explorer 5 またはそれ以上を使用する必要があります。

ウェブ編集に関する詳細については、第 12 章、「WebDAV の使用」を参照してください。

コンテンツ アイテム エディタを使用してイメージ ファイルをアップロードおよび編集する方法

コンテンツ アイテムのデータ入力テンプレートにイメージ プロパティ タイプまたは長いテキスト プロパティ タイプが含まれている場合、コンテンツ アイテム エディタを使用して、コンテンツ アイテムにイメージ ファイルをアップロードすることができます。

イメージ プロパティ タイプが含まれているコンテンツ アイテムにイメージ ファイルをアップロードするには、次の手順に従います。

1. イメージ プロパティ グループ ボックスで、**[アップロード]** をクリックします。
2. 表示されたダイアログ ボックスで、ファイル名を入力するか、またはファイルを参照して、選択します。
3. **[OK]** をクリックします。ファイル名がグループ ボックスに表示され、イメージ ファイルは、コンテンツ アイテムと同じ Publisher フォルダに保存されます。
4. イメージのサイズを変更するには、**[幅]** および **[高さ]** フィールドにピクセル値を入力します。元のファイルの値を使用して、**[幅]** および **[高さ]** フィールドを更新するには、**[サイズ取得]** をクリックします。プレゼンテーション テンプレートは、幅および高さの属性を使用して発行済みコンテンツ アイテムのイメージをフォーマットするために、適切なタグを使用する必要があります。

リッチ テキスト エディタを使用して、長いテキスト プロパティ タイプで、コンテンツ アイテムにイメージ ファイルをアップロードするには、次の手順に従います。

1. 長いテキスト プロパティのフォーマット ツールバーで、**[イメージ オプション]** アイコンをクリックするか、**[イメージ オプション]** アイコンの横にある下矢印をクリックして、ドロップダウン リストを表示し、そのリストから **[イメージのアップロード]** を選択します。
2. 表示されたダイアログ ボックスで、ファイル名を入力するか、またはファイルを参照して、選択します。
3. **[OK]** をクリックします。イメージが長いテキスト プロパティの編集ボックスで表示され、イメージのサムネイルが、ドロップダウン リストの下部の選択ボックスに表示されます。

長いテキスト プロパティのフォーマット ツールバーを使用して、イメージ ファイルをアップロードすると、イメージ ファイルは、コンテンツ アイテムと同じ Publisher フォルダに保存されます。コンテンツ アイテムが発行済みコンテンツ ポートレットに関連付けられている場合、イメージ ファイルは、ポートレット フォルダの **[Images]** サブフォルダに保存されます。コンテンツ アイテムのフォルダまたは **[Images]** サブフォルダに保存され

た全てのイメージは、ドロップダウン リストの下部の選択ボックスにサムネイルとして表示され、テキスト ボックスに挿入することができます。

[**イメージ オプション**] ドロップダウン リスト (テキスト ボックスの中のイメージを右クリックするとアクセスできます) は、以下のオプションを提供します。

- [**イメージにリンク | ウェブ**] : Publisher にイメージを格納せずに、Publisher の外部にあるイメージをテキスト ボックスに挿入するにはこのオプションをクリックします。イメージが格納されているウェブ サイトへリンクするための URL を入力します。
- [**イメージにリンク | イメージの選択**] : アクセス権限のある Publisher のフォルダからイメージを挿入するにはこのオプションをクリックします。[**イメージの選択**] ダイアログ ボックスを使用して、イメージを選択します。
- [**イメージの編集**] : 長いテキスト プロパティ ボックスの中のイメージを選択して、[**イメージの編集**] をクリックし、[**イメージの編集**] ダイアログ ボックスを開きます。このダイアログ ボックスでは、イメージの属性を変更することができます。
- Publisher フォルダのコンテンツ アイテムの全てのイメージ ファイルは、ドロップダウン リストにサムネイルとして表示されます。テキスト ボックスに挿入するにはサムネイルをクリックします。

イメージ ファイルの管理

イメージ ファイルを直接コンテンツ アイテムに挿入するために、コンテンツ アイテム エディタの長いテキスト プロパティの [**イメージのアップロード**] オプションを使用した場合、イメージ ファイルは、ファイル コンテンツ アイテムとして、Publisher ディレクトリおよびウェブ サーバー ディレクトリの両方で、コンテンツ アイテムと同じフォルダに格納されます。発行済みコンテンツ ポートレットの場合は、Publisher ディレクトリおよびウェブ サーバー ディレクトリの両方のポートレット フォルダの [**Images**] サブフォルダに格納されます。ほとんどのウェブ デザイナーが行うように、ウェブ サーバー上で、イメージ ファイルを HTML ファイルとは別に格納することもできます。そうするには、Publisher エクスプローラを使用して、ファイル コンテンツ アイテムとしてイメージ ファイルをインポートし、任意のディレクトリに格納し、任意の発行ターゲットを設定します。その後、コンテンツ アイテム エディタで、アイテム プロパティ、または、長いテキスト用ボックスのフォーマット ツールバーの [**イメージにリンク | イメージの選択**] オプションを使用して、イメージ ファイルをコンテンツ アイテムに挿入することができます。

Publisher へのファイル コンテンツ アイテムのアップロードおよび発行ターゲットの割り当てに関する詳細については、[7-9 ページの「ファイル コンテンツ アイテムのアップロードおよび管理」](#)および [4-11 ページの「発行ターゲットおよびプレビュー サイトの設定」](#)を参照してください。

参照ファイルおよびイメージの発行

コンテンツ アイテムのファイルおよびイメージをアップロードまたは参照した方法によって、それらのファイルおよびイメージがウェブ サーバーに発行される方法が決まります。以下の点に注意してください。

- コンテンツ アイテム エディタの長いテキスト プロパティの [**イメージのアップロード**] オプションを使用してアップロードした全てのイメージは、ファイル コンテンツ アイテムとして Publisher に保存され、コンテンツ アイテムを発行した際に、ウェブ サーバーに自動的に発行されます。但し、発行済みコンテンツ ポートレットを使用してコンテンツ アイテムを作成する寄稿者または提出者である場合を除きます。発行が許可されていないユーザーが、この方法でイメージ ファイルをアップロードした場合、イメージ ファイルは、コンテンツ アイテムとともに自動的に発行されません。イメージ ファイルは、別々に発行する必要があります。この方法でアップロードされた全てのイメージは、ポートレット フォルダの [**Images**] サブフォルダに格納されるため、発行が許可されている役割を持つユーザーは、サブフォルダに対して定期的な発行スケジュールを設定し、発行が許可されていないユーザーによって提出された全てのイメージを発行することができます。

- プレゼンテーション テンプレートの中で適切な pcs タグを使用してファイルを参照している場合、コンテンツ アイテムのファイル プロパティまたはイメージ プロパティに格納されたファイルは、コンテンツ アイテムとともに発行されます。
- コンテンツ アイテムが、アイテム プロパティ タイプまたはリスト プロパティ タイプを使用して、ファイル コンテンツ アイテムを参照している場合、それらのファイル コンテンツ アイテムは、別々に発行するか、またはプレゼンテーション テンプレートの [発行する関連アイテム] リストに含める必要があります。

ファイル コンテンツ アイテムのアップロードおよび管理

ファイル コンテンツ アイテムは、Publisher の外部で作成されたファイルで、ローカルまたはネットワーク ドライブから Publisher にアップロードされます。Publisher でファイル コンテンツ アイテムを管理し、コンテンツ アイテム エディタを使用せずに、Publisher からそのアイテムを発行ターゲットに発行することができます。

この節では、以下の方法について説明します。

- ファイル コンテンツ アイテムのアップロード
- WebDAV を使用したファイル コンテンツ アイテムの編集および管理

ファイル コンテンツ アイテムのアップロード

ファイル コンテンツ アイテムを Publisher にアップロードする方法は 2 つあります。

1. Publisher エクスプローラで、[新規 | ファイル コンテンツ アイテム] コマンドを使用してファイルをアップロードします。ファイルをアップロードすると、ファイルは、コンテンツ アイテムとして Publisher ディレクトリに保存されます。
2. WebDAV クライアントのウェブ フォルダのマップ機能を使用して、ファイルをアップロードします。この方法を使用した場合、Windows エクスプローラでドラッグ & ドロップまたはカット & ペーストするだけで、任意の数のファイルを Publisher ディレクトリにアップロードすることができます。



注意: コンテンツ アイテム エディタの長いテキスト 用ボックスのリッチ テキスト コントロールを使用して、アップロードしたイメージも、ファイル コンテンツ アイテムとして Publisher ディレクトリに保存されます。

ファイルがアップロードされた際にシステムが作成するコンテンツ アイテムは、以下のプロパティを含みます (イメージ ファイルを除きます)。

- **ファイル:** 値は、アップロードされたファイルです。
- **タイトル**
- **説明**

イメージ ファイルの場合、コンテンツ アイテムは以下のプロパティを含みます。

- **イメージ:** 値は、アップロードされたイメージ ファイルです。
- **代替:** 入力された値は、マウスオーバーまたはツール ヒントのテキストとして、または、ウェブ ブラウザが低帯域幅用またはアクセシブル ブラウジングに設定されている場合にイメージを置き換えるテキストとして使用されます。
- **タイトル**

- 説明
- イメージのプレビュー

システムがコンテンツ アイテムを作成した際は、タイトル、説明、および代替プロパティに値が設定されていますが、ユーザーが値を入力することができます。

ファイルがアップロードされた後は、ワークフローおよび発行に関して、ファイル コンテンツ アイテムをその他のコンテンツ アイテムと同じように扱うことができます。

WebDAV を使用したファイル コンテンツ アイテムの編集および管理

WebDAV クライアントをインストールし、ウェブ編集およびウェブ フォルダのマップ機能を有効にしている場合、以下を行うことによって、ファイル コンテンツ アイテムを編集および管理することができます。

- コンテンツ アイテム エディタのファイル プロパティの [ウェブ編集] ボタンを使用して、ネイティブ エディタでファイルを開き、ファイルを編集することができます。
- ウェブ フォルダのマップ機能を使用して、Windows エクスプローラからネイティブ エディタでファイルを開くことができます。
- ウェブ フォルダのマップ機能を使用して、Windows エクスプローラからファイル コンテンツ アイテムのコピー、移動、名前の変更、または削除を行うことができます。

WebDAV の使用方法に関する詳細については、第 12 章、「WebDAV の使用」を参照してください。

コンテンツ アイテムのコピー、移動、名前の変更、および削除

Publisher のコンポーネントに行うことと同じように、Publisher エクスプローラでコンテンツ アイテムのコピー、移動、名前の変更、および削除を行うことができます。ただし、コンテンツ アイテムにこれらの操作を実行する際は、以下の点に注意してください。

- 発行されているコンテンツ アイテムを削除する場合、発行済みコンテンツをポータルから削除するために、まずコンテンツ アイテムを期限切れに設定する必要があります。発行済みコンテンツ アイテムを期限切れにしていない場合、ユーザーは引き続きそのアイテムにアクセスすることができます。
- 他のコンテンツ アイテム、データ入力テンプレート、またはプレゼンテーション テンプレートへの参照を切断することなく、コンテンツ アイテムを別のフォルダに移動することができます。
- コンテンツ アイテムの名前を変更した場合、システムは、データ入力テンプレートおよびその他のコンテンツ アイテムによるコンテンツ アイテムの参照を自動的に更新します。しかし、プレゼンテーション テンプレートで、名前によってコンテンツ アイテムを参照している場合、手動でその参照を更新する必要があります。

8 コンテンツの発行および期限切れの設定

コンテンツの発行は、コンテンツ アイテムをウェブ ページとしてエンドユーザーに提供することを可能にします。Publisher では以下のことを実行できます。

- 発行済みコンテンツ ポートレット、ポータルナレッジ ディレクトリ、または外部のウェブ サイトへのコンテンツ アイテムの発行。
- コンテンツ アイテムの即時発行または設定した日付での発行。
- コンテンツ アイテム発行前のプレビューによるレイアウトの確認、およびプレゼンテーション テンプレートが正常に機能していることの確認。

Publisher クローラを使用すると、コンテンツ アイテムをポータル ナレッジ ディレクトリに発行することもできます。

発行済みコンテンツ アイテムをウェブ サーバーから削除したい場合は、期限切れを設定することができます。これにより、ウェブ サーバーからコンテンツ アイテムが削除されますが、Publisher のディレクトリには保存されたままになります。発行済みコンテンツ アイテムは、すぐに期限切れにするか、あるいは期限切れになる日付を設定することができます。

この章では、コンテンツの発行の概要を説明します。以下の項目の手順について説明します。

- [「コンテンツ アイテムの発行」](#)
- [「発行済みコンテンツ アイテムの期限切れの設定」](#)

発行について

コンテンツ アイテムを発行すると、Publisher は、以下のタスクを実行します。

- プレゼンテーション テンプレートに従ったコンテンツ アイテムのフォーマット。
- コンテンツ アイテムの Publisher フォルダに割り当てられている発行ターゲットに指定されているウェブ サーバーのディレクトリへのフォーマットされたファイルの格納。
- 検索インデックスへのコンテンツ アイテムの追加。
- ポータルナレッジ ディレクトリへのコンテンツ アイテムの発行 (指定した場合)。
- コンテンツ アイテムに含まれているイメージまたはファイルの発行 (以下のいずれかの条件を満たしている場合)。
 - ファイルが、コンテンツ アイテムのファイル プロパティまたはイメージ プロパティに格納されており、プレゼンテーション テンプレートの中で適切な pcs タグによってそれらを参照している場合。
 - ファイルが、イメージ ファイルで、長いテキスト プロパティ タイプの中のイメージのアップロード オプションによってアップロードされた場合。



注意：編集者以上の役割を持つユーザーが、長いテキスト プロパティ タイプのイメージのアップロード オプションを使用して、イメージ ファイルをアップロードした場合、コンテンツ アイテムを発行した際にイメージ ファイルが自動的に発行されます。提出者または寄稿者の役割を持つユーザーが、発行済みコンテンツ ポートレットを通してコンテンツ アイテムを作成し、上記と同

じ方法でイメージ ファイルをアップロードした場合、イメージ ファイルはコンテンツ アイテムと同時に発行されません。この場合、イメージ ファイルを個別に発行する必要があります。

- アイテム プロパティまたはリスト プロパティで参照されているコンテンツ アイテムの発行 (プレゼンテーション テンプレートの [発行する関連アイテム] リストにアイテムが含まれている場合)。
- 参照されている発行済みコンテンツ アイテム (プレゼンテーション テンプレートの [発行する関連アイテム] リストに定義されているもの) の再発行。例えば、ニュース ポートレットにニュース記事を発行した場合、コンテンツ アイテムを追加するためにインデックス ページおよびメイン ページが再発行されます。



注意: ファイルであるコンテンツ アイテムは、プレゼンテーション テンプレートによってフォーマットされずに発行されます。また、個別に発行することが可能なプレゼンテーション テンプレート は、コンテンツ アイテムなしで発行されます。発行済みファイル コンテンツ アイテムのフォーマット は、ファイル コンテンツ アイテムそのものによって決定されます。また、発行済みプレゼンテーション テンプレートのフォーマットは、プレゼンテーション テンプレート エディタで定義されたとおり、プレゼンテーション テンプレート そのものによって決定されます。両方の場合、発行ターゲット (ポータル サーバーまたは他のウェブ サーバーによってアクセスされる発行済みファイルの場所) は Publisher フォルダによって決定されます。

プレゼンテーション テンプレートに関する詳細については、第 10 章、「プレゼンテーション テンプレートの作成」を参照してください。

発行ターゲットに関する詳細については、[4-11 ページの「発行ターゲットおよびプレビュー サイトの設定」](#)を参照してください。

ファイル コンテンツ アイテムに関する詳細については、[7-9 ページの「ファイル コンテンツ アイテムのアップロードおよび管理」](#)を参照してください。

イメージ ファイルが正しく発行されるように Publisher で管理する方法については、[7-6 ページの「コンテンツ アイテム エディタからのファイルおよびイメージの挿入および管理」](#)を参照してください。

コンテンツ アイテムの発行

この節では、コンテンツの発行の条件について説明します。以下の項目の手順について説明します。

- Publisher エクスプローラを使用したコンテンツの発行
- コンテンツ アイテム エディタを使用したコンテンツの発行
- 発行および期限切れのスケジュール設定
- コンテンツ アイテム エディタおよび Publisher を使用したナレッジ ディレクトリへの発行
- Publisher クローラを使用したナレッジ ディレクトリへの発行
- 外部ウェブ サイトへの発行

発行の必要条件

コンテンツ アイテムを発行するには、以下の条件を満たしている必要があります。

- コンテンツ アイテムの Publisher フォルダに対して発行ターゲットが設定されている。発行ターゲットとは、発行済みコンテンツ アイテムが格納されるウェブ サーバー上の場所です。

発行ターゲットの設定に関する詳細については、[4-11 ページの「発行ターゲットおよびプレビュー サイトの設定」](#)を参照してください。

- Publisher フォルダに対して編集者以上の役割が割り当てられている。
- コンテンツ アイテムが、ワークフローに含まれている場合、発行が許可されているワークフロー アクティビティに含まれている。
- コンテンツ アイテムのフォルダにワークフローが設定されていて、コンテンツ アイテムがワークフローに提出されていない場合、そのフォルダの [フォルダのワークフロー プロパティ] ページで、[ワークフロー内にはコンテンツ アイテムの発行を可能にする] オプションが選択されている。

フォルダ レベルに対するワークフロー オプションの詳細については、[5-5 ページの「フォルダへのワークフローの添付」](#)を参照してください。

- コンテンツ アイテムには、完全なページを発行するように設定されているプレゼンテーション テンプレートを使用する。ファイル コンテンツ アイテムには、プレゼンテーション テンプレートは必要ありません。

Publisher エクスプローラを使用したコンテンツの発行

Publisher エクスプローラを使用すると、コンテンツ アイテムを個別に発行するか、フォルダ単位で発行するか、または複数選択して発行することができます。

コンテンツ アイテムを発行するには次の手順を実行します。

1. コンテンツ アイテムを右クリックし、[**発行**] をクリックします。
2. 確認メッセージ ボックスで、[**OK**] をクリックします。発行が完了すると、通知ダイアログが表示されます。

フォルダ内のすべてのコンテンツ アイテムを発行するには次の手順を実行します。

1. フォルダを右クリックし、[**発行**] をクリックします。
2. 確認メッセージ ボックスで、[**OK**] をクリックします。発行が完了した際、または例外が発生した場合に通知ダイアログが表示されます。

複数の連続したコンテンツ アイテムまたはフォルダを発行するには次の手順を実行します。

1. 最初のアイテムまたはフォルダのアイコンをクリックします。
2. [**Shift**] を押したままにします。
3. 最後のアイテムまたはフォルダのアイコンをクリックします。
4. 選択されている部分の任意の場所を右クリックし、[**発行**] をクリックします。
5. 確認メッセージ ボックスで、[**OK**] をクリックします。

複数の連続しないコンテンツ アイテムまたはフォルダを発行するには次の手順を実行します。

1. [**Ctrl**] を押したままにします。
2. 各アイテムまたはフォルダのアイコンをクリックします。
3. 選択されている部分の任意の場所を右クリックし、[**発行**] をクリックします。
4. 確認メッセージ ボックスで、[**OK**] をクリックします。

コンテンツ アイテム エディタを使用したコンテンツの発行

コンテンツ アイテム エディタでは、アクション バーで、[**発行**] をクリックすることによって、発行可能状態であるコンテンツ アイテムを発行することができます。

また、コンテンツ アイテム エディタの **[発行情報]** ページを使用して、発行済みファイルの名前の変更、(**[発行スケジュール]** ページでは) 発行スケジュールの作成、(**[ディレクトリへ発行]** ページでは) 発行ターゲットのポータルナレッジディレクトリ フォルダの指定、コンテンツ アイテムの期限切れの設定、期限切れの解除等を行うことができます。

詳細については、[7-2 ページの「コンテンツ アイテム エディタの使用法」](#)を参照してください。

発行および期限切れのスケジュール設定

コンテンツ アイテム エディタからは、コンテンツ アイテムの発行および期限切れのスケジュールを設定することができます。Publisher エクスプローラからは、コンテンツ アイテムまたはフォルダの発行および期限切れのスケジュールを設定することができます。両方の場合、**[発行スケジュール]** ページを使用してスケジュールを作成します。

Publisher エクスプローラから **[発行スケジュール]** ページにアクセスするには、コンテンツ アイテムまたはフォルダを右クリックし、**[スケジュール]** を選択します。

コンテンツ アイテム エディタから **[発行スケジュール]** ページにアクセスするには次の手順を実行します。

1. 左側のメニューの **[発行]** の下の **[情報]** をクリックし、**[発行情報]** ページを開きます。
2. **[発行情報]** アクション バーの **[スケジュール]** ボタンをクリックします。

[発行スケジュール] ページを使用して発行スケジュールを作成または編集するには次の手順を実行します。

- **[次のスケジュールされた発行]** の下で、発行オプションを選択します。発行は、毎日または毎週、指定した時間に行われるようにスケジュールすることができます。または、特定の日付および時間に行われるようにスケジュールすることもできます。
- 発行スケジュールをキャンセルするには、**[スケジュールが設定されていません]** をクリックします。

[発行スケジュール] ページを使用して期限切れのスケジュールを作成または編集するには次の手順を実行します。

- **[有効期限]** の下で、コンテンツ アイテムを期限切れにする日付および時間を設定します。
- 期限切れのスケジュールをキャンセルするには、**[スケジュールが設定されていません]** をクリックします。



注意: フォルダに対して発行スケジュールを設定した場合、設定された日付までに、ワークフロー内で発行可能アクティビティに到達したコンテンツ アイテムのみが発行されます。

また、**[発行スケジュール]** ページでは、設定されたスケジュールに従ってコンテンツ アイテムまたはフォルダが最後に発行された時間が表示されます。

期限切れに関する詳細については、[8-7 ページの「発行済みコンテンツ アイテムの期限切れの設定」](#)を参照してください。

コンテンツ アイテム エディタまたは Publisher エクスプローラを使用したナレッジ ディレクトリへのコンテンツ アイテムの発行

[ナレッジディレクトリへ発行] ページを通して、ポータルのナレッジディレクトリに発行済みコンテンツ アイテムへのリンクを作成することができます。ポータルのナレッジディレクトリに発行したコンテンツ アイテムは、インデックスされ、ポータル ナレッジディレクトリのフォルダ構造内に表示されます。

Publisher エクスプローラおよびコンテンツ アイテム エディタの両方から **[ナレッジディレクトリへ発行]** ページにアクセスすることができます。



重要: [ナレッジ ディレクトリへ発行] ページを使用してナレッジ ディレクトリに発行されたコンテンツ アイテムは、期限切れとなるようにコンテンツ アイテムを設定してもナレッジ ディレクトリから削除されません。該当ドキュメントの削除はナレッジ ディレクトリから手動で行う必要があります。コンテンツ アイテムを Publisher クローラを使用してナレッジ ディレクトリに発行すると、期限切れとなったコンテンツ アイテムをナレッジ ディレクトリから手動で削除する必要がありません。クローラを設定すると、関連するコンテンツ アイテムが期限切れとなった場合に、ナレッジ ディレクトリのドキュメントを削除できません。詳細については、[8-5 ページの「Publisher クローラを使用したナレッジ ディレクトリへのコンテンツ アイテムの発行」](#)を参照してください。

Publisher エクスプローラから [ナレッジ ディレクトリへ発行] ページにアクセスするには、コンテンツ アイテムを右クリックし、[ディレクトリへ発行] を選択します。

コンテンツ アイテム エディタから [ナレッジ ディレクトリへ発行] ページにアクセスするには次の手順を実行します。

1. 左側のメニューの [発行] の下の [情報] をクリックし、[発行情報] ページを開きます。
2. [発行情報] アクション バーの [ディレクトリ] ボタンをクリックします。

[ナレッジ ディレクトリへ発行] ページを使用して、コンテンツ アイテムをナレッジ ディレクトリに発行するには次の手順を実行します。

1. [宛先フォルダ] グループ ボックスで、[参照] をクリックし、[フォルダの追加] ダイアログを開きます。
2. 発行ターゲットのナレッジ ディレクトリ フォルダを選択し、[OK] をクリックします。

複数のナレッジ ディレクトリ フォルダを選択することが可能です。複数選択した場合は、各フォルダにコンテンツ アイテムが発行されます。



注意: ポータルのセキュリティ設定で、編集または管理アクセス権限のあるナレッジ ディレクトリ フォルダのみが選択できるようになっています。ポータル セキュリティの詳細については、『Plumtree Foundation 管理者用ガイド』を参照してください。

3. ナレッジ ディレクトリに表示されるコンテンツ アイテムの名前を変更したり、説明を追加したりするには、[ドキュメント プロパティ] グループ ボックスで、[デフォルトの上書き] を選択し、ドキュメント名およびドキュメントの説明を入力してください。

デフォルトを上書きしなかった場合、Publisher は、ファイルがインデックスされる度に、自動的に名前および概要説明を設定し、ナレッジ ディレクトリを更新します。デフォルトを上書きした場合、ここで入力した名前および説明が常に使用されます。

4. [終了] をクリックします。

発行済みドキュメントは、ポータル ユーザーに提供される前に、ポータルの管理者によって承認する必要があります。ポータルのセキュリティ設定で、管理アクセス権限を持っている場合は、ドキュメントは自動的に承認されます。



重要: Publisher ドキュメントをポータルのナレッジ ディレクトリに発行するには、ポータルの管理者がポータルのウェブ サービス サーバー (SOAP サーバー) を既にインストールしている必要があります。詳細については、『Plumtree Foundation インストールガイド』を参照してください。

Publisher クローラを使用したナレッジ ディレクトリへのコンテンツ アイテムの発行

ポータル コンテンツ管理者は、Publisher クローラのコンテンツ ソースを使用して、Publisher フォルダのコンテンツ アイテムをポータルのナレッジ ディレクトリにインポートするクローラを作成できます。この方法は、複数

のコンテンツ アイテムをナレッジ ディレクトリにインポートする場合に推奨されます。これは、ナレッジ ディレクトリから期限切れコンテンツ アイテムを自動的に削除する唯一の方法です。

他のクローラ同様、Publish クローラには、関連付けられたジョブがある必要があります。ジョブを自動的に実行するには、Automation Service を設定する必要があります。

Publisher クローラを作成するには次の手順を実行します。

1. ポータルの**管理**ディレクトリを開きます。
2. 管理フォルダを開きます。
3. [オブジェクトの作成] メニューで、[クローラ - リモート] をクリックします。
4. [コンテンツ ソースの選択] ダイアログ ボックスで、[Publisher Crawler] を選択して [OK] をクリックします。
5. コンテンツ クローラ エディタの [Main Settings - Content Source: Publisher Crawler] ページで以下を選択します。

- [ソース フォルダ]: ナレッジ ディレクトリに発行するコンテンツ アイテムの Publisher フォルダ。

表示され、選択できるフォルダは、現在の役割によって異なります。

- [宛先フォルダ]: コンテンツ アイテムの発行先ナレッジ ディレクトリ フォルダ。
- [ソース フォルダの構造をミラーリングする]: 選択すると、ナレッジ ディレクトリ フォルダ構造が、ソース Publisher フォルダの階層と完全に同じになります。

注意: ミラーリングすることによって、必要に応じてクロールされたすべてのファイルを期限切れするように設定するクローラを作成できるため、この設定が推奨されます。

- [宛先フォルダのフィルタを適用]: 選択すると、ナレッジ ディレクトリ フォルダに割り当てられたフィルタリング ルールを満たすコンテンツ アイテムのみがインポートされます。これは、ミラーリングを選択していない場合にのみ選択できます。
- [各ドキュメントと一緒にセキュリティ情報をインポートする]: 選択すると、Publisher フォルダのセキュリティ ルールを宛先フォルダに渡します。
- [ドキュメントのアクセス権限]: インポートされるドキュメントのアクセス権を指定します。

このページで利用できるオプションの詳細については、Plumtree Foundation のオンライン ヘルプを参照してください。

6. [クロール オプション] ページで、ナレッジ ディレクトリに対してクロールする Publisher フォルダ階層の最大レベル数を選択します。

まだ発行されていないコンテンツ アイテムを発行するかどうかを選択できます。

7. [ドキュメント設定] ページで、クローラの実行時にドキュメントを期限切れにする方法および更新する方法を指定します。

[これらの設定を、このクローラが作成した既存のドキュメントに適用] オプションを選択して [ドキュメントの有効期限] 設定を使用すると、このクローラで既にクロールされているすべてのドキュメントを削除できます。

[ドキュメント設定] ページの詳細については、Plumtree Foundation のオンライン ヘルプを参照してください。

8. [コンテンツ タイプ] ページで、ナレッジ ディレクトリにインポートされたドキュメントにコンテンツ タイプを割り当てる方法を指定します。

コンテンツ タイプの詳細については、『Plumtree Foundation 管理者用ガイド』または Plumtree Foundation のオンライン ヘルプを参照してください。

9. [詳細設定] ページで、ランタイム設定、ナレッジ ディレクトリに対して既にクロールされたドキュメントの処理、クローラによって拒否されたドキュメントの処理、およびコンテンツの言語の設定を選択します。

クローラ設定の詳細については、Plumtree Foundation のオンライン ヘルプを参照してください。

10. [ジョブの設定] ページで、このクローラを実行するジョブを割り当てるか作成します。

ジョブは、Automation Service にも登録する必要があります。

クローラ ジョブの設定に関する詳細については、『Plumtree Foundation 管理者用ガイド』または Plumtree Foundation のオンライン ヘルプを参照してください。

外部ウェブ サイトへの発行

Publisher からネットワークまたはインターネットを通じてアクセスできるいかなるウェブ サーバーにもコンテンツ アイテムを発行することができます。

外部のウェブ サイトにコンテンツ アイテムを発行するには、管理者がサイトの場所を発行ターゲットとして設定する必要があります。発行ターゲットの設定に関する詳細については、[4-11 ページの「発行ターゲットおよびプレビュー サイトの設定」](#)を参照してください。

発行済みコンテンツ アイテムの期限切れの設定

この節では、コンテンツの期限切れに関する概要を説明します。以下の項目の手順について説明します。

- コンテンツ アイテムの期限切れの設定
- 期限切れの解除

期限切れについて

コンテンツ アイテムの期限切れを設定すると、Publisher は、発行済みコンテンツ ファイル、それとともに発行されたイメージ ファイルおよびファイル プロパティを発行ターゲットおよび検索インデックスから削除します。ユーザーは、期限切れになったコンテンツ アイテムをポータルで確認することはできません。また、期限切れになったコンテンツ アイテムに対する検索結果を得ることができません。しかし、コンテンツ アイテム自体は Publisher から削除されません。発行が中止されるだけです。

フォルダおよびフォルダの中のサブフォルダを含むすべてのコンテンツの期限切れを設定することができます。



注意 : コンテンツ アイテムまたはフォルダの期限切れを設定する、あるいは期限切れを解除するには、Publisher に対し、編集者以上の役割を持つ必要があります。

コンテンツ アイテムの期限切れを設定すると、Publisher は以下のイベントも同時に実行します。

- 期限切れになったコンテンツ アイテムに関連しているコンテンツ アイテムの再発行 (コンテンツ アイテムのプレゼンテーション テンプレートに定義されている通り)。例えば、ニュース記事の期限切れを設定した場合、Publisher は、インデックスおよびメイン ページのコンテンツ アイテムを再発行します。期限切れになったアイテムは、インデックスおよびメイン ページに表示されなくなります。

- 期限切れになったアイテムに対してスケジュールされている発行タスクの中止。
- 期限切れになったコンテンツ アイテムのデータ入力テンプレートに、他のコンテンツ アイテムのリスト プロパティへの自動挿入が指定されている場合、そのリストからの期限切れになったコンテンツ アイテムの削除。



注意: Publisher エクスプローラまたはコンテンツ アイテム エディタから [ナレッジ ディレクトリへ発行] ページを使用してナレッジ ディレクトリにコンテンツ アイテムを発行した場合、それらのドキュメントは、期限切れとなるようにコンテンツ アイテムを設定してもナレッジ ディレクトリから削除されません。コンテンツ アイテムを Publisher クローラを使用してナレッジ ディレクトリに発行すると、期限切れとなったコンテンツ アイテムをナレッジ ディレクトリから手動で削除する必要があります。クローラを設定すると、関連するコンテンツ アイテムが期限切れとなった場合に、ナレッジ ディレクトリのドキュメントを削除できます。詳細については、[8-5 ページの「Publisher クローラを使用したナレッジ ディレクトリへのコンテンツ アイテムの発行」](#)を参照してください。

コンテンツ アイテムの期限切れの設定

Publisher では、以下の方法でコンテンツを期限切れにすることが可能です。

- Publisher エクスプローラから、発行済みコンテンツ アイテムまたはフォルダがすぐに期限切れになるように設定する方法。
- コンテンツ アイテム エディタから、発行済みコンテンツ アイテムまたはフォルダがすぐに期限切れになるように設定する方法。
- [発行スケジュール] ページを使用してコンテンツ アイテムの期限切れのスケジュールを作成する方法。

Publisher エクスプローラから、コンテンツ アイテムまたはフォルダがすぐに期限切れになるように設定するには次の手順を実行します。

1. Publisher エクスプローラのテーブル枠で、フォルダまたはコンテンツ アイテムを右クリックし、[期限切れに設定] をクリックします。

[Shift] または [Ctrl] を使用し、複数のコンテンツ アイテムまたはフォルダを選択して期限切れに設定することができます。

2. [OK] をクリックします。
3. [閉じる] をクリックします。

テーブル枠の [進行状況] 列には、コンテンツ アイテムが期限切れになったことを示す [期限切れ] アイコンが表示されます。

コンテンツ アイテム エディタから、発行済みコンテンツ アイテムまたはフォルダがすぐに期限切れになるように設定するには次の手順を実行します。

1. 左側のメニューの [発行] の下の [情報] をクリックし、[発行情報] ページを開きます。
2. 発行情報アクション バーの [期限切れに設定] ボタンをクリックします。
3. 確認メッセージ ボックスで、[OK] をクリックします。
4. [期限切れに設定] ボタンが [期限切れを元に戻す] ボタンに替わり、コンテンツ アイテムが期限切れになったことを示します。
5. [終了] をクリックします。

コンテンツ アイテムに対して期限切れのスケジュールを設定する方法については、[8-4 ページの「発行および期限切れのスケジュール設定」](#)を参照してください。

期限切れの解除

期限切れになっているコンテンツ アイテムを再度発行するには、まず期限切れを解除する必要があります。期限切れを解除すると、Publisher は以下のイベントを実行します。

- コンテンツ アイテムを自動的に発行し、関連するすべてのコンテンツ アイテムを再発行する。例えば、ニュース記事の期限切れを解除すると、記事は、ニュース ポートレットのインデックス ページおよびメイン ページに再度表示されます。
- 検索インデックスへコンテンツ アイテムを追加する。
- コンテンツ アイテムのデータ入力テンプレートに、他のコンテンツ アイテムのリスト プロパティへの自動挿入が指定されている場合、期限切れが設定されたコンテンツ アイテムをそのリストに戻す。



注意: アイテムの期限切れを解除しても、ナレッジ ディレクトリ への再発行は行われません。ナレッジ ディレクトリ への再発行は、[ナレッジ ディレクトリ へ発行] ページを使用して個別に行う必要があります。

Publisher エクスプローラおよびコンテンツ アイテム エディタの両方からコンテンツ アイテムの期限切れを解除できます。

Publisher エクスプローラを使用して期限切れを解除するには次の手順を実行します。

1. Publisher エクスプローラのテーブル枠で、フォルダまたはコンテンツ アイテムを右クリックし、[期限切れを元に戻す] をクリックします。
[Shift] または [Ctrl] を使用し、複数のコンテンツ アイテムまたはフォルダを選択して期限切れを解除することができます。
2. [OK] をクリックします。
3. [閉じる] をクリックします。

テーブル枠の [進行状況] 列には、コンテンツ アイテムが再発行されたことを示す [発行済み] アイコンが表示されます。

コンテンツ アイテム エディタを使用して期限切れを解除するには次の手順を実行します。

1. 左側のメニューの [発行] の下の [情報] をクリックし、[発行情報] ページを開きます。
2. 発行情報アクション バーの [期限切れを元に戻す] ボタンをクリックします。
3. 確認メッセージ ボックスで、[OK] をクリックします。
4. [期限切れを元に戻す] ボタンが [期限切れに設定] ボタンに切り替わり、コンテンツ アイテムの期限切れが解除されたことを示します。また、アクション バーの [発行] ボタンが有効になります。
5. [終了] をクリックします。

9 データ入力テンプレートの作成

データ入力テンプレートには、コンテンツ アイテムを作成するために使用できるフィールドを定義するプロパティが含まれています。データ入力テンプレートを使用してコンテンツ アイテムを作成または編集した場合、これらのプロパティは、テキストボックス、選択リスト、ファイルをダウンロードするためのフィールド、ブール型のラジオ ボタンといった編集可能なフィールドとしてコンテンツ アイテム エディタに表示されます。コンテンツ アイテムを発行すると、Publisher は、プロパティ値がどのようにエンド ユーザーに表示されるかを定義する関連付けられたプレゼンテーション テンプレートを使用します。

データ入力テンプレートの作成および設定は、製作者以上の役割を持つユーザーが行うことができます。

この章では、データ入力テンプレートの概要について説明し、データ入力テンプレートを作成および編集する方法を説明します。

データ入力テンプレートについて

この節では、データ入力テンプレートの概要を説明します。以下の項目の手順について説明します。

- [「データ入力テンプレートに使用できるプロパティ タイプ」](#)
- [「提供データ入力テンプレート」](#)

概要

ウェブ サイトを構成するほとんどのページは、いくつかの少数のカテゴリに分類することができます。数百ページを持つ大規模な E コマース サイトでも、ホームページ、およびカタログのリスト、週間特集、ニュース リリース、採用情報といった少数のカテゴリにグループ分けされています。各カテゴリ内のウェブ ページには同じデザインが使用されており、コンテンツの内容も類似しています。例えば、1 つの採用情報は、他の採用情報と同じ外観を持っており、同じ種類の情報が含まれています。

これらのウェブ ページの各カテゴリに対してデータ入力テンプレートを作成することができます。例えば、カタログ リスト用のデータ入力テンプレート、採用情報用のデータ入力テンプレート等を作成することができます。各データ入力テンプレートでは、そのカテゴリ内のすべてのウェブ ページに表示する情報の種類を指定します。その後、寄稿者は、これらのデータ入力テンプレートを使用して、これらのウェブ ページに対するコンテンツ アイテムを作成したり、コンテンツを入力したりすることが可能になります。

データ入力テンプレートを作成するには、プロパティを構築します。ウェブ ページの中の各変動コンポーネントに対して 1 つのプロパティを作成します。例えば、採用情報用のデータ入力テンプレートには、仕事の名前、採用マネージャー、責任範囲、応募資格、給与範囲、および開始日などのプロパティを含めることができます。

プロパティを作成する際に、各プロパティが保持する情報の種類を指定するプロパティ タイプを割り当てます。プロパティ タイプには、テキスト、長いテキスト、整数、日付、アイテム (他のコンテンツ アイテムの参照)、イメージ、ファイル、リスト、選択リスト、実数、およびブール値があります。

例えば、採用情報用のデータ入力テンプレートには、次のプロパティおよびタイプを含めることができます。

表 9-1: 例: データ入力テンプレートのプロパティおよびタイプ (採用情報の場合)

プロパティ 名	プロパティ タイプ
仕事の名前	テキスト
責任範囲	長いテキスト
応募資格	長いテキスト
採用マネージャー	選択リスト
給与範囲	選択リストまたはテキスト
開始日	日付

データ入力テンプレートに使用できるプロパティ タイプ

データ入力テンプレートのプロパティには以下のプロパティ タイプを使用することができます。

- テキスト
- 長いテキスト
- 整数
- 日付
- アイテム
- リスト
- イメージ
- ファイル
- 選択リスト
- 実数
- ブール値

この節では各プロパティ タイプおよびその使用方法について説明します。

テキスト

ユーザーがプレーン テキストを入力できるようにします。入力文字数は、プレーン テキストで 255 文字以下の任意の文字数に制限できます。

以下の例では、必須フィールドにした場合の赤いアスタリスクも示しています。データ入力テンプレート エディタでは、任意のプロパティを必須フィールドとして設定できます。

図 9-1: コンテンツ アイテム エディタに表示されるテキスト プロパティ タイプのフィールドの例



長いテキスト

リッチ テキスト エディタが提供され、ユーザーは、書式付のテキスト、イメージ、表、番号付きリストまたは箇条書きリスト、ハイパーリンク、HTML、およびポータル トランスフォーマー タグを入力することが可能になります。プレーン テキストの入力のみを許可するようにテキスト ボックスを制限することも可能です。プレーン テキストのオプションを使用した場合は、入力の長さを制限することができます。

図 9-2: コンテンツ アイテム エディタに表示される長いテキスト プロパティ タイプのフィールドの例



注意: Netscape ブラウザでは、このフィールドは、簡素な長いテキスト フィールドとして表示されます。ユーザーは、フィールドの中にテキスト および HTML フォーマット タグを入力することができます。

整数

ユーザーが整数を入力できるようにします。ユーザーがこのフィールドにテキストを入力した場合、「入力が無効」というエラーが発生します。ユーザーが整数を入力するように、説明文を追加することをお奨めします。

図 9-3: コンテンツ アイテム エディタに表示される整数プロパティ タイプのフィールドの例

実数

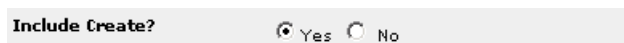
ユーザーが整数または小数を入力できるようにします。ユーザーがこのフィールドにテキストを入力した場合、「入力が無効」というエラーが発生します。ユーザーが数字を入力するように、説明文を追加することをお奨めします。

図 9-4: コンテンツ アイテム エディタに表示される実数プロパティ タイプのフィールドの例

ブール値

ユーザーが、「はい」 / 「いいえ」、または「真」 / 「偽」の質問に答えることを可能にします。

図 9-5: コンテンツ アイテム エディタに表示されるブール値プロパティ タイプのフィールドの例



日付

ユーザーが日付を入力するか、あるいはポップアップ カレンダー コントロールから日付を選択し、ドロップダウン リストから時間を選択できるようにします。

図 9-6: コンテンツ アイテム エディタに表示される日付プロパティ タイプのフィールドの例



アイテム

ユーザーが新しいコンテンツ アイテムを作成するか、既存のコンテンツ アイテムを選択できるようにします。このコンテンツ アイテムは、データ入力テンプレートから作成されたコンテンツ アイテム内に表示されます。アイテム プロパティは、Publisher 内の任意のコンテンツ アイテムへの参照です。プレゼンテーション テンプレートからは、このプロパティを使用して、参照アイテムのプロパティにアクセスしたり、参照アイテムへのリンクを作成したり、参照アイテムの発行済みコンテンツを発行されるアイテムのボディに挿入することができます。

ユーザーは、コンテンツ アイテムをクリックすることによって、コンテンツ アイテム エディタの新しいウィンドウで、そのコンテンツ アイテムを開くことができます。また、アイテムの横の「+」をクリックすることによって、アイテムの内容をアイテム名の真下の行に表示することができます。

図 9-7: コンテンツ アイテム エディタに表示されるアイテム プロパティ タイプのフィールドの例

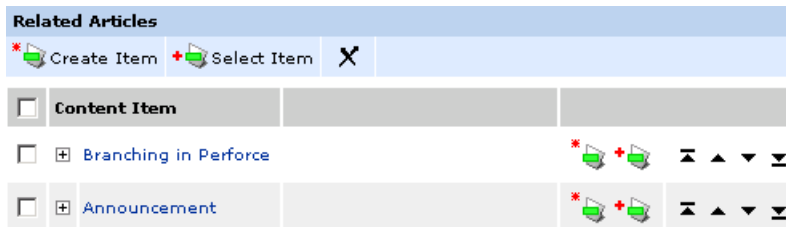


リスト

ユーザーが、データ入力テンプレートから作成されたコンテンツ アイテムに複数のコンテンツ アイテムを追加できるようにします。発行済みコンテンツ アイテムには、コンテンツ アイテム エディタに指定したのと同じ順番でアイテムのリストが表示されます。右側にある上下の矢印を使用してリストの順番を変更することもできます。ツール バーの [アイテムの作成] ボタンを使用して新しいアイテムを作成した場合、まずデータ入力テンプレート

を選択するように指示されます。リスト内のアイテムの右側にある [アイテムの作成] アイコンを使用して新しいアイテムを作成した場合は、リストのアイテムと同じデータ入力テンプレートが使用されます。

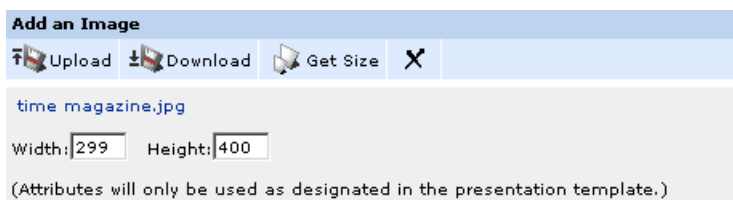
図 9-8: コンテンツ アイテム エディタに表示されるリスト プロパティ タイプのフィールドの例



イメージ

ユーザーがローカル ドライブまたは共有ネットワーク ドライブからイメージをアップロードできるようにします。

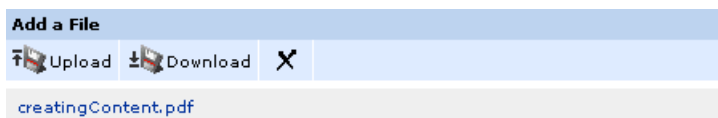
図 9-9: コンテンツ アイテム エディタに表示されるイメージ プロパティ タイプのフィールドの例



ファイル

ユーザーがローカル ドライブまたは共有ネットワーク ドライブからファイルをアップロードできるようにします。

図 9-10: コンテンツ アイテム エディタに表示されるファイル プロパティ タイプのフィールドの例



選択リスト

選択リストは、フィールドの入力を特定の値に制限します。固定の入力値のリストを定義し、ユーザーがその中の値を選択できるようにします。選択リストを使用することによって、ユーザーの入力を統一させ、入力間違い等を防ぐことができます。ユーザーの入力データの統一性を確保することによって、プレゼンテーション テンプレートの作成者は、プロパティの値を用いて条件分岐を行い、発行時に必要なコンテンツを含めることが可能になります。

選択リストをデータ入力テンプレートに追加するには、まずそのリストを作成する必要があります。選択リストは、[選択リスト] ページから作成することができます。選択リストは、複数のデータ入力テンプレートの間で共

有できます。ユーザーが複数のアイテムを選択できるかどうかは、データ入力テンプレート エディタで指定できます。

図 9-11: コンテンツ アイテム エディタに表示される選択リスト プロパティ タイプのフィールドの例

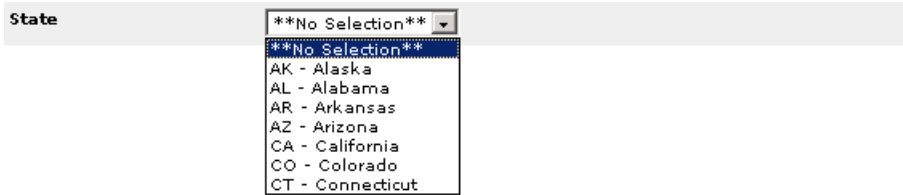


図 9-12: 複数の選択が可能な選択リスト プロパティ タイプ フィールドの例



選択リストの定義

- 選択リストを定義するには次の手順を実行します。
1. Publisher エクスプローラを開き、選択リストを作成するフォルダを選択します。
 2. [新規 | 選択リスト] をクリックし、[選択リスト] ページを開きます。
 3. 選択リストを識別するための [名前] を入力します。リストに含まれるデータの種類が分かるような名前にすることを奨めます。
 4. 選択リストの値を入力します。各入力値の最大の長さは、255 文字です。
値の名前の右側にあるアイコンを使用して、値の順番を入れ替えることができます。
 5. 完了したら、[保存]、次に [閉じる] をクリックします。

提供データ入力テンプレート

Publisher には、提供コンテンツ ポートレット テンプレートが用意されています。これらのテンプレートを使用し、ポートレット エディタおよびポートレット設定ウィザードから発行済みコンテンツ ポートレットおよびブランディング ポートレットを作成することができます。これらのポートレット テンプレートには、新しい発行済みコンテンツ ポートレットまたはブランディング ポートレットを作成した際にシステムが自動的にコピーするデータ入力テンプレートが含まれています。これらのデータ入力テンプレートは、そのまま使用するか、企業独自の用語やコンテンツのニーズに適合するようにカスタマイズすることができます。以下の表は、各ポートレット テンプレートとともに提供されるデータ入力テンプレートおよびそれらのプロパティ フィールドを示します。

表 9-2: ポートレット タイプ別の提供データ入力テンプレート

ポートレット タイプ	データ入力テンプレート : プロパティ フィールド
お知らせ	お知らせ : お知らせ (長いテキスト)

表 9-2 : ポートレット タイプ別の提供データ入力テンプレート

ポートレット タイプ	データ入力テンプレート : プロパティ フィールド
コミュニティ ディレクトリ	<p>ハウツー記事: タイトル (テキスト)、概要 (長いテキスト)、情報 (長いテキスト)、非表示 (ブール値)</p> <p>インデックス: 記事非表示 (ブール値)</p> <p>情報記事: タイトル (テキスト)、概要 (長いテキスト)、情報 (長いテキスト)、非表示 (ブール値)</p> <p>メイン ページ: 編集 (ブール値)、作成 (ブール値)、削除 (ブール値)、検索 (ブール値)</p> <p>問題記事: タイトル (テキスト)、概要 (長いテキスト)、原因 (長いテキスト)、解決法 (長いテキスト)、問題 (長いテキスト)、情報 (長いテキスト)、記事非表示 (ブール値)</p>
ニュース	<p>インデックス: アイテム (リスト)</p> <p>メイン ページ: 編集 (ブール値)、作成 (ブール値)、削除 (ブール値)、検索 (ブール値)、最大アイテム数 (整数)</p> <p>ニュース記事: 見出し (テキスト)、要約 (テキスト)、本文 (長いテキスト)、記事非表示 (ブール値)</p>
コンテンツ キャンバス	コンテンツ キャンバス : テキスト (長いテキスト)
ヘッダ	ヘッダ : テキスト (長いテキスト)
フッタ	フッタ : テキスト (長いテキスト)

上記すべてには、名前プロパティも含まれています。

データ入力テンプレートの作成および編集

新しいデータ入力テンプレートを作成したり、提供データ入力テンプレートを設定したりするには、データ入力テンプレート エディタを使用します。この節では、以下の方法について説明します。

- データ入力テンプレート エディタの起動
- データ入力テンプレート エディタの使用
- データ入力テンプレートのコピー、移動、名前の変更、および削除



注意: データ入力テンプレートの仕組みを習得する最も容易な方法は、発行済みコンテンツ ポートレットを作成する際に、提供データ入力テンプレートを設定することです。提供テンプレートから発行済みコンテンツ ポートレットを作成および設定する方法については、[第 6 章、「発行済みコンテンツ ポートレットの作成」](#)を参照してください。

データ入力テンプレート エディタの起動

データ入力テンプレート エディタは、Publisher エクスプローラ、ポートレット設定ウィザード、およびプレゼンテーション テンプレート エディタから開くことができます。Publisher エクスプローラからデータ入力テンプレ

ト エディタを開いた場合にのみ、新しいテンプレートの作成および既存テンプレートの編集の両方を行うことができます。他から開いた場合は、既存テンプレートの編集のみ行うことができます。

Publisher エクスプローラからデータ入力テンプレート エディタを開くには次のいずれかを行ってください。

- [**新規 | データ入力テンプレート**] をクリックする。
- Publisher エクスプローラの右枠内で右クリックし、[**新規 | データ入力テンプレート**] をクリックする。
- 既存のデータ入力テンプレートを右クリックし、[**データ入力テンプレートの編集**] を選択する。

ポートレット設定ウィザードからデータ入力テンプレート エディタを開くには、データ入力テンプレートを含むオブジェクト カテゴリの任意の [オブジェクトの編集] ページで、テンプレート名の横の [**編集**] をクリックします。

プレゼンテーション テンプレート エディタからデータ入力テンプレート エディタを開くには、[**データ入力テンプレート**] フィールド内のデータ入力テンプレートの名前をクリックしてください。

データ入力テンプレート エディタの使用

データ入力テンプレート エディタでデータ入力テンプレートを作成または編集するには、次の手順を実行します。

- データ入力テンプレートに対する固有の**名前**を入力します。同じフォルダ内で既に使用されているデータ入力テンプレート名は使用できません。
- [**プレゼンテーション テンプレート**] および [**発行可能**] フィールドを表示します。これらのフィールドの内容は、データ入力テンプレートに関連付けたプレゼンテーション テンプレートによって決定されます。新しいデータ入力テンプレートを作成する場合は、これらのフィールドは空白になります。データ入力テンプレートを保存し、プレゼンテーション テンプレート エディタを使用してプレゼンテーション テンプレートに関連付けた後、これらのフィールドが設定されます。
- このデータ入力テンプレートを使用してコンテンツ アイテムを作成するユーザーのために、コンテンツ アイテム エディタで手順を表示する場合は、[**操作手順**] テキスト ボックスに手順を入力します。リッチ テキスト エディタを使用して入力した操作手順に書式を設定することができます。
- [プロパティの設定] ページの [**詳細**] タブでは、プロパティのデフォルト値の設定、ドキュメント プロパティとしてのプロパティの設定、およびポータル プロパティへのマップを行うことができます。
- このデータ入力テンプレートを使用して作成されたコンテンツ アイテムを、他のコンテンツ アイテムのリスト プロパティに自動的に挿入するように Publisher を設定することができます。例えば、提供ニュース ポートレット テンプレートから作成されたポートレットで、ユーザーがニュース記事データ入力テンプレートからコンテンツ アイテムを作成した場合、そのコンテンツ アイテムは、インデックス コンテンツ アイテムのアイテム プロパティに挿入されます。この自動挿入を設定するには次の手順を実行します。
 1. [**このリストにアイテムを挿入**] グループ ボックスで、[**アイテムの選択**] をクリックします。
 2. [**コンテンツ アイテムの選択**] ダイアログ ボックスで、Publisher がリスト項目を挿入する先のコンテンツ アイテムを選択します。[**OK**] をクリックします。
 3. Publisher が項目を追加する [**リスト**] を選択します。



注意：自動挿入を使用する場合、対応するデータ入力テンプレート のリスト プロパティに注意書きを追加し、自動挿入が設定されていること、および手動で項目を追加する必要がないことを、コンテンツ アイテムのソースのユーザーに通知します。例えば、次のような注意書きを追加することをお奨めします。「このリスト プロパティには、<テンプレート 名> データ入力テンプレート から作成されたすべての新しいコンテンツ アイテムが自動的に追加されます。」

- データ入力テンプレートから作成されたコンテンツ アイテムに含めたいコンテンツの各タイプに対するプロパティを追加します。

詳細については、[9-9 ページの「プロパティの追加」](#)を参照してください。

- 完了したら、[保存]、次に [閉じる] をクリックします。



注意: データ入力テンプレート から作成されたコンテンツ アイテムを発行するには、まずデータ入力テンプレートをプレゼンテーション テンプレートに関連付ける必要があります。データ入力テンプレートをプレゼンテーション テンプレートに関連付けるには、プレゼンテーション テンプレート エディタを使用してください。

プロパティの追加

データ入力テンプレート エディタの [プロパティ] の下で、そのデータ入力テンプレートを使用するコンテンツ アイテムに含めたいコンテンツの各タイプに対し、プロパティを作成します。また、各プロパティに対してデフォルト値を入力することができます。これらのデフォルト値は必須ではありませんが、プロパティの値の例として、テンプレートからコンテンツ アイテムを作成するユーザーへのヒントになります。

プロパティを追加するには次の手順を実行します。

1. [プロパティの追加] をクリックし、[プロパティの設定] ページを開きます。
2. [一般] タブで以下を行います。
 - プロパティの**名前**を入力します。すべてのプロパティには名前が必要です。



重要: データ入力テンプレートでプロパティの名前を変更した場合、関連付けられているプレゼンテーション テンプレート 内のプロパティ 名の参照も変更する必要があります。

- 上記のものと別のプロパティ名をコンテンツ アイテム エディタに表示するには、[表示名] を入力します。
- [タイプ] リストからプロパティ タイプを選択します。

各プロパティ タイプの詳細については、[9-2 ページの「データ入力テンプレートに使用できるプロパティタイプ」](#)を参照してください。

- テキスト プロパティ タイプを選択した場合、[最大文字数] フィールドを使用してテキスト ボックスに入力できる最大文字数を設定することができます。設定できる最大値は、255 文字です。
 - 長いテキスト プロパティ タイプを選択した場合、ユーザーがリッチ テキスト エディタでテキストを編集できるようにするか、プレーン テキスト エディタを使用するかを選択します。
 - 選択リスト プロパティ タイプを選択した場合、既存の選択リストを選択する必要があります。タイプ リストから選択リストを選択すると、[選択リストの選択] ダイアログ ボックスが開きます。
 - コンテンツ アイテムのチェックインにそのプロパティを必須とする場合は、[チェックインするための値が必要ですか?] を選択します。これを選択した場合、ユーザーがフィールドに入力しないままアイテムをチェックインしようとした場合、Publisher はコンテンツ アイテム エディタにおいてエラー メッセージを表示します。
 - コンテンツ アイテムを発行するためにそのプロパティを必須とする場合は、[発行するための値が必要ですか?] を選択します。これを選択した場合、ユーザーがフィールドに値を入力しないままアイテムを発行しようとした場合、Publisher はコンテンツ アイテム エディタにおいてエラー メッセージを表示します。
 - プロパティの操作手順をコンテンツ アイテム エディタに表示するには、[操作手順] テキスト ボックスに手順を入力します。リッチ テキスト エディタを使用すると、入力した操作手順に書式を設定できます。
3. [詳細] タブでは、プロパティのデフォルト値の設定、ドキュメント プロパティとしてのプロパティの設定、およびポータル プロパティへのマップを行うことができます。

- データ アイテムのデフォルト値を定義できます。この値は、データ入力フィールドに表示され、設定者以上の役割を持つユーザーがデータ入力テンプレートからのコンテンツ アイテムを作成または編集するときに表示されます。
 - コンテンツ アイテム プロパティはポータル プロパティにマップできます。そして、データ入力テンプレートで定義されているプロパティをポータル プロパティに関連付けることによって、データ入力テンプレートから作成されたコンテンツ アイテムが発行される際に、これらのプロパティがプラムツリー検索においてインデックスされます (ポータルに関連付けられている場合)。これによって、検索条件でポータル プロパティを指定することによって、ユーザーは検索オプションを使用してコンテンツ アイテムに対するクエリを実行できます。
プロパティをインデックスするためにプライムツリー検索で使用するポータル プロパティを選択するには、次の手順を実行します。
 - a. **[選択]** をクリックします。
 - b. ダイアログで、ポータル プロパティを選択するか、プロパティを検索します。
 - c. **[OK]** をクリックします。
 - データ入力テンプレートから作成されたコンテンツ アイテムがナレッジ ディレクトリに対して発行される、またはクロールされる際に、このプロパティをドキュメント プロパティとして設定する場合は、**[ドキュメント プロパティとして設定]** を選択できます。Publisher は、このデータ入力テンプレートで指定されているドキュメント タイプ ID またはポータルのグローバルドキュメント プロパティ マップにおいて、このプロパティと同じ名前を持つ属性の検出を試みます。
4. プロパティの設定が完了したら、**[終了]** をクリックし、データ入力テンプレート エディタのメイン ページに戻ります。
 5. 追加された各プロパティのプロパティ名、表示名、プロパティ タイプ、および必須であるかどうか **[プロパティ]** 枠にリストされます。プロパティの順番をリスト内で移動するには、各行の右側にある **[アクション]** 矢印を使用します。データ入力テンプレートの中のリストの順番が、コンテンツ アイテム エディタに表示される順番になります。

データ入力テンプレートのコピー、移動、名前の変更、および削除

他の Publisher コンポーネントと同様に、Publisher エクスプローラでデータ入力テンプレートのコピー、移動、名前の変更、および削除を行うことができます。しかし、データ入力テンプレートに対してこのような操作を実行する場合は、以下の点に注意してください。

- データ入力テンプレートをコピーする場合、コンテンツ アイテムとの関連付けを保持するには、コンテンツ アイテムとデータ入力テンプレートを同時にコピーしてください。データ入力テンプレートとコンテンツ アイテムが含まれているフォルダ全体をコピーするか、データ入力テンプレートおよびコンテンツ アイテムを複数選択してコピーしてください。データ入力テンプレートを新しいフォルダにコピーした後で、コンテンツ アイテムをそのフォルダにコピーすると、コピーされたコンテンツ アイテムは、元のデータ入力テンプレートに関連付けられたままになり、データ入力テンプレートのコピーと自動的に関連付けされません。
- 1 つのコンテンツ アイテムにもう 1 つのコンテンツ アイテムを参照するアイテム プロパティが含まれている場合、それらのコンテンツ アイテムを同時にコピーすると、最初のコンテンツ アイテムのコピーは、2 つ目のコンテンツ アイテムのコピーを参照するようになります。データ入力テンプレートを参照するプレゼンテーション テンプレートに関しても同様です。同時にコピーしなかった場合、元のデータ入力テンプレートを参照してしまいます。
- データ入力テンプレートから作成されたコンテンツ アイテムに影響を及ぼすことなく、そのデータ入力テンプレートを他の場所に移動することができます。



重要: データ入力テンプレートを削除すると、そのテンプレートから作成されたすべてのコンテンツ アイテムが削除されます。削除を元に戻すことはできません。

10 プレゼンテーション テンプレートの作成

Publisher は、コンテンツ アイテムを発行した際のコンテンツ アイテムの形式および表示を定義するために、プレゼンテーション テンプレートを使用します。データ入力テンプレートは、構造化されたコンテンツ アイテムを構成するプロパティを定義し、ユーザーがコンテンツ アイテムを作成する際にコンテンツ アイテム エディタに入力できるデータのタイプを決定します。プレゼンテーション テンプレートは、コンテンツ アイテムがプレビューまたは発行された際に表示されるデータをフォーマットするために使用されます。プレゼンテーション テンプレートには、基本的な書式、イメージ、定型句、およびコンテンツ アイテムの特定のプロパティの値に基づいて情報を表示するプログラミング ロジック等が含まれています。プレゼンテーション テンプレートは、**Publisher** からのコンテンツに置き換えられる XML のようなタグを含むテキスト ファイルです。プレゼンテーション テンプレートは、Java ソース ファイル、HTML ファイル、CSS ファイル等、いかなるテキスト ファイルのタイプも出力できます。

コンテンツ アイテムまたはデータ入力テンプレートがなくても発行することが可能なスタンドアロンのプレゼンテーション テンプレートを作成することもできます。これは、コンテンツ アイテムへのリンクをリストするシンプルな単一ページのポートレットを作成する場合に有用です。

製作者または管理者は、プレゼンテーション テンプレートを作成し、それらに関連するデータ入力テンプレートに添付するという役割を持ちます。プレゼンテーション テンプレートを作成および編集するには、これらのいずれかの役割を持つ必要があります。

この章では以下の項目について説明します。

- [「プレゼンテーション テンプレートの作成および編集」](#)
- [「プレゼンテーション テンプレートのコード」](#)
- [「タグ ヘルパーを使用してプレゼンテーション テンプレートのコードを作成する方法」](#)
- [「CSS および JavaScript ファイルの使用法」](#)
- [「プレゼンテーション テンプレート ツール」](#)

プレゼンテーション テンプレートの作成および編集

新しいプレゼンテーション テンプレートを作成するか、提供ポートレット テンプレートに含まれているデフォルトのプレゼンテーション テンプレートの 1 つを編集することによって、企業の用語またはコンテンツのニーズに適合させることができます。プレゼンテーション テンプレートを作成および編集するにはプレゼンテーション テンプレート エディタを使用します。

プレゼンテーション テンプレート エディタは、プレゼンテーション テンプレートを最初から作成する場合、標準のプレゼンテーション テンプレートを編集する場合、または、単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレートを編集する場合のそれぞれの場合によって、若干異なる表示モードを持ちます。

この節では、以下の方法について説明します。

- プレゼンテーション テンプレート エディタの使用法
- WYSIWYG エディタを使用したプレゼンテーション テンプレートのコードの作成
- 単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレートの作成
- プレゼンテーション テンプレートのコピー、移動、名前の変更、および削除

プレゼンテーション テンプレート エディタの使用法

プレゼンテーション テンプレート エディタを起動するには、Publisher エクスプローラで、以下のいずれかの操作を実行してください。

- [**新規 | プレゼンテーション テンプレート**] をクリックする。
- 右枠内で右クリックし、[**新規 | プレゼンテーション テンプレート**] を選択する。
- 既存のプレゼンテーション テンプレートを右クリックし、[**プレゼンテーション テンプレートの編集**] を選択する。既存のデータ入力テンプレートを発行した場合、プレゼンテーション テンプレートへの変更が反映されます。変更を表示するためには、データ入力テンプレートを再発行する必要があります。

ポートレット設定ウィザードおよびポートレット テンプレート設定ウィザードから、プレゼンテーション テンプレート エディタにアクセスすることもできます。

プレゼンテーション テンプレート エディタには、以下のフィールドが含まれています。

- [**名前**] : テンプレートの名前。この名前は、関連付けられているデータ入力テンプレートと一致させる必要はありません。



注意 : 既存のプレゼンテーション テンプレートの名前を変更しても、添付されたデータ入力テンプレートとの関連付けは解除されません。別のプレゼンテーション テンプレートによって参照されているプレゼンテーション テンプレートの名前を変更した場合、参照の名前も変更する必要があります。

- [**発行名**] : このフィールドは、新しいプレゼンテーション テンプレートを作成する場合、または単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレートを編集する場合にのみ表示されます。発行可能なプレゼンテーション テンプレートを作成または編集する場合にのみ、このフィールドを使用してください。ここで入力した名前とhtml 拡張子は、プレゼンテーション テンプレートを発行した際にウェブ サーバー上に作成されるファイル名になります。

発行可能なプレゼンテーション テンプレートを作成しない場合は、このフィールドを無視して、プレゼンテーション テンプレートに添付するデータ入力テンプレートを選択します。このフィールドは、[**拡張子**] フィールドに置き換わります。

- [**拡張子**] : コンテンツ アイテムが発行された際に作成されるファイルの拡張子 (ファイル タイプ)。基本テキスト ファイルとして有効な任意の拡張子を使用することができます (.html、.js、.jsp、.asp、.xml、.txt)。拡張子を入力しなかった場合、システムは .html を使用します。
- [**データ入力テンプレート**] : プレゼンテーション テンプレートに関連付けられているデータ入力テンプレート。選択されたデータ入力テンプレートで作成されたコンテンツ アイテムは、それらが発行される際に、現在のプレゼンテーション テンプレートを使用してフォーマットされます。

単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレートを作成する場合は、データ入力テンプレートを添付しないでください。

- [**発行可能**] : 標準のプレゼンテーション テンプレートの場合、このフィールドは、このプレゼンテーション テンプレートのみを使用してコンテンツ アイテムをウェブ ページとして発行することが可能であるか、または別のプレゼンテーション テンプレートから参照する必要があるかどうかを決定します。以下から選択する必要があります。
 - [**完全なページ**] : このテンプレートのみを使用して、コンテンツ アイテムをウェブ ページとして発行することができます。

- **[ページ コンポーネント]**: テンプレートは、別のプレゼンテーション テンプレートによって参照されるコンポーネントとしてのみ使用することができます。一般的に使用されるページ コンポーネントのプレゼンテーション テンプレートは、ヘッダ テンプレートおよびフッタ テンプレートです。

単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレートを作成または編集する場合は、**[完全なページ]**を選択する必要があります。



注意: 完全なページのプレゼンテーション テンプレートと、単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレートは同一ではないことに注意してください。単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレートは、完全なページのテンプレートである必要がありますが、完全なページのテンプレートは、必ずしも単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレートである必要はありません。完全なページという指定は、プレゼンテーション テンプレートをコンテンツ アイテムの発行に使用するために、プレゼンテーション テンプレート が別のプレゼンテーション テンプレート によって参照されている必要がないことを意味するだけのものです。

別のプレゼンテーション テンプレートからページ コンポーネントのプレゼンテーション テンプレートを参照する方法については、[10-10 ページの「Include エlement: <pcs:include>」](#)を参照してください。

- **[検索から除外]**: ユーザーが、検索機能を使用して発行済みコンテンツを検索できないようにします。関連付けられているデータ入力テンプレートから作成された発行済みコンテンツ アイテムは、プラムツリー検索によってインデックスされないため、検索結果に含まれません。
- **[発行する関連アイテム]**: このプレゼンテーション テンプレートを使用して作成されたコンテンツ アイテムを発行する際に、同時に発行する必要のある別のコンテンツ アイテムがある場合、その別のコンテンツ アイテムをここで指定します。例えば、ニュース記事を発行する場合、ニュース記事を表示するためには、インデックスも発行する必要があります。



注意: ページ コンポーネント はページの一部としてのみ発行されるため、ページ コンポーネント のプレゼンテーション テンプレートに関連アイテムを追加することはできません。

- **[コード]**: このテキスト フィールドには、テンプレートのプログラミング ロジックが含まれます。**[コード]** フィールドのテキストには、**[拡張子]** フィールドで指定されているファイル タイプに適合する任意のコードを含めることができます。Publisher オブジェクトを参照するには、Plumtree Publisher のタグ (この章の後半で説明します) を使用する必要があります。次の 2 つの方法で、プレゼンテーション テンプレートにコードを入力することができます。
 - **[コード]** フィールドにテキストを手動で入力または貼り付ける。
 - **[アップロード]** ボタンを使用して、ローカルドライブから既存のテキスト ベースのファイルをアップロードする。

ファイルをアップロードする前に、またはコードを **[コード]** フィールドにコピー アンド ペーストする前に、任意の WYSIWYG エディタを使用して、テンプレートのコードを作成および編集することができます。

タグ ヘルパーは、**[コード]** フィールドに挿入可能な Plumtree Publisher (pcs) タグを作成するのに役立ちます。

[検証] を使用することによって、**[コード]** フィールドの pcs タグの構文をチェックすることができます (HTML タグ間のコードはチェックされません)。構文エラーを修正するには、行番号をクリックして、コードのエラーが発生した箇所を選択します。



注意: 新しいプレゼンテーション テンプレート (単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレートを除く) を作成した際は、必ず関連付けられているデータ入力テンプレート から少なくとも 1 つのコンテンツ

アイテムを作成してください。これによって、プレビュー サイトでプレゼンテーション テンプレートをプレビューすることが可能になります。

WYSIWYG エディタの使用法に関する詳細については、[10-4 ページの「WYSIWYG エディタの使用法」](#)を参照してください。

タグ ヘルパーに関する詳細については、[10-20 ページの「タグ ヘルパーを使用してプレゼンテーション テンプレートのコードを作成する方法」](#)を参照してください。

プレゼンテーション テンプレートのコードに関する詳細については、[10-5 ページの「プレゼンテーション テンプレートのコード」](#)を参照してください。

WYSIWYG エディタの使用法

WYSIWYG エディタで、プレゼンテーション テンプレートのコードを作成し、そのコードをプレゼンテーション テンプレート エディタにアップロードまたはコピーすることができます。

WYSIWYG エディタで、プレゼンテーション テンプレートのコードを作成するには次の手順を実行します。

1. 標準のウェブ ページとしてページを作成し、Publisher エlementにはプレースホルダを使用します。
2. プレゼンテーション テンプレート エディタでプレゼンテーション テンプレートを開き、[**アップロード**] をクリックして、ページを [**コード**] フィールドにインポートします。



重要: ファイルをアップロードすると、[**コード**] フィールド 内のすべてのテキストが上書きされます。上書きせずに既存のテンプレート に追加するには、**コピー & ペースト** を使用してください。

3. **タグ ヘルパー**を使用して、プレースホルダを pcs タグに置き換えます。
4. [**検証**] をクリックして、pcs タグの構文をチェックします。

WYSIWYG エディタを使用して、既存のテンプレートのコードを編集するには次の手順を実行します。

1. プレゼンテーション テンプレート エディタの [**ダウンロード**] をクリックして、ファイルをコンピュータに保存します。
2. ファイルのコードを編集した後、[**アップロード**] をクリックして、プレゼンテーション テンプレート エディタにコードを入力します。

[10-5 ページの「プレゼンテーション テンプレートのコード」](#)も参照してください。

単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレートの作成

他のコンテンツ アイテムへのリンクの単純なコレクションから構成される発行済みコンテンツ ポートレットをデザインする場合、コンテンツ アイテム、データ入力テンプレート、プレゼンテーション テンプレートという 3 つの要素が必要ではない場合があります。特に、データ入力テンプレートにプロパティが含まれていない場合は、必要ありません。代わりに、コンテンツ アイテムまたはデータ入力テンプレートがなくても発行することが可能なスタンドアロンのプレゼンテーション テンプレートを作成することができます。そのような単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレートは、ポートレットに含まれるコンテンツ アイテムを参照するために、pcs 機能を使用します。データ入力テンプレートまたは関連付けられているコンテンツ アイテムを参照する必要はありません。

単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレートを作成するには次の手順を実行します。

1. Publisher エクスプローラで、プレゼンテーション テンプレート用のフォルダを作成します。
2. プレゼンテーション テンプレート エディタを起動します。

3. プレゼンテーション テンプレートの [名前]、およびウェブ サーバーでファイル名として使用される [発行名] を入力します。システムは、テンプレートが発行された際に、.html 拡張子を追加します。
4. [発行可能] フィールドで、[完全なページ] を選択します。
5. [コード] セクションで、プレゼンテーション テンプレートのコードを入力またはアップロードします。

単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレートでは、`pcs` 言語のすべてのタグおよび表現を使用することができます。以下の関数およびメソッドは、単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレートのみで使用できます。

- `TemplateByPath(folder?, path)` : 単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレートのみを返します。
- `folder.templates` : フォルダ内の単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレートを返します。

プレゼンテーション テンプレートのコードの構文に関する詳細については、[「プレゼンテーション テンプレートのコード」](#)を参照してください。



注意: 単独で発行可能なプレゼンテーション テンプレート は、ワークフローで追跡することができません。

プレゼンテーション テンプレートのコピー、移動、名前の変更、および削除

他の Publisher コンポーネントと同様に、Publisher エクスプローラでプレゼンテーション テンプレートのコピー、移動、名前の変更、および削除を行うことができます。しかし、プレゼンテーション テンプレートにこれらの操作を実行する際は、以下の点に注意してください。

- プレゼンテーション テンプレートは、データ入力テンプレートおよびファイルへの参照を切断せずに、Publisher の 1 つのフォルダから別のフォルダに移動することができます。唯一の例外は、`pcs:include` タグのファイル パスです。このタグのパスは、プレゼンテーション テンプレートを移動した後で、プレゼンテーション テンプレートの新しい場所を反映するように更新する必要があります。
- プレゼンテーション テンプレートの名前を変更しても、添付されたデータ入力テンプレートとの関連付けは解除されません。しかし、名前が変更されたプレゼンテーション テンプレートが、別のプレゼンテーション テンプレートによって参照されている場合、参照しているプレゼンテーション テンプレートで名前を更新する必要があります。
- データ入力テンプレートに添付されたプレゼンテーション テンプレートを削除した場合、別のプレゼンテーション テンプレートを添付するまで、そのデータ入力テンプレートから作成されたコンテンツ アイテムを発行またはプレビューすることはできません。プレゼンテーション テンプレートの削除は取り消すことができません。削除を元に戻すことはできません。

プレゼンテーション テンプレートのコード

すべての Publisher エlement は、同じ構文および基本コンポーネントを使用します。Publisher Element を構築する前に、この節をお読みください。

この節では、Plumtree Publisher Element (`pcs` タグ) の概要、および以下の項目に対する適切な構文について説明します。

- プロパティ名
- 表現

- パス

Plumtree Publisher エレメント (PCS タグ)

Plumtree Publisher エレメント (タグ) は、XML エレメントのように形成されており、pcs というプレフィックスを持ちます。次に例を示します。

```
<pcs:tagname attributename=attributevalue...> Content
</pcs:tagname>
```

発行時に、Publisher は、pcs タグを、表現の値に置き換えます。表現がエラーとなった場合は、タグの内容に置き換えます。

発行時にテンプレートが処理される際、pcs タグ以外のテキストは変更されません。タグは、HTML エレメント、HTML タグ、および引用符で囲まれた文字列の中に含めることができます。

属性の値は、HTML または XML のように、一重引用符または二重引用符で囲まれている必要があります。

```
<pcs:value property="dog"> (êš)
<pcs:value property='dog'> (êš)
<pcs:value property=dog> (is)
```

以下の表は、Publisher エレメントの要約を示します。各エレメントの詳細な説明については、後続の節を参照してください。

表 10-1 : Publisher エレメント (PCS タグ)

エレメント	説明
<pcs:value>	Publisher のプロパティ値または表現の結果を表示します。次の Publisher のプロパティを受け付けます。テキスト、長いテキスト、整数、実数、ブール値、日付、および選択リスト。
<pcs:if>	指定された条件が True の場合、発行済みコンテンツ アイテムにコンテンツを表示します。コンテンツ アイテムのプロパティまたは文字列の比較等、正当なすべての表現を受け付けます。
<pcs:foreach>	オブジェクトのコレクションを通して操作を繰り返します。表現を受け付けます。タグの間のコードは、繰り返すごとに評価されます。
<pcs:include>	コンテンツ アイテムに参照されるプレゼンテーション テンプレートを挿入します。パスのみを受け付けます。
<pcs:insert>	現在のアイテムのコンポーネントとして、コンテンツ アイテムを表示します。表現またはパスを受け付けます。プレゼンテーション テンプレートが関連付けられているコンテンツ アイテムにのみ使用することができます。
<pcs:html>	プレゼンテーション テンプレート エディタの [コード] フィールドに、標準の HTML コードおよび XML コードを入力できるようにします。

Publisher エレメント (pcs タグ) をプレゼンテーション テンプレートに手動で入力するか、タグを作成するために [タグ ヘルパー](#)を使用することができます。タグ ヘルパーについては、[「タグ ヘルパーを使用してプレゼンテーション テンプレートのコードを作成する方法」](#)およびオンライン ヘルプを参照してください。

Value エレメント : <pcs:value>

<pcs:value> タグは、表現の結果または次の Publisher のプロパティを表示するために使用できます。テキスト、長いテキスト、整数、実数、ブール値、日付、および選択リスト。Publisher は、プロパティ値をテキスト文字列に変換します。

構文：

```
<pcs:value expr="expression" (format="format pattern")>default text</pcs:value>
```

例：

```
<pcs:value expr="headline"></pcs:value>
<pcs:value expr="article.author">Anonymous</pcs:value>
<pcs:value property='screenwriter.name'><pcs:value
property='writer.name'></pcs:value></pcs:value>
</pcs:value>">
<a href="<pcs:value property='homepage.location'></pcs:value>">
<pcs:value expr='creation_time' format="MMMM dd"></pcs:value>>
```

タグによって参照されている値が検出されなかった場合、エレメントのコンテンツが評価されます。タグ間のテキストが表示され、エレメント内の <pcs> タグはすべて変換されます。Value タグを使用して、参照されているプロパティの値に基づいた計算結果を表示することができます。次に例を示します。

```
<pcs:value expr="bonus - agent.commissions * agent.tax_rate">
</pcs:value>
```

日付形式

日付形式の属性はオプションです。指定されている場合、日付形式の属性は、発行済みドキュメント内に表示される日付のパターンを定義します。format 文字列は、Java 言語の SimpleDateFormat 定義に準拠します。日付の形式を指定することは、日付の値の一部、例えば、時刻のみ、または月日のみを表示する場合等に有用です。次に例を示します。

```
<pcs:value expr='creation_time' format="MMMM dd"></pcs:value>>
```

format 属性が指定されていない場合、日付の形式は、com.plumtree.content.template.defaultDatePublishFormat というシステム設定プロパティの設定に基づいて設定されます。このプロパティが設定されていない場合、MM/dd/yyyy hh:mm aa というビルトイン形式が使用されます。

条件エレメント : <pcs:if>

<pcs:if> タグは、指定した条件が True の場合にのみ、発行済みコンテンツ アイテムにコンテンツが表示されるようにするために使用されます。このタグは、コンテンツ アイテムのプロパティ (表現)、文字列の比較等の有効な表現を受け付けます。詳細については、[10-15 ページの「表現」](#)を参照してください。コンテンツ アイテムが発行される際に、タグ内の表現が評価されます。表現が True の場合、エレメントのコンテンツが評価されます。True でない場合、エレメントは無視されます。

構文：

```
<pcs:if expr="expression">conditional content</pcs:if>
```

例：

```
<pcs:if expr="item.show_me">
  <pcs:value expr="item.name"></pcs:value>
  <pcs:value expr="item.description"></pcs:value>
</pcs:if>
<pcs:if expr='Author=="Poe"'>
  Books by Edgar Allen Poe:
```

```
<pcs:value expr="booklist"></pcs:value>
</pcs:if>
```

プロパティに値が含まれているかどうかを判断するには、次のように `null` と比較してください。

```
<pcs:if expr="story.coauthor == null">...
```



注意: テキスト プロパティが存在する場合、`null` と比較すると `False` が返されます。値が空白の文字列であるかどうかを確認するには、次のように空の文字列と比較します。

```
<pcs:value expr="story.coauthor == ''">...
```

プロパティがデータ入力テンプレート内で定義されていることを確認するには、`undefined` と比較します。

```
<pcs:if expr="story.coauthor == undefined">...</pcs:if>
```

プロパティが定義されていない場合に、`null` と比較すると `False` が返されます。

以下の表は、異なるタイプの値がどういう場合に `True` あるいは `False` とみなされるかについて概説します。

表 10-2 : 値の評価 - True/False

値のタイプ	この場合、True とみなされる	この場合、False とみなされる
テキスト	> 0 の長さを持つ	長さが 0
数字	ゼロではない	ゼロ
ブール値	True	False
null	常にみなされない	常にみなされる
アイテム	定義されている	定義されていない
コレクション	定義されている	定義されていない
列挙	少なくとも 1 つの選択を含む	空

繰り返しのElement : <pcs:foreach>

<pcs:foreach> タグは、オブジェクトのコレクションを通して操作を繰り返すことを可能にします。表現を使用して、コレクションを参照することができます。タグ間のコードは、回数の値ごとに評価されます。

ForEach Elementはネストすることができます。ForEach Elementは、そのコンテンツを (繰り返し) 評価する前に、そのElement自体を評価します。

構文 :

```
<pcs:foreach var="variable" expr="expression">
  content
</pcs:foreach>
```

例 :

```
<pcs:foreach var="item" expr="article_list">
  <pcs:value expr="item.headline"></pcs:value>
  <pcs:value expr="item.story"></pcs:value>
  This is item <pcs:value expr="item_position"></pcs:value>
</pcs:foreach>
```

```
out of <pcs:value expr="item_size"></pcs:value>
</pcs:foreach>
```

```
<pcs:foreach var="item" expr="folderByPath('/authors/latest')">
```

タグが繰り返す値のリストは (変数に格納されているオブジェクトのタイプ)、表現の結果によって異なります。

表 10-3 : 変数のオブジェクト タイプ (表現の結果に基づく)

表現の結果	繰り返される値	変数のオブジェクト タイプ
リスト	リスト内の各値	コンテンツ アイテム
列挙 (すなわち、選択リスト)	選択された各値	選択された文字列
フォルダ	フォルダの各コンテンツ アイテム	コンテンツ アイテム
コンテンツ アイテム	唯一の項目がコンテンツ アイテムであるリスト	コンテンツ アイテム
プレゼンテーション テ ンプレート	唯一の項目が発行可能プレ ゼンテーション テンプレー トであるリスト	プレゼンテーション テンプレート

各回数で、**var =** 属性で指定されている変数が、順に各値に設定されます。**foreach** タグのコンテンツ内で、変数をその他の PCS 言語表現で使うことができます。リストの表現が評価できない場合、**foreach** エレメントの拡張は失敗し、エレメントはドロップされます。

補助変数

ForEach タグ内で定義される補助変数を使用して、リストについての情報、またはリストの各アイテムについての情報を提供することができます。補助変数は、ForEach **var** 属性で定義されている変数名にサフィックスを付加することによって、名前が付けられます。ForEach タグで **var** 属性を省略することができます。その場合、エレメントの変数は定義されません。補助変数が定義されている場合は、プレフィックスなしで使うことができます。

以下の補助変数が定義されています。

- **VariableName_position** : リスト内の現在のアイテムの位置 (1 で始まり、各アイテムごとに増加します)。
- **VariableName_size** : リスト内のアイテムの数。
- **VariableName_previous** : 前の回で **VariableName** に設定された値 (初回の値は **null**)。
- **VariableName_next** : 次の回で **VariableName** に設定される値 (最後の回の値は **null**)。



注意 : 変数のサフィックス (**VariableName_position**) とプロパティの参照 (**VariableName.name**) を混同しないように注意してください。

Include エレメント : <pcs:include>

<pcs:include> タグは、参照されているプレゼンテーション テンプレートをコンテンツ アイテムに挿入します。テンプレートは、パスのみによって参照することができます。パスには、相対パスまたは絶対パスを使用することができます。相対パスは、コンテンツ アイテムではなく、テンプレートに対する相対的なパスです。

Server Side Include のように、Include タグは、主に、ヘッダ、フッタ、およびその他の定型コンテンツをページ内に表示するために使用されます。この方法を使用することによって、異なるタイプの発行済みコンテンツに渡って定型コンテンツを統一させ、共通のコードを 1 つのテンプレートにまとめることによって、ページの定型部分への変更を容易に行うことを可能にします。

Include タグを使用する前に、ページに含める必要のあるコンテンツを含む別のプレゼンテーション テンプレートを作成してください。

指定されたテンプレートにアクセスできない場合、include は失敗し、エレメントのコンテンツが評価されます。下記の例では、パスが存在しない場合、「Copyright 2003」と表示されます。

構文：

```
<pcs:include templatepath="path">default text</pcs:include>
```

例：

```
<pcs:include templatepath="/boilerplate/footer">Copyright 2003</pcs:include>
```

Insert エレメント : <pcs:insert>

<pcs:insert> タグは、現在のアイテムのコンポーネントとして、コンテンツ アイテムを表示します。表現またはパスによって、2 番目のコンテンツ アイテムを参照することができます。Insert タグは、関連付けられたプレゼンテーション テンプレートを持つ Publisher のコンテンツ アイテムにのみ使用することができます。

表現またはパスの評価の結果は、コンテンツ アイテムである必要があります。コンテンツ アイテムのプレゼンテーション テンプレートは、直接発行される場合と同じ規則に従って選択および実行されます。結果は Insert エレメントを置き換えます。

指定したコンテンツ アイテムにアクセスできない場合、insert は失敗し、代わりにエレメントのコンテンツが評価されます。以下のような失敗が発生する可能性があります。

- 挿入されたコンテンツ アイテム用のテンプレートが検出されない。
- 表現の結果がコンテンツ アイテムではない。
- パスが指し示しているものがコンテンツ アイテムではない。
- 無限に再帰してしまう。

以下の最初の例では、word_of_the_day というプロパティが検出されない場合、「See the dictionary」と表示されます。

構文：

```
<pcs:insert expr="expression"></pcs:insert>
```

または

```
<pcs:insert path="path"></pcs:insert>
```

表現およびパスの構文に関する詳細については、前章を参照してください。

例：

```
<pcs:insert expr="word_of_the_day">See the dictionary.</pcs:insert>
<pcs:insert path="/news/latest"></pcs:insert>
```

HTML エlement : <pcs:html>

標準の HTML コードおよび XML コードは、プレゼンテーション テンプレート エディタの [コード] フィールドに直接入力できます。しかし、Publisher オブジェクトへの参照を含めた場合、HTML エディタで正確に評価できないコードになってしまうことがあります。<pcs:html> タグは、このような問題を解決します。

<pcs:html> タグは、通常、ユーザーに表示される完全に構成された HTML または XML Element によって置き換えられます。この Element は、誤ったコードとして評価されない構文を使用することによって、標準の WYSIWYG エディタを使用して容易にプレゼンテーション テンプレートの編集が行えるようにします。

Publisher は、<pcs:html:xxx> という Element を、タグ名が <xxx> である HTML Element に置き換えます。開始タグには、<pcs:html:xxx> Element の属性に基づく特定の属性が設定されます。任意の数の属性を使用することができます。各属性は、表現属性またはリテラル属性のどちらかになります。

- 表現属性は、`expr:yyy="an_expression"` という形式を持ちます。yyy には、正当な属性の名前を指定し、`an_expression` には、正当な表現を指定する必要があります (表現に関する詳細については、この節前半の Publisher Element の構文を参照してください)。結果としてタグ内で生成される対応属性は、`yyy="result"` で、この result は、`an_expression` という表現を評価した結果のテキストです。この形式を用いることによって、属性の値として、発行時に算出された値を使用することが可能になります。
- リテラル属性は、`attr:yyy="value"` という形式を持ちます。yyy には、正当な属性の名前を指定し、value には、正当な属性の値を指定する必要があります。結果としてタグ内で生成される対応属性は、`yyy="value"` です。これにより、表示の通りに構成される属性を追加することが可能になります。

構文:

```
<pcs:html:xxx ( style="UNARY|EMPTY|ORPHAN" )?( content="OMIT" )?( expr:yyy="expr" |
attr:yyy="value" )* >content of element
</pcs:html:xxx>
```

例:

```
<pcs:html:a expr:href="nextchapter.location">Next Chapter
</pcs:html:a>
<pcs:html:a attr:href="chap2/overview.htm">Next Chapter
</pcs:html:a>
```

タグ間のテキストは、結果となる HTML コードに基づいて評価されます。上記の例の場合、参照されている Publisher のプロパティ (`nextchapter.location`) または静的な位置 (`chap2/overview.htm`) として定義される次章への「Next Chapter」リンクが作成されます。

デフォルトで、HTML タグによって生成される Element は、開始タグ、終了タグ、およびコンテンツを持ちます。この形式を上書きするには、追加の `style` および `content` 属性を使用します (次節参照)。

Style および Content 属性

オプションで利用できる HTML タグの `style` および `content` 属性は、プレゼンテーション テンプレートで、標準の HTML タグ形式を上書きできるようにします。

XML は、開始タグおよび終了タグを結合する次のような「空 Element」タグをサポートしています。<FOO/>。`style="EMPTY"` 属性を含めた場合、<pcs:html> タグは、空 Element タグを生成します。この属性が指定された場合、pcs Element にコンテンツが含まれている場合でも、コンテンツは生成されません。

一部のブラウザは、対応する終了タグのない開始タグをサポートしています。 で、対応する がない場合などです。style="UNARY" 属性を指定した場合、<pcs:html> タグは、このようなタグを生成します。この属性が指定された場合、pcs エlementによって生成されたすべてのコンテンツは、開始タグの後に配置されます。

ごくまれなケースですが、HTML は、開始タグのない終了タグをサポートします。style="ORPHAN" 属性を含めた場合、<pcs:html> タグは、このようなタグを生成します。この属性が指定された場合、Elementによって生成されたすべてのコンテンツは、終了タグの前に配置されます。

コンテンツが生成されないようにするには、content="OMIT" という属性を含めてください (コンテンツは評価されないため、コンテンツに起因する問題が発生することはありません)。

例えば、<pcs:html:foo>Stuff</pcs:html:foo> というElementの場合、追加属性を指定することによって下記のコンテンツが生成されます。

表 10-4 : Style 属性 (<pcs:html> タグ)

属性	結果
(追加属性なし)	<foo>Stuff</foo>
style="UNARY"	<foo>Stuff
style="ORPHAN"	Stuff</foo>
style="EMPTY"	<foo/>
content="OMIT"	<foo></foo>
style="UNARY" content="OMIT"	<foo>
style="ORPHAN" content="OMIT"	</foo>
style="EMPTY" content="OMIT" (redundant)	<foo/>

プロパティ名

プレゼンテーション テンプレートは、コンテンツ アイテムのコンテキストで評価されます (単独で発行されるプレゼンテーション テンプレートを除く)。コンテンツ アイテムに対応するデータ入力テンプレートは、ユーザー定義のすべてのプロパティの名前およびタイプを制御します。また、すべてのコンテンツ アイテムは、システム定義のプロパティ (name プロパティなど) のセットを持ちます。システム定義およびユーザー定義のプロパティの名前は、現在のコンテンツ アイテムの対応するプロパティ値を参照するために、テンプレートで使うことができます。

最も簡単なプロパティ表現は、発行されるコンテンツ アイテム内の 1 つのプロパティの名前です。

```
<pcs:tag property="Headline">
```

さらに高度なプロパティ表現の使用方法は、ドット付きの表現を使用することです。ドット付きの表現は、左から右に評価され、ドットの左にある各プロパティは、ドットの右に名前があるプロパティを持つものとして評価されます。

以下の例では、「author」は、「bio」プロパティを持つコンテンツ アイテムを参照する現在のコンテンツ アイテムのプロパティであり、「bio」は、「hometown」プロパティを持つ別のコンテンツ アイテムを参照します。

```
<pcs:tag property="author.bio.hometown">
```


システムがプロパティの名前で固有の文字として扱うのは、アルファベット (a ~ z) および数字 (0 ~ 9) のみです。その他のすべての文字 (句読点、空白) は、同じ文字として扱われ、アンダースコア (「_」) に置き換えられます。大文字および小文字は区別されません。例えば、以下のタグはすべて同じとして扱われます。

```
<pcs:tag property="jug_head">
<pcs:tag property="JUG HEAD">
<pcs:tag property="Jug+Head">
```

！ 重要：データ入力テンプレートでプロパティの名前を変更した場合、関連付けられているプレゼンテーション テンプレート 内の参照も変更する必要があります。

システム定義のプロパティ

システム定義のプロパティは、現在のコンテンツ アイテム、または現在のコンテンツ アイテムに関連付けられているいかなる Publisher のオブジェクトにも適用することができます。プロパティは、表現の前の値 (ドットの左側) に適用されます。プロパティの前にドットがない場合、プロパティは現在のコンテンツ アイテムに適用されます。

！ 重要：この節でリストされているプロパティの名前は、Publisher によって使用されています。同じ名前を持つプロパティを作成した場合、新しいプロパティは、システム定義のプロパティを上書きします。例えば、*location* という名前のプロパティを作成した場合、Publisher の表現を使用して、そのコンテンツ アイテムの URL にアクセスできなくなります。これは、コンテンツ アイテムから別の場所にリダイレクトする必要がある場合に使用できます。

以下のプロパティは、システムによって定義されています。

表 10-5 : システム定義のプロパティ

プロパティ	説明
location	Publisher オブジェクトが発行された場所、または発行される場所を示す URL。ページにリンクを作成する場合に役立ちます。このプロパティは、テキストとして扱われます。 次に対して有効： コンテンツ アイテム、ファイル プロパティ、イメージ プロパティ、フォルダ、発行可能なプレゼンテーション テンプレート。
created	Publisher オブジェクトが作成された日付。 次に対して有効： コンテンツ アイテム、フォルダ、発行可能なプレゼンテーション テンプレート。
createdBy	Publisher オブジェクトを作成したユーザーの名前。 次に対して有効： コンテンツ アイテム、フォルダ、発行可能なプレゼンテーション テンプレート。
modified	Publisher オブジェクトが最後に変更された日付。 次に対して有効： コンテンツ アイテム、フォルダ、発行可能なプレゼンテーション テンプレート。
modifiedBy	Publisher オブジェクトを最後に変更したユーザーの名前。 次に対して有効： コンテンツ アイテム、フォルダ、発行可能なプレゼンテーション テンプレート。

表 10-5 : システム定義のプロパティ

プロパティ	説明
published	Publisher オブジェクトが最後に発行された日付。 次に対して有効 : コンテンツ アイテム、発行可能なプレゼンテーション テンプレート。
publishedBy	Publisher オブジェクトを最後に発行したユーザーの名前。 次に対して有効 : コンテンツ アイテム、発行可能なプレゼンテーション テンプレート。
name	Publisher エクスプローラに表示される Publisher オブジェクトの名前。このプロパティは、テキストとして扱われます。 次に対して有効 : コンテンツ アイテム、ファイル プロパティ、イメージ プロパティ、フォルダ、発行可能なプレゼンテーション テンプレート。
pcs_id	システムによって Publisher オブジェクトに割り当てられる固有識別子の文字列。オブジェクトが存在する限り、オブジェクトの名前が変更されたり、またはオブジェクトが別のフォルダに移動されても、固有 ID は変更されません。 次に対して有効 : コンテンツ アイテム、フォルダ、発行可能なプレゼンテーション テンプレート。
pcs_path	フォルダ階層内の Publisher オブジェクトへの完全なパス。パスは、「/」で始まり、パスの各コンポーネントは、別の「/」によって次のコンポーネントから分離されます。名前の中の特殊文字は、アンダースコアに変換されません。したがって、コンポーネントの名前にスラッシュ記号が含まれている場合、混乱を招く可能性があります。 次に対して有効 : コンテンツ アイテム、フォルダ、列挙、発行可能なプレゼンテーション テンプレート。
height	ピクセル単位の垂直寸法。このプロパティは、整数として扱われます。 次に対して有効 : イメージ プロパティ。
width	ピクセル単位の水平寸法。このプロパティは、整数として扱われます。 次に対して有効 : イメージ プロパティ。
length	オブジェクトのタイプに適切な単位によるオブジェクトの長さ。 次に対して有効 : テキストを生成する表現 : 結果はテキスト内の文字数。リストを生成する表現 : 結果はリスト内の値の数。
folder	Publisher オブジェクトを含むフォルダ。 次に対して有効 : コンテンツ アイテム、フォルダ、発行可能なプレゼンテーション テンプレート。
item	現在のコンテンツ アイテム。このプロパティは、現在のコンテンツ アイテムにアクセスするために使用できます。これ以外に現在のオブジェクトと別のアイテムへの参照を比較する方法はありません。2 つのアイテムの参照が同じかどうかを確認する表現に役立ちます。 次に対して有効 : コンテンツ アイテム、発行可能なプレゼンテーション テンプレート。

表 10-5 : システム定義のプロパティ

プロパティ	説明
subfolders	サブフォルダのリスト。 次に対して有効：フォルダ。

表現

プロパティを受け付ける Publisher タグには、基本的な表現も使用することができます。表現属性の値は以下のいずれかになります。

- プロパティ名
- 定数
- 表現 (演算子を含む 1 つ以上の表現)
- 関数の呼び出し

プロパティ名

表現は、Publisher のプロパティを参照するために使用することができます。プロパティを参照するには、[10-12 ページの「プロパティ名」](#)に記載されている規則に従ってください。

定数

定数表現は、数字定数または文字列定数のいずれかになります。

数字定数とは、任意の桁の数字文字列です。数字文字列の前にマイナス記号を置くことができます。また、数字文字列には、小数点文字を 1 つのみ含めることができます。小数点がある場合、小数点の両側に、少なくとも 1 桁ずつある必要があります。下記は、正当な表現の例です。

```
<pcs:tag expr="43">
<pcs:tag expr="-43">
<pcs:tag expr="4.3">
```

文字列定数は、一重引用符または二重引用符に囲まれている文字の文字列です。表現の引用符を属性値の周りの引用符と混乱する可能性がある場合、XML のエスケープ ルールを適用する必要があります。下記は、正当な表現の例です。

```
<pcs:tag expr="'hello'">
<pcs:tag expr="'goodbye'">
<pcs:tag expr="'don&apos;t yell &quot;help!&quot;;h'">
```

表現

すべての表現は、表現属性内でサポートされます。表現は、関係演算子、算術演算子、論理演算子を使用して、比較および結合することができます (詳細については、以下の節を参照)。



注意：比較では、大文字と小文字が区別されます。プロパティ名の場合は区別されません。文字列には、スペースおよび句読点記号を使用することができます。プロパティ名には使用できません。

例：

```
expr="story.author == 'Joe'"
```

```
expr="17 != magic_number"
expr="story_list.length != item.reference_count"
expr="item.interest_level > item.skill + item.ref.skill"
expr="'hello world' == 'hello' + ' ' + 'world'"
expr="4" (0 ÇÝÇ»ÇçêÆêîÇÖÅAèÎÇ... true ÇÝÇµÇfàµÇìÇíÇ<Ç²)
```

関係演算子

以下の関係演算子は、表現属性でサポートされています。

表 10-6 : 関係演算子

演算子	意味	JavaScript で同等の演算子
==	等しい	==
!=	等しくない	!=
>	次より大きい	>
≥	次以上	>=
<	次より小さい	<
≤	次以下	<=



注意 : 大なり記号および小なり記号は、XML では特別な意味を持ち、予約されているので、代わりに上記の同等の演算子を使用する必要があります。

```
(間違い) <pcs:if expr="subscriber_count > 100">...
(正しい) <pcs:if expr="subscriber_count &gt; 100">...
```

これらの演算子を使用した比較表現の結果は、True または False というブール値になります。

2 つの文字列を比較する際は、大文字と小文字が区別されます。

```
expr="'blue'=='Blue'" の結果は false です。
```

プロパティに値が含まれているかどうかを判断するには、次のように null と比較してください。

```
expr="story.coauthor == null"
```

さまざまなタイプの値を比較する場合、以下の規則が適用されます。

表 10-7 : 比較 - 規則

値のタイプ	等価演算子 (== と !=)	関係演算子 (>、≥、<、≤)
テキスト対テキスト	同じ順番で全く同じ文字	最初に異なる文字をアルファベット順で比較
数字対数字	同じ数字の値	数値の相対比較
列挙対列挙	列挙の同じタイプに基づいており、同じ選択を含む	該当しない

表 10-7 : 比較 - 規則

値のタイプ	等価演算子 (== と !=)	関係演算子 (>、>=、<、<=)
テキスト対数値	テキストが数値に変換され、比較される	テキストが数値に変換され、比較される
テキスト対列挙	列挙がテキストに変換され、比較される	該当しない
アイテム対アイテム	同じアイテム	該当しない

算術演算子

以下の算術演算子が定義されています。

表 10-8 : 算術演算子

演算子	意味	備考
+	数値の加算またはテキストの連結	両方のオペランドが数値である場合、それらの合計を計算する。それ以外の場合は、オペランドをテキストとして扱う
-	数値の減算	いずれかのオペランドがテキストである場合、計算する前に数値に変換する
*	数値の乗算	上記と同じ
/	数値の除算	上記と同じ
%	数値の剰余	上記と同じ

これらの演算子は、JavaScript の演算子と同じです。JavaScript と同様、すべての数値は実数として扱われます。したがって、2 つのプロパティ値が整数でも、それらのプロパティ値を計算すると、結果は実数になります。例えば、5/4 は、1.25 です。結果が、1 になる言語とは異なります。

論理演算子

以下の論理演算子が定義されています。

表 10-9 : 論理演算子

演算子	意味	JavaScript で同等の演算子
∧	論理 AND	&&
∨	論理 OR	
!	論理 NOT	!

JavaScript と同様、いくつかの同様の論理演算子の表現の結果は、論理演算子を満たす最初のオペランドの値になります。残りのオペランドは評価されません。AND 演算子は、False と評価された最初のオペランドによって満た

されます。OR 演算子は、True と評価された最初のオペランドによって満たされます。以下の表では、いくつかの例を示します。

表 10-10 : 論理表現の例

表現	結果
"foo" & "bar"	bar
" " & "bar"	" "
" " & 0	" "
"foo" "bar"	"foo"
" " "bar" "bax"	"bar"
" " 0	0
!" "	True
!"foo"	False

演算子の優先順位

演算子が評価される順番は、JavaScript の場合と同じです。高い優先順位を持つ操作は、低い優先順位を持つ操作より前に実行されます。同じ優先順位を持つ演算子は、左から右に評価されます。以下の演算子のリストでは、優先順位が最も高い演算子から最も低い演算子の順にリストされています。

最も高い

!

()

.

* / %

+ -

> >= < <=

== !=

&

|

最も低い

関数

表現で利用できる関数は、システムで予め定義されているものに限られます。

表 10-11: プロパティで利用できる関数

関数	パラメータ	戻り値
<code>itemByPath(path)</code> <code>itemByPath(folder, path)</code>	<code>path</code> : 文字列 <code>folder</code> : フォルダ	パスによって特定されるコンテンツ アイテム
<code>TemplateByPath(folder, path)</code>	<code>path</code> : 文字列 <code>folder</code> : フォルダ	パスによって特定される発行可能なプレゼンテーション テンプレート
<code>folderByPath(path)</code> <code>folderByPath(folder, path)</code>	<code>path</code> : 文字列 <code>folder</code> : フォルダ	パスの文字列によって特定されるフォルダ
<code>objectByUid(uid)</code>	<code>uid</code> : 文字列 (Publisher から取得される固有識別子)	UID によって特定されるオブジェクト



注意: 相対パスは、発行されるコンテンツ アイテムではなく、プレゼンテーション テンプレートに基づきます。アイテムに基づいたフォルダの相対パスを取得するには、以下を使用します。

```
<pcs:value expr="itemByPath(folder, 'my/sub/folder').name"> **Expression Failed**</pcs:value>
```

パスの使用方法に関する詳細については、後述の「パス」の節を参照してください。

以下の例で示すように、関数を使用して、別のコンテンツ アイテムのプロパティにアクセスすることができます。

```
<pcs:value expr='itemByPath("/News/Headlines")'> **Expression Failed **</pcs:value>
```

最初の例は、プロパティが取得できないため、****Expression Failed**** という結果になります。これは、以下に示すように、プロパティへの参照を追加することによって修正することができます。

```
<pcs:value expr='itemByPath("/News/Headlines").name'>
**Expression Failed **</pcs:value>
```

パス

多くの Publisher タグは、Publisher オブジェクトを参照するために、パスを使用します。パスの文字列は、ファイルシステムのパスまたは URL と同じです。すなわち、複数の名前を含む文字列をスラッシュ (/) で分離したものです。パス内の最後の名前は、対象となるオブジェクトの名前であり、それより前に示されている名前は、そのオブジェクトにたどり着くまでに通過するフォルダの名前です。

パスがスラッシュで始まる場合、それは絶対パスです。オブジェクトを特定するための検索は、発行サイトのルート フォルダから開始されます。

```
path="/library/includes/music/symphony"
```

この例では、まずサイトのルート フォルダで、「library」という名前のフォルダが検索されます。次に、そのフォルダで、「include」という名前のフォルダが検索されます。次に、そのフォルダで、「music」という名前のフォルダが検索されます。次に、そのフォルダで、「symphony」というオブジェクトが検索され、そのオブジェクトがタグによって使用されます。

パスがスラッシュで始まらない場合、それは相対パスです。オブジェクトを特定するための検索は、使用中のテンプレートまたはコンテンツ アイテムを含むフォルダから開始されます。

```
path="show/public/navbar"
```

この例では、まず現在のフォルダで、「show」という名前のフォルダが検索されます。次に、そのフォルダで、「public」という名前のフォルダが検索されます。次に、そのフォルダで、「navbar」というオブジェクトが検索され、そのオブジェクトがタグによって使用されます。



重要: フォルダ名またはオブジェクト名に含まれているスペースまたは特殊文字は、パスではアンダースコア (_) に置き換える必要があります。

```
path="Related_Templates/july_and_august/summer_festival"
```

フォルダ名およびテンプレート名に関しては、大文字および小文字が区別されません。以下のコードは、上記のパスと同じとして扱われます。

```
path="related_templates/July_and_August/SUMMER_FESTIVAL"
```

特別なパス コンポーネントである「..」(2つのピリオド、一般的に「ドットドット」と呼ばれる)は、現在のフォルダの1つ上のフォルダを示します。

```
path='../../vegetables/onions'
```

この例の場合、現在のフォルダで開始し、そのフォルダを含む1つ上のフォルダにアクセスし、更にそのフォルダの1つ上のフォルダにアクセスし、次に、「vegetables」という1つ下のフォルダにアクセスし、最後に、「onions」というオブジェクトにアクセスします。

ルート フォルダの上にはフォルダが無いため、「..」をルート フォルダに適用することは、存在しないフォルダにアクセスするのと同じ結果になります。

タグ ヘルパーを使用してプレゼンテーション テンプレートのコードを作成する方法

タグ ヘルパーは、Publisher エレメント、イメージ、およびポータル コントロールをプレゼンテーション テンプレートに含めるために利用できるインタフェースです。タグ ヘルパーの中の各タブ ページでは、プレゼンテーション テンプレート エディタの [コード] フィールドに追加することが可能な固有のタグを作成します。タグ ヘルパー ウィンドウのタブをクリックして、適切なタグにアクセスしてください。

- Value
- If
- ForEach
- Images
- Portal Controls
- Insert
- Include
- HTML

タグ ヘルパーに関する詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

Publisher エレメント (pcs タグ) に関する詳細については、[「プレゼンテーション テンプレートのコード」](#)を参照してください。

ポータル コントロールの詳細については、『Plumtree エンタプライズ ウェブ開発ガイド』を参照してください。

CSS および JavaScript ファイルの使用法

ウェブ サイトのコンテンツ アイテムを作成する場合、カスケーディング スタイル シート (.css) ファイル、または js (JavaScript) ファイル、またはその両方を使用して、複数ウェブ ページの間の一貫性を確保することができません。css ファイルおよび js ファイルを管理するには、それらのファイルを Publisher データベースに格納し、ウェブ サイトに発行します。

1. まず任意の適切なプログラムで、css ファイルまたは js ファイルを作成します。
2. Publisher エクスプローラで、手順 1 で作成した css または JavaScript ファイルからのテキストを含めるためのコンテンツ アイテムを作成します。
 - a. **長いテキスト** プロパティ タイプのプロパティを 1 つ持つデータ入力テンプレートを作成します。
 - b. プレゼンテーション テンプレートを作成します。**Value** タグを使用して、データ入力テンプレート内に作成したプロパティを参照します。
 - c. データ入力テンプレートからコンテンツ アイテムを作成し、css または js ファイルの内容をそのコンテンツ アイテムに貼り付けます。**[発行名]** には、ウェブへ発行した際、そのファイルに設定する名前を指定し、その後に拡張子 (.css または .js) を付けます。
3. Publisher エクスプローラで、.css または .js コンテンツ アイテムとの間のリンクとして使用するための別のコンテンツ アイテムを作成します。ウェブ ページは、手順 2 で作成されたコンテンツ アイテムではなく、この手順で作成されたコンテンツ アイテムを参照する必要があります。
 - a. コンテンツ アイテムをリンクさせるためのデータ入力テンプレートを作成します。このデータ入力テンプレートには、**Item** プロパティ タイプのプロパティを 1 つ設定する必要があります。
 - b. データ入力テンプレート用のプレゼンテーション テンプレートを作成します。**HTML** タグを使用して、.css または .js コンテンツ アイテムおよびその他の変数の名前を指定します。次に例を示します。

JavaScript (.js) :

```
<pcs:html:script attr:language="JavaScript" expr:src="item_name.location">
</pcs:html:SCRIPT>
```

カスケーディング スタイル シート (.css) :

```
<pcs:html:link attr:rel="stylesheet" expr:href="css_link.location"
attr:type="text/css"></pcs:html:link>
```

- c. 手順 3a で作成したデータ入力テンプレートからコンテンツ アイテムを作成します。**Item** プロパティで、手順 2c で作成した .css または .js ファイルを含むコンテンツ アイテムの名前を入力します。
4. Publisher エクスプローラで、ウェブ ページ用のデータ入力テンプレートおよびコンテンツ アイテムを作成します。
 - a. ウェブ ページに適合したプロパティおよびプロパティ タイプを持つデータ入力テンプレートを作成します。

- b. データ入力テンプレート用のプレゼンテーション テンプレートを作成します。**Insert** タグを使用して、手順 3 で作成したコンテンツ アイテムを挿入します。次に例を示します。
`<hps:insert path="/assets/css_linked_item"></hps:insert>`
- c. 手順 4a で作成したデータ入力テンプレートから、.css または .js ファイルを使用するコンテンツ アイテムを作成します。



重要: 手順 2 および手順 3 で作成したコンテンツ アイテムをウェブ ページとともに発行する必要があります。

別の .css または JavaScript ファイルを適用する必要がある場合、新しい .css または .js ファイルのコンテンツを、手順 2c で作成したコンテンツ アイテムにコピーし、ウェブ サイトに再発行します。

プレゼンテーション テンプレート ツール

Publisher では、JSP 形式でプレゼンテーション テンプレート ツールが提供されます。プレゼンテーション テンプレートの作成者はこれらのツールを使用して、発行されたコンテンツから Publisher の機能にアクセスできます。

以下の JSP があります。

- content_item.jsp
- create_folder.jsp
- search.jsp

content_item.jsp

これは、コンテンツ アイテム エディタを開くために使用します。

表 10-12 : content_item.jsp のパラメータ

パラメータ	説明
fid	新しいコンテンツ アイテムを作成するフォルダの ID。
dfid	det パラメータで指定したデータ入力テンプレートを格納するフォルダの ID。
det	新しいコンテンツ アイテムを作成するために使用するデータ入力テンプレートの名前。データ入力テンプレートは、dfid または fid で指定したいいずれかのフォルダ内に格納される必要がある。
ctid	新しいコンテンツ アイテムを作成するために使用するデータ入力テンプレートの ID。
ciid	コンテンツ アイテム エディタで開くコンテンツ アイテムの ID。
checkout	ciid で指定したコンテンツ アイテムをチェックアウトするには、True に設定する。
view	「submit」に設定すると、ユーザーはコンテンツ アイテム エディタの簡易提出ビューを取得する。

例：

記事 (articles) フォルダ内に新しいコンテンツ アイテムをニュース記事データ入力テンプレート (これも記事フォルダ内にある) を使用して作成するには、次のように指定します。

```
<pcs:value expr='pcs_location'></pcs:value>/published_tools/
content_item.jsp?fid=<pcs:valueexpr="folderByPath('Articles').pcs_id"></
pcs:value>&det=News%20Article"
```

既存のコンテンツ アイテムを編集するには次のように指定します。

```
<pcs:value expr='pcs_location'></pcs:value>/published_tools/
content_item.jsp?ciid=<pcs:value expr='pcs_id'></pcs:value>
```

create_folder.jsp

これは、ユーザーに新しいフォルダを作成するように促します。

表 10-13 : create_folder.jsp のパラメータ

パラメータ	説明
fid	新しいフォルダを作成する親フォルダの ID。

例：

ユーザーに記事 (articles) フォルダ内に新しいフォルダを作成するように促すには、次のように指定します。

```
<pcs:value expr="pcs_location"></pcs:value>/published_tools/
create_folder.jsp?<pcs:value expr="folderByPath('Articles').pcs_id"></pcs:value>
```

search.jsp

これは、特定のポートレットに関連付けされた発行済みコンテンツ アイテムを検索するために使用します。

表 10-14 : search.jsp のパラメータ

パラメータ	説明
fid	ここで指定したフォルダ ID と同じポートレットに関連付けられているコンテンツ アイテムを検索する。指定されていない場合、現在のポートレットに関連付けられているコンテンツ アイテムを検索する (存在する場合)。
searchtext	検索する文字列。

例：

現在のポートレットに関連付けされたコンテンツ アイテムで文字列「hello world」を検索するには、次のように指定します。

```
<pcs:value expr="pcs_location"></pcs:value>/published_tools/
search.jsp?searchtext=hello%20world
```

注意：上記の JSP はすべて、操作が行われるフォルダのセキュリティに従います。

11 カスタム ポートレット テンプレート の設定

ポートレット テンプレート設定ウィザードは、コンテンツ管理者が、カスタマイズされた発行済みコンテンツ ポートレット テンプレートを作成できるようにします。その発行済みコンテンツ ポートレット テンプレートを使用して、コミュニティ マネージャーは、発行済みコンテンツ ポートレットを作成することができます。この機能によって、ポートレット作成者は、発行済みコンテンツ ポートレット用の提供テンプレート（お知らせ、コミュニティ ディレクトリ、およびニュース）および提供ブランディング ポートレット テンプレート（コンテンツ キャンバス、ヘッダ、フッタ）よりも幅広いニーズに対応した発行済みコンテンツ ポートレットを作成することが可能になります。

この章では、発行済みコンテンツ ポートレット テンプレートの概要および発行済みコンテンツ ポートレット テンプレートを作成および設定する方法について説明します。

発行済みコンテンツ ポートレット テンプレートについて

発行済みコンテンツ ポートレット テンプレートは、ポートレットがポートレット テンプレートから作成される際にコピーされる **Publisher** フォルダのオブジェクトから構成されます。したがって、発行済みコンテンツ ポートレット テンプレートを作成するには、以下を行う必要があります。

1. ポートレットを作成するためにコピーされる **Publisher** オブジェクト（フォルダ、コンテンツ アイテム、データ入力テンプレート、プレゼンテーション テンプレート）を作成します。これらのオブジェクトは、基本的に、ポートレットがテンプレートから作成される度にコピー（および変更）されるマスター ポートレットを構成します。**Publisher** エクスプローラを使用して、このことを行います。
2. ポートレット設定ウィザードがポートレット作成用テンプレートを表示する方法を指定し、ポートレット テンプレートから作成されたポートレットによって継承されるデフォルト値（セキュリティのデフォルトなど）を設定します。これは、ポートレット テンプレート エディタおよびポートレット設定ウィザードを通して行うことができます。

Plumtree Publisher は、ポートレット テンプレート設定ウィザードを使用して、組織の特有のニーズに合わせて設定することが可能な、3 つの発行済みコンテンツ ポートレット用の提供テンプレートおよび 3 つのブランディング ポートレット テンプレートを提供します。これらのポートレット テンプレートは、ユーザーが固有のポートレット テンプレートを作成する方法を理解する上で役立つ起点となります。

発行済みコンテンツ ポートレット用の提供テンプレートに関する詳細については、[6-1 ページの「発行済みコンテンツ ポートレット用の提供テンプレート」](#)を参照してください。

発行済みコンテンツ ポートレット テンプレートの作成および設定

この節では、発行済みコンテンツ ポートレット テンプレートを作成する上での前提条件、および以下の項目の手順について説明します。

- [「ポートレット テンプレート設定ウィザードへのアクセス方法」](#)
- [「\[メイン設定\] ページの使用方法」](#)
- [「\[詳細設定\] ページの使用方法」](#)

- [「\[オブジェクトのカテゴリ \] ページの使用方法」](#)
- [「\[テンプレート セキュリティ \] ページの使用方法」](#)
- [「\[ポートレット セキュリティ \] ページの使用方法」](#)
- [「ポートレット テンプレートの保存」](#)

前提条件

新しいポートレット テンプレートを作成するには、最低でも以下が必要です。

- ポートレット テンプレート用の Publisher エクスプローラ内のフォルダ。他の発行済みポートレットまたは発行済みポートレット テンプレートに既に関連付けられているフォルダは使用できません。
- ポートレット テンプレート用のポートレット アイテム (ポータル ページでポートレットのビューまたはエントリ ポイントとして使用されるコンテンツ アイテム) として使用するコンテンツ アイテム。

ポートレット テンプレートに以下のいずれかが必要な場合、そのポートレット テンプレートを作成する前に、それを作成する必要があります。

- データ入力テンプレート
- プレゼンテーション テンプレート
- その他のコンテンツ アイテム
- このポートレット テンプレートから作成される新しいポートレットがデフォルトで保存されるフォルダ。

同じポートレット テンプレート フォルダに、1 つのポートレット テンプレートのすべてのコンテンツ アイテム、データ入力テンプレート、およびプレゼンテーション テンプレートを含めることが一般的ですが、これは必須ではありません。例えば、多数のポートレット テンプレートに、同じヘッダまたはフッタのプレゼンテーション テンプレートを使用する場合、ポートレット テンプレートを設定する際に、プレゼンテーション テンプレートをポートレット テンプレートに関連付ける必要がありますが、プレゼンテーション テンプレートは、ポートレット テンプレート フォルダに格納する必要はありません。

ポートレット テンプレート設定ウィザードへのアクセス方法

ポートレット テンプレート設定ウィザードにアクセスするには次の手順を実行します。

1. [管理] タブをクリックします。
2. フォルダを選択し、[オブジェクトの作成] ドロップダウン リストで、[ポートレット テンプレート] を選択し、ポートレット テンプレート エディタにアクセスします。
3. [メイン設定] ページの [ウェブ サービス] エリアで、ウェブ サービスの右側にある [参照] をクリックして、[ウェブ サービスの選択] ダイアログ ボックスにアクセスします。
4. [ウェブ サービスの選択] ダイアログ ボックスで、[発行済みコンテンツ ウェブ サービス] を選択します。
5. [メイン設定] ページの [ウェブ サービス] エリアで、[このポートレットの設定] の右側にある [編集] ボタンをクリックして、ポートレット テンプレート設定ウィザードにアクセスします。

[メイン設定] ページの使用方法

ポートレット テンプレート設定ウィザードを使用して、ポートレットを作成するために、ポートレット テンプレートを使用できるように設定するには次の手順を実行します。

1. [ポートレット テンプレートの設定 | メイン設定] ページで、フォルダの右側にある [参照] をクリックして、ポートレット テンプレート用のフォルダを選択します。

2. **ポートレット アイテム**の右側にある **[参照]** をクリックして、ポートレット テンプレートのメイン コンテンツ アイテム (ポータル ページでポートレットのビューまたはエントリ ポイントとして使用されるコンテンツ アイテム) を選択します。
3. (オプション) **[ポートレットのデフォルトの保存場所]** の右側にある **[参照]** をクリックして、このポートレット テンプレートから作成される新しいポートレットがデフォルトで保存されるフォルダを選択します。ユーザーは、ポートレットを作成する際に、この選択を上書きすることができます。
4. テンプレートに追加する追加プロパティまたは追加基本設定がない場合は、**[終了]** をクリックして、ポートレット テンプレートを保存して発行することができます。しかし、さらに高度な設定を指定する必要がある場合があります。それらの高度な設定を設定するには、ウィザードの **[詳細設定]** ページ、**[オブジェクトのカテゴリ]** ページ、**[テンプレートのセキュリティ]** ページ、および **[ポートレットのセキュリティ]** ページを使用してください。



注意: ポートレット テンプレート設定ウィザードで、**[終了]** をクリックした後、ポートレットを作成するためにテンプレートを使用できるようにするには、**ポートレット テンプレート エディタ**で、**[終了]** をクリックし、ポートレット テンプレートを保存する必要があります。

[詳細設定] ページの使用方法

[詳細設定] ページでは、ユーザーが、ポートレット テンプレートからポートレットを作成する際にワークフローおよびセキュリティを指定できるように設定することができます。また、コミュニティの所有者が、ポートレット テンプレートから作成されたポートレットをカスタマイズできるようにするかどうかを選択することができます。

ポートレット テンプレート設定ウィザードで、詳細設定を選択するには次の手順を実行します。

1. ポートレット テンプレート設定ウィザードで、**[詳細設定]** をクリックして、**[ポートレット テンプレートの設定 | 詳細設定]** ページにアクセスします。
2. **[ポートレット エディタのオプション]** の **[セキュリティ フォルダ]** で、**[参照]** をクリックして、ユーザーがテンプレートからポートレットを作成する際に、Publisher のセキュリティを指定するために使用するフォルダを選択します。ユーザーは、このフォルダの継承されたセキュリティ設定を上書きすることができます。

ポートレット フォルダおよびサブフォルダの Publisher セキュリティの上書きおよび指定に関する詳細については、[6-10 ページの「発行済みコンテンツ ポートレットの Publisher セキュリティの設定」](#)を参照してください。

3. **[ポートレット エディタのオプション]** の **[ワークフロー フォルダ]** で、**[参照]** をクリックして、ユーザーがテンプレートからポートレットを作成する際に、ワークフローの割り当てを指定するために使用するフォルダを選択します。ユーザーは、このフォルダの継承されたワークフロー設定を上書きすることができます。
4. **[カスタム化の権限]** で、**[コミュニティ所有者がポートレットをカスタマイズできるようにしますか?]** を選択します。このオプションを選択することによって、コミュニティに対して編集権限を持つユーザーが、そのコミュニティ内のみの特定のポートレット プロパティをカスタマイズすることが可能になります。コミュニティ用にポートレットをカスタマイズする理由および方法を、コミュニティの所有者に説明するための手順を入力してください。入力した手順は、ユーザーがコミュニティ エディタで **[ポートレットの基本設定]** をクリックし、ポートレットの名前の横にある編集アイコンを選択した際に、**[コミュニティの基本設定]** ページに表示されます。

コミュニティ エディタの **[コミュニティの基本設定]** ページに関する詳細については、『**Plumtree コーポレート ポータル管理者用ガイド**』、またはオンライン ヘルプを参照してください。

[オブジェクトのカテゴリ] ページの使用方法

ポートレット設定ウィザードで、編集を行うために表示する Publisher オブジェクト (データ入力テンプレート、プレゼンテーション テンプレート、およびコンテンツ アイテム) を指定するには次の手順を実行します。

1. ポートレット テンプレート設定ウィザードで、[オブジェクトのカテゴリ] をクリックして、[ポートレット テンプレートの設定 | オブジェクトのカテゴリ] ページにアクセスします。
2. 編集を行うために表示するオブジェクトの基本カテゴリを少なくとも 1 つ入力し、各カテゴリに対してオブジェクトを入力します。各カテゴリは、ポートレット設定ウィザードで別々のページに表示されます。カテゴリおよびオブジェクトを入力する方法は 2 つあります。
 - ウィザードによってカテゴリおよびオブジェクトが自動的に作成されるようにするには、[自動] ボタンをクリックします。システムは、ポートレット テンプレート フォルダ内のコンテンツ アイテムを検索し、これらのコンテンツ アイテムに関連するすべてのオブジェクト (プレゼンテーション テンプレート、データ入力テンプレートなど) を検出し、各コンテンツ アイテムおよび関連するオブジェクトに対してカテゴリを作成します。[オブジェクト] 枠に、カテゴリのすべてのポータル オブジェクトを設定するには、カテゴリをクリックします。
 - カテゴリを作成し、オブジェクトを手動で入力するには、[新しいカテゴリの追加] をクリックし、次に、[新規カテゴリ] をクリックして、名前を付けることによって、[オブジェクトの追加] アイコンを有効にします。[オブジェクトの追加] をクリックして、カテゴリに含めるオブジェクトを選択します。

各カテゴリおよびオブジェクトの説明を入力します。入力した説明は、ポートレット設定ウィザードの各カテゴリのページに表示されます。この説明によって、ポートレットの作成者に、ポートレットのプレゼンテーションおよびデータ構造を決定する上での各カテゴリの役割に関する説明を提供することができます。

[テンプレート セキュリティ] ページの使用方法

Publisher 内のポートレット テンプレート フォルダのセキュリティを設定するには、[テンプレート セキュリティ] ページを使用します。

ポートレット テンプレートのポータルセキュリティは、ポートレット テンプレートの Publisher セキュリティ (すなわち、ポートレット テンプレートを構成する Publisher アイテム: ポートレット テンプレート フォルダ、サブフォルダ、コンテンツ アイテム、データ入力テンプレート、およびプレゼンテーション テンプレート) とは別に管理されます。基本的に、ポータル管理でポートレット テンプレートへのアクセス権限を持つユーザーは、Publisher でもポートレット テンプレートに対する同じレベルのアクセス権限を持つ必要があります。ポータル セキュリティを Publisher セキュリティにマッピングしないと、ユーザーがポートレット テンプレートからポートレットを作成しようとした際、ポートレット テンプレートの Publisher アイテムへのアクセスが拒否され、ポートレットを作成できなくなります。

ポータル テンプレート フォルダの Publisher セキュリティを設定し、ポートレット テンプレートのポータル セキュリティをその Publisher セキュリティにマップするには次の手順を実行します。

1. ポートレット テンプレート設定ウィザードで、[テンプレート セキュリティ] をクリックして、[ポートレット テンプレートの設定 | テンプレート セキュリティ] ページにアクセスします。
2. [セキュリティ設定] で、[編集] をクリックして、[コンテンツのセキュリティ] ページにアクセスします。そのページでは、テンプレート フォルダのセキュリティ設定を編集することができます。
3. [コンテンツのセキュリティ] ページで以下を実行します。
 - ポートレット テンプレートに、そのポートレット テンプレートが含まれている Publisher フォルダの Publisher セキュリティを継承させるため、ポートレット テンプレートのポータル セキュリティをその

Publisher セキュリティにマップしない場合、[**セキュリティの継承**] チェック ボックスをクリックします。このオプションは、ポートレット テンプレートを作成する際、デフォルトでチェックされています。

- ポートレット テンプレートの Publisher セキュリティを指定する場合、または、ポートレット テンプレートのポータル セキュリティをその Publisher セキュリティにマップする場合、[**セキュリティの継承**] チェック ボックスをオフにします。この場合、[**ユーザーおよびグループの追加**] ボタン、[**ポートレット セキュリティ マップの追加**] ボタン、および [**新規ポートレット テンプレート**] とラベルの付いたショートカット ボタンが有効になります。既に、テンプレートに名前を付け、保存している場合は、このボタンには、ポートレット テンプレートの名前が表示されます。
- ポートレット テンプレートの Publisher セキュリティを指定するには、[**ユーザーおよびグループの追加**] ボタンを使用して、ユーザーおよびグループを選択し、追加します。[**役割**] の列を使用して、役割をそのユーザーおよびグループに割り当てます。
- ポートレット テンプレートのポータル セキュリティをその Publisher セキュリティにマップするには、まず [**新規ポートレット テンプレート**] (またはポートレット テンプレートの名前の付いた) ボタンをクリックします。それにより、ポートレット テンプレートの Publisher の役割にポータルのアクセス権限をマップすることを可能にするフィールドが有効になります。ポートレット テンプレートの名前が、[**ポータル オブジェクト**] 列内に表示されます。[**役割のアクセス レベル**] 列で、ポータル セキュリティの各アクセス レベルに対する適切な Publisher の役割を選択します。
- [**終了**] をクリックして、[ポートレット テンプレート設定 | テンプレート セキュリティ] ページに戻ります。

マッピングに関する詳細については、[4-9 ページの「Publisher セキュリティへのポータル セキュリティのマッピング」](#)を参照してください。

4. [**終了**] をクリックして、[ポートレット テンプレート設定 | テンプレート セキュリティ] ページに戻ります。

[ポートレット セキュリティ] ページの使用方法

ポートレット テンプレートから作成されたポートレットの Publisher フォルダのデフォルト セキュリティを設定するには [ポートレット セキュリティ] ページを使用します。

ポートレット テンプレートと同様、ポートレットのポータル セキュリティは、ポートレットの Publisher セキュリティとは別に管理されます。基本的に、ポータル内のポートレットへのアクセス権を持つユーザーは、Publisher でもそのポートレットのセキュリティに対して同じレベルのアクセス権を持つ必要があります。ポータル セキュリティを Publisher セキュリティにマッピングしないと、ユーザーがポートレットからニュース記事といったコンテンツ アイテムを作成しようとした際、ポートレットの Publisher アイテムへのアクセスが拒否され、そのコンテンツ アイテムを作成できなくなります。

ポートレット フォルダおよびポートレット フォルダ内で作成される全てのサブフォルダに対する Publisher セキュリティに、ポータル セキュリティをマップすることができます。

ポートレット テンプレートから作成されるポートレットの Publisher フォルダ セキュリティに、ポータル セキュリティをマップするには次の手順を実行します。

1. ポートレット テンプレート設定ウィザードで、[**ポートレット セキュリティ**] をクリックして、[**ポートレット テンプレートの設定 | ポートレット セキュリティ**] ページにアクセスします。
2. デフォルト セキュリティを設定する各フォルダに対して [**有効**] をチェックします。
3. 有効に設定した各フォルダに対して、各ポータル セキュリティ レベルにマッピングする Publisher の役割を選択します。

ポートレット エディタは、テンプレートを使用して作成されたすべてのポートレットのデフォルト Publisher セキュリティとして、これらの役割を割り当てます。例えば、「選択」ポータル アクセス レベルをポートレット フォルダの「提出者」の役割にマップした場合、「選択」ポータル アクセス権限を持つすべてのユーザーは、Publisher のポートレット フォルダに対して「提出者」アクセス権限を持ちます。

明示的な Publisher フォルダのセキュリティ設定 ([コンテンツのセキュリティ] ページのユーザー / グループの役割に表示されるセキュリティ設定) は、ここでマップしたデフォルト セキュリティによって影響されません。これらの設定は、ポートレット セキュリティのデフォルトを有効 / 無効にしているかに関わらず、階層内の 1 つ上のフォルダからコピーされます。

ここでデフォルト セキュリティ設定を指定しなかった場合、このテンプレートで作成されたすべてのフォルダの (マップされたセキュリティおよび明示的なセキュリティの両方の) デフォルト セキュリティ設定は、親フォルダから継承されます。いずれの場合も、ポートレットの作成者は、これらのデフォルトを上書きすることができます。



注意: ポートレットの作成者および編集者は、フォルダの Publisher セキュリティを設定することがポートレット テンプレートで許可されている場合のみ、ポートレット設定ウィザードから、これらのデフォルト セキュリティ設定を変更することができます。ポートレットの作成者が、Publisher セキュリティを設定できるフォルダを選択するには、ポートレット テンプレート設定ウィザードの [詳細設定] ページを使用します。ポートレットの作成者が、ポートレットの別のフォルダのデフォルトセキュリティを変更する必要がある場合、Publisher エクスプローラを使用して変更する必要があります。

マッピングに関する詳細については、[4-9 ページの「Publisher セキュリティへのポータル セキュリティのマッピング」](#)を参照してください。

Publisher のポートレット フォルダ セキュリティのデフォルトに関する詳細については、[6-10 ページの「発行済みコンテンツ ポートレットの Publisher セキュリティの設定」](#)を参照してください。

ポートレット テンプレートの保存

ポートレット テンプレートを保存して、ポートレットを作成するために使用できるようにするには次の手順を実行します。

1. ポートレット テンプレート設定ウィザードを使用して、ポートレット テンプレートの設定を終了した後、[終了] をクリックして、ポートレット テンプレート エディタに戻ります。
2. (オプション) 必要であれば、ポートレット テンプレートを更に編集します。以下のことが可能です。
 - ポートレット テンプレートの名前を入力する。
 - 名前のローカライズを有効にし、ローカライズされた名前を入力する。
 - ポートレット テンプレートのグローバル オブジェクト プロパティを入力および編集する。
3. [終了] をクリックして、[オブジェクトの保存] ダイアログ ボックスにアクセスします。ポートレット テンプレートに名前を付けて、そのポータル セキュリティを設定し、保存します。

以上で、アクセス権限が設定されているユーザーは、ポートレットを作成するために、ポートレット テンプレートを使用できるようになります。

ポートレット テンプレート エディタおよびグローバル オブジェクト プロパティ マップに関する詳細については、『プラムツリー コーポレート ポータル管理者用ガイド』およびプラムツリー コーポレート ポータルのオンラインヘルプを参照してください。

12 WebDAV の使用

WebDAV (ウェブベースの分散オーサリングとバージョン管理) プロトコルは、ユーザーが、**ウェブ フォルダのマップ**機能を使用して、ファイルを一括してアップロードおよびダウンロードできるようにします。また、Windows Explorer から、Publisher のフォルダ階層構造を表示したり、編集するためにファイル コンテンツ アイテムを開いたりすることもできるようにします。

WebDAV は、**ウェブ編集**機能を使用するために必要です。ウェブ編集機能は、Publisher でコンテンツ ファイルのプロパティを編集するプロセスを容易にします。この機能を使用することによって、ユーザーは、アップロードおよびダウンロードを行うことなく、Microsoft Office ドキュメント ファイルのプロパティをその場で編集することができます。

この章では以下の項目について説明します。

- [「ウェブ編集の有効化」](#)
- [「ウェブ フォルダのマップ機能の有効化」](#)
- [「WebDAV 設定の設定」](#)

ウェブ編集の有効化

ウェブ編集機能は、WebDAV プロトコルを使用して実行されます。デフォルトで、Publisher のインストーラは、WebDAV プロトコルをインストールし、content.properties ファイルにウェブ編集用の値を設定します。WebDAV は、Publisher のフォルダに適用されているセキュリティ設定をそのままサポートします。

クライアントのセキュリティ設定

ユーザーは、ウェブ編集機能を初めて使用する際に、**Plumtree WebEditing** オブジェクトをインストールおよび実行するように指示されます。ウェブ編集機能を使用できるようにするには、[はい] を選択する必要があります。

エンド ユーザーは、この機能を使用するために、ブラウザで、Microsoft ActiveX コントロールを有効にするか、またはプロンプトするように設定する必要があります。

ウェブ フォルダのマップ機能の有効化

ウェブ フォルダのマップ機能は、ユーザーが、ローカルの Microsoft Windows コンピュータ上のネットワーク プレイスを Publisher のディレクトリにマップできるようにします。これにより、ユーザーは、Windows Explorer を使用して、Publisher フォルダ階層を表示することができるようになります。Publisher のフォルダおよびファイルコンテンツ アイテムは、Explorer のフォルダおよびファイルとして表示されます。



注意 : Windows Explorer に表示されるのはファイル コンテンツ アイテムのみです。Publisher で作成されたコンテンツ アイテム、プレゼンテーション テンプレートといったその他の Publisher オブジェクトは表示されません。



注意: Windows Explorer で Publisher のディレクトリを表示するためにウェブ フォルダのマッピング機能を使用する場合は、フォルダ名に記号 \、/、:、*、?、"、<、> を含めないください。Windows Explorer では、これらの記号を含むファイル名またはフォルダ名を使用することができません。したがって、Windows Explorer を使用して表示した場合、そのようなフォルダは、Publisher のフォルダ構造に表示されません。

フォルダのマッピング

この節では、エンド ユーザーがウェブ フォルダのマッピング機能を使用するために実行する必要がある手順について説明します。Publisher の実稼動環境に導入する前に、これらの手順を実行し、この機能をテストすることをお奨めします。

1. **Publisher エクスプローラ**を開きます。
2. **[新規 | ウェブ フォルダ]**を選択します。
3. ウェブ フォルダをマップします。

Windows 2000 でウェブ フォルダをマップするには次の手順を実行します。

- a. **[ウェブ フォルダの場所]** テキスト ボックスの URL をコピーします。
- b. デスクトップの **[マイ ネットワーク]**を開きます。
- c. **[ネットワーク プレイスの追加]**をダブルクリックします。**[ネットワーク プレイスの追加]** ウィザードが表示されます。
- d. **[ネットワーク プレイスの場所]** テキスト ボックスに、URL を貼り付けます。**[次へ]**をクリックします。
- e. プロンプトされた場合、名前とパスワードを入力し、**[OK]**をクリックします。
- f. **[ネットワーク プレイスの名前を入力]** テキスト ボックスに名前を入力し、**[終了]**をクリックします。

新しいネットワーク プレイスが作成され、Publisher は、Windows Explorer にマッピングされます。

Windows XP でウェブ フォルダをマップするには次の手順を実行します。

- a. **[ウェブ フォルダの場所]** テキスト ボックスの URL をコピーします。
- b. デスクトップの **[マイ ネットワーク]**を開きます。
- c. **[ネットワーク プレイスの追加]**をダブルクリックします。**[ネットワーク プレイスの追加]** ウィザードが表示されます。
- d. **[次へ]**をクリックします。
- e. **[別のネットワークの場所を選択]**を選択します。
- f. **[インターネットまたはネットワークのアドレス]** テキスト ボックスに URL を貼り付けて、**[次へ]**をクリックします。
- g. プロンプトされた場合、名前とパスワードを入力し、**[OK]**をクリックします。
- h. **[ネットワークプレイスの名前を入力]** テキスト ボックスに名前を入力し、**[終了]**をクリックします。

新しいネットワーク プレイスが作成され、Publisher は、Windows Explorer にマッピングされます。

WebDAV 設定の設定

以下に示す WebDAV の高度な設定を行うことができます。

- `content.properties` ファイルを使用してウェブ フォルダのマップ機能およびウェブ編集機能を有効または無効に設定します。
- 特定のファイル タイプに対してウェブ編集機能を有効にします。
- IIS を設定します。

Content.Properties ファイルを使用した WebDAV 機能の有効化および無効化

`content.properties` ファイルの以下のプロパティを設定することによって、WebDAV 機能を有効または無効にすることができます。

表 12-1 : WebDAV の設定

設定プロパティ	設定	説明
<code>WebDavClientAccessEnabled =</code>	true	ウェブ フォルダのマップ機能を有効にする。
<code>WebDavClientAccessIsGatewayed =</code>	true	Publisher の WebDAV サーバーへのアクセスがゲートウェイを経由する。Publisher アイテムへのアクセスをゲートウェイすることによって、アイテムへのアクセスを保護することができますが、パフォーマンスは低下します。
<code>WebDavInPlaceEditingEnabled =</code>	true	ウェブ編集機能を有効にする。
<code>WebDavInPlaceEditingIsGatewayed =</code>	true	ウェブ編集機能を使用する際、Publisher の WebDAV サーバーへのアクセスがゲートウェイを経由する。

ファイル タイプごとのウェブ編集機能の有効化および無効化

ファイル拡張子に基づいて、特定のファイル タイプに対してウェブ編集機能を有効にすることができます。これは、`content.properties` ファイルで設定します。

表 12-2 : ファイル タイプの設定

設定プロパティ	拡張子	説明
<code>WebDavMSWordExtensions =</code>	.doc .dot .wiz	Microsoft Word で開く必要のあるファイルのファイル拡張子をリストする。
<code>WebDavMsExcelExtensions =</code>	.xls .xlb	Microsoft Excel で開く必要のあるファイルのファイル拡張子をリストする。

表 12-2 : ファイル タイプの設定

設定プロパティ	拡張子	説明
WebDavMSPowerPointExtensions =	.pot .ppa .pps .ppz .pwz .ppt	Microsoft Power Point で開く必要のあるファイルのファイル拡張子をリストする。



注意 : Word、Excel、または Power Point でファイルを開くために、追加の拡張子を指定することができません。しかし他のアプリケーション用に行を追加することはできません。ウェブ編集機能は、Microsoft Word、Excel、および Power Point アプリケーションのみをサポートしています。

IIS の設定

ポータルが IIS を実行している際に、ウェブ編集機能を使用する場合、ポータルが導入されている IIS ウェブ サイト上で、Front Page サーバー エクステンションが無効になっていることを確認する必要があります。

1. [スタート | プログラム | 管理ツール | インターネット サービス マネージャ] を選択します。
2. ポータルで使用するウェブ サイトを右クリックします。
3. [プロパティ] を選択します。
4. [サーバー エクステンション] タブを選択します。

サーバーがサーバー エクステンションを使用するように設定されていないことを示すメッセージが表示されれば、IIS は正しく設定されます。

[Enable authoring] チェック ボックスが表示された場合、そのチェック ボックスが選択されていないことを確認してください。

13 Publisher オブジェクトの移行

Publisher の移行インタフェースでは、管理者はポータル管理ユーザー インタフェースを使用して Publisher コンテンツをインポートまたはエクスポートできます。この章では以下の項目について説明します。

- [「Publisher オブジェクトのエクスポート」](#)
- [「ターゲット サイトへの Publisher オブジェクトのインポート」](#)

Publisher オブジェクトの移行の概要

多くの Publisher システムでは、エンド ユーザーに Publisher オブジェクトを提供する前に、それらのオブジェクトを作成およびテストするための開発サイトを使用しています。開発サイトは、エンド ユーザーがアクセスできる実稼動サイト上の Publisher システムのコピーです。この構成をサポートするため、ポータルの管理ユーザー インタフェースでは、Publisher オブジェクトをサイト間で設定を変更することなく移動できるようにします。

ポータルの [管理] ページの [移行 | インポートおよび移行 | エクスポート] ユーティリティを使用すると、Publisher のフォルダ、フォルダのメタデータ、およびフォルダのコンテンツをインポートまたはエクスポートできます。

また、移行ユーティリティを使用して、オブジェクトおよびコンテンツを、実稼動サイト、ステージング サイト、または開発サイト以外の Publisher 環境に導入することができます。例えば、このユーティリティを使用して、カスタム アプリケーション、コンポーネント、またはポートレット テンプレートを、さまざまなアプリケーション 開発者、パートナー、またはライセンスを持つ顧客のサイトに移行することができます。

下記の Publisher オブジェクトを移行することができます。

- ポートレット、ポートレット テンプレート、ユーザー、およびグループ等、内部関係が UUID によって管理されているオブジェクト。
内部関係が UUID ではなく、オブジェクト ID によって管理されているオブジェクトを移行することはできません。このようなオブジェクトには、クローラのリンク、保存された検索リンク、ディレクトリ カードへの発行などを含みます。
- データ入力テンプレート、プレゼンテーション テンプレート、コンテンツ アイテム、ファイル コンテンツ アイテム、フォルダなどの発行済みコンテンツ ポートレット オブジェクト。
- フォルダに添付されているワークフロー定義。

また、Publisher の移行を問題なく実施するには、以下の条件を満たしている必要があります。

- オブジェクトは、同じバージョン番号を持つサーバーのインスタンス間でのみ移行できます。以前のバージョンのコンテンツ サーバーのオブジェクトを、Publisher 6.2 にインポートすることはできません。
- 発行可能なオブジェクトを期限切れに設定する場合、そのオブジェクトが発行された同じサイトで期限切れに設定するようにしてください。例えば、実稼動サイトでオブジェクトを発行し、開発サイトにそのオブジェクトを移行し、その開発サイトでオブジェクトを期限切れに設定した後で、実稼動サイトにオブジェクトを移行した場合、実稼動サイトではそのオブジェクトは期限切れに設定されません。
- ワークフローに提出されたコンテンツ アイテムについては、移行前にワークフローのプロセスを完了する必要があります。ワークフローのプロセスを完了していないコンテンツ アイテムが移行された場合、そのアイテムは、ターゲット サイトのワークフローには含まれません。

Publisher オブジェクトの移行は、以下の 2 段階のプロセスです。

1. コンテンツ サーバー オブジェクトをソース サイトからエクスポートして、コンテンツ パッケージを作成します。
2. ターゲット サイトにコンテンツ パッケージをインポートします。

Publisher オブジェクトのエクスポート

Publisher オブジェクトを移行するには、ソース サイトからエクスポートすることによって、コンテンツ パッケージを作成する必要があります。

1. ポータルの管理画面を開きます。
2. [ユーティリティの選択] ドロップダウン リストから [移行 | エクスポート] を選択します。
3. 左側で [Publisher リソース] をクリックします。
4. [フォルダの追加] をクリックして、フォルダを選択するウィンドウを開きます。
5. エクスポートするフォルダを 1 つまたは複数選択します。[OK] をクリックします。
6. 選択したフォルダが [リソース] の下にリストされます。チェック ボックスを使用して、サブフォルダ、フォルダのメタデータ、またはフォルダのコンテンツをエクスポートするかどうかをフォルダごとに選択できます。以下の点に注意してください。
 - フォルダ メタデータを選択し、フォルダ コンテンツを選択しない場合、フォルダ設定のみがエクスポートされます。
 - リストされているあるフォルダが、リストされている別のフォルダのサブフォルダである場合、そのサブフォルダに適用されている設定が、親フォルダに定義されている設定を上書きします。
7. フォルダの選択が終了したら、[終了] をクリックします。
8. エクスポートの続行を確認するプロンプトが表示された場合、[OK] をクリックします。コマンドラインのエクスポート ユーティリティを Publisher オブジェクトに対して使用することはできません。

ウィンドウに、移行のステータス (successful)、移行パッケージの名前 (.pte)、およびコンテンツ パッケージの名前 (.zip) が表示されます。.zip ファイルの名前を記録しておきます。

移行パッケージ (.pte) を保存するかどうか確認されます。.pte ファイルはハードディスクに保存する必要があります。また、移行されたプロジェクト アイテムは、以下の場所のコンテンツ パッケージ (.zip) に格納されます。

<portal installation directory>\ptcs\<version>\settings\migration

ターゲット サイトにパッケージをインポートするにはこれら両方のファイルが必要になります。

ターゲット サイトへの Publisher オブジェクトのインポート

移行するフォルダを含むコンテンツ パッケージを作成した後、以下を行うことによって、パッケージをターゲット サイトにインポートすることができます。

1. .pte をインポートする前に、ターゲット サーバー上の次の場所にコンテンツ パッケージ (.zip) をコピーします。

<portal installation directory >\ptcs\<version>\settings\migration

2. ポータルの管理画面を開きます。
3. [**ユーティリティの選択**] ドロップダウン リストから [**移行 | インポート**] を選択します。
4. 移行パッケージ (.pte) のファイル パスまたはウェブ アドレスを入力するか、[**参照**] をクリックしてファイル システム内の移行パッケージを検索します。
5. [**パッケージのロード**] をクリックします。
6. パッケージをロードすると左側に表示される [**Publisher リソース**] リンクをクリックして、[**Publisher リソース**] ページに移動します。
7. [**Publisher リソース**] ページでは、該当コンテンツ パッケージ (.zip) の名前が表示されます。続行する前に、このファイルがターゲット サーバー上の **<portal installation directory>\ptcs\<version>\settings\migration** フォルダ内にあることを確認します。
8. 既存のオブジェクトを上書きする場合は [**はい**] を選択します。このオプションは、インポートしているパッケージ内のオブジェクトによって上書きされる可能性のある各オブジェクトに対して適用されます。オブジェクトの上書きは、オブジェクト名ではなく、UUID に基づいて実施されます。
9. [**終了**] をクリックします。

索引

C

CSS (カスケーディング スタイル シート) ファイル, 10-21
CSS カスケーディング スタイル シート ファイル、CSS (カスケーディング スタイル シート) ファイルを参照

D

Developer Center, 1-3

H

HTML、プレゼンテーション テンプレートのコードに挿入、10-11

I

IIS、インターネット インフォメーション サービス (IIS) を参照
Image Service, 2-10

J

JavaScript ファイル, 10-21

M

Migration ユーティリティ、オブジェクトの移行を参照

P

pcs タグ, 10-5–10-21
 foreach (繰り返し) エレメント, 10-8
 foreach (繰り返し) エレメント内で定義される補助変数, 10-9
 html エレメント, 10-11
 html エレメント、style および content 属性, 10-11
 if (条件) エレメント, 10-7
 include エレメント, 10-10
 insert エレメント, 10-10
 value エレメント, 10-7
 value エレメントの日付形式の属性, 10-7
 タグの説明, 10-6
 表現の使用, 10-15
 プロパティ表現の使用, 10-12
Plumtree Publisher エレメント、pcs タグを参照
Publisher
 アーキテクチャ, 2-9
 機能リスト, 2-2
 コンテンツの提出および発行の手順, 2-1
 定義, 2-1
 データベース, 2-10
 ポータル データベースとの関係, 2-9

 ユーザーおよび役割, 2-6, 4-5, 4-8
Publisher エクスプローラ, 3-1–3-6
 アクション バー, 3-3
 概要, 3-1
 コンテキスト メニュー, 3-4
 定義, 2-3
 ナビゲーション, 3-2
 表示設定, 3-6
Publisher エクスプローラのテーブル枠, 3-3
Publisher エクスプローラのナビゲーション枠, 3-3
Publisher 作業リスト ポートレット, 2-5, 5-6
 表示の選択, 5-8
 ワークフローを処理するために使用, 5-8
「Publisher の管理」アクティビティ権限
 定義, 4-7
 割り当て, 4-8
Publisher のセキュリティ、セキュリティを参照, 4-1
Publisher のフォルダ
 インポート, 13-2
 エクスポート, 13-2
Publisher のフォルダ階層構造
 概要, 4-1
 新規フォルダの作成, 4-4
 セキュリティの割り当ての例, 4-3
 設定, 4-1
 保護、セキュリティを参照
 例, 4-2
Publisher ビルトイン ポートレット, 2-5

S

Support Center, 1-3

W

WebDAV (ウェブベースの分散オーサリングおよびバージョン管理)
 ウェブ フォルダのマップ機能, 12-1
 ウェブ編集機能, 7-7
 設定、IIS, 12-4
 設定の設定, 12-3
 定義, 2-4
 ファイル コンテンツ アイテムの編集および管理, 7-10
 有効化、ウェブ編集, 12-1
 有効化および無効化、機能, 12-3

あ

アーキテクチャ、Publisher, 2-9
アイテム プロパティ タイプ, 9-4
アクティビティ権限
 Publisher およびワークフロー, 4-7
 割り当て, 4-8

い

- イメージ ファイル
 - アップロードおよび編集, 7-7
 - 管理, 7-8
- イメージ プロパティ タイプ, 9-5
- インターネット インフォメーション サービス (IIS)
 - 設定、WebDAV, 12-4

う

- ウェブ アプリケーション開発者、Publisher の役割へのマッピング, 2-8
- ウェブ サーバー、場所の設定, 4-11
- ウェブ編集
 - コンテンツ アイテム エディタの使用, 7-7
 - 有効化, 12-1

お

- お知らせポートレット テンプレート
 - 定義, 6-2
 - 編集可能なオブジェクト, 6-7
- オブジェクト
 - 移動, 3-5
 - インポート, 13-2
 - エクスポート, 13-2
 - 削除, 3-4
 - 名前の変更, 3-5
 - 編集, 3-4
- オブジェクトの移行
 - 定義, 2-5
- オブジェクトのコピー, 3-4
- [オブジェクトの編集] ページ, 6-5

か

- 管理者の役割, 2-7
- 管理者ユーザー, 2-8

き

- 期限切れ
 - 解除, 8-9
 - スケジュール設定, 8-4
 - 設定, 8-8
 - 定義, 2-4
- 期限切れに設定、期限切れを参照
- 寄稿者の役割, 2-6, 4-5
- 拒否
 - Publisher 作業リスト ポートレットの使用, 5-10
 - コンテンツ アイテム エディタの使用, 7-4

く

- クイックリンク, 3-6

け

- 権限、セキュリティを参照, 4-5
- 検索インデックス
 - コンテンツ アイテムの削除, 3-5
 - 除外、コンテンツ アイテム, 10-3

こ

- コミュニティ ディレクトリのポートレット テンプレート
 - 定義, 6-3
 - プロパティ フィールド, 9-7
 - 編集可能なオブジェクト, 6-8
- [コミュニティの基本設定] ページ, 11-3
- コミュニティ マネージャー, 2-8
- コンテンツ アイテム, 7-1-7-10
 - イメージ ファイル, 7-7
 - コピー、移動、名前の変更、および削除, 7-10
 - 作成および編集, 7-1-7-9
 - 定義, 2-3
 - バージョン, 2-3
 - バージョンの表示および復元, 7-5
 - ファイル コンテンツ アイテムを参照
- コンテンツ アイテム エディタ, 7-1-7-9
 - アクション バー, 7-3
 - アクセス方法, 7-1
 - コンテンツ バージョン ページ, 7-5
 - コンテンツ メモ ページ, 7-4
 - 定義, 2-3
 - 発行情報ページ, 7-5
 - ファイルおよびイメージの管理, 7-6
 - プロパティ ページ, 7-4
- コンテンツ アイテムのプレビュー
 - Publisher エクスプローラ, 3-5
 - コンテンツ アイテム エディタ, 7-3
- コンテンツ キャンバス ポートレット テンプレート
 - 定義, 6-13
 - プロパティ フィールド, 9-7
- [コンテンツのセキュリティ] ページ
 - Publisher エクスプローラへのアクセスと使用, 3-4
 - アクセス、ポートレット テンプレート設定ウィザード, 11-4
 - 使用, 4-9
 - ポートレット設定ウィザードからのアクセス, 6-6
- コンテンツの提出ポートレット, 2-5, 7-2
- コンテンツ バージョン ページ, 7-5
- コンテンツ メモ ページ, 7-4

さ

- 最近使われたコンテンツ ポートレット, 2-5, 5-6

作業アイテム, 5-1
 作業リスト ポートレット、Publisher 作業リスト ポートレットを参照
 [作業リスト - ユーザー設定] ページ, 5-11

し

実数プロパティ タイプ, 9-3
 [詳細設定] ページ, 11-3
 状態アイコン, 3-6
 承認
 Publisher 作業リスト ポートレットの使用, 5-9
 アイテムの提出, 5-7
 コンテンツ アイテム エディタの使用, 7-4
 [承認を受けるために提出] ページ, 5-7, 7-3
 診断ページ, 2-5

せ

製作者の役割, 2-7, 4-5
 整数プロパティ タイプ, 9-3
 セキュリティ, 4-5-4-11
 Publisher のフォルダ セキュリティへのポータル オブジェクト セキュリティのマッピング, 4-9
 Publisher フォルダに対するユーザーおよび役割の割り当て, 4-8
 アクティビティ権限, 4-7
 概要, 4-5
 指定、ポートレットのデフォルト セキュリティ, 11-5
 発行済みコンテンツ ポートレット, 6-10
 発行済みコンテンツ ポートレットに対するポータル オブジェクトのセキュリティのマッピング, 6-11
 発行済みコンテンツ ポートレット フォルダのデフォルト セキュリティ, 6-10
 ポートレット テンプレート用, 11-4
 役割, 2-6, 4-5
 選択リスト
 挿入、データ入力テンプレート, 9-9
 定義, 9-6
 選択リスト プロパティ タイプ, 9-5

た

タグ ヘルパー, 10-20

て

提出者の役割, 2-6, 4-5
 データ入力テンプレート, 9-1-9-10
 概要, 9-1
 コピー、移動、名前の変更、および削除, 9-10
 定義, 2-3
 提供, 9-6
 データ入力テンプレート エディタ, 9-7

プロパティ タイプ, 9-2
 データ入力テンプレート エディタ
 起動, 9-7
 使用, 9-7
 追加、プロパティ, 9-9
 [プロパティの設定] ページ, 9-9
 テキスト プロパティ タイプ, 9-2
 [テンプレート セキュリティ] ページ, 11-4

と

ドキュメント リポジトリ, 2-10
 読者の役割, 2-6, 4-5

な

長いテキスト プロパティ タイプ, 9-3
 名前の変更、オブジェクト, 3-5
 ナレッジ ディレクトリ、コンテンツ アイテムの発行, 8-4
 [ナレッジ ディレクトリへ発行] ページ, 8-4

に

ニュース ポートレット テンプレート
 定義, 6-2
 プロパティ フィールド, 9-7
 編集可能なオブジェクト, 6-7

は

発行, 8-1-8-9
 Publisher エクスプローラの使用, 3-5, 8-3
 外部ウェブ サイト, 8-7
 概要, 8-1
 コンテンツ アイテム エディタの使用, 8-3
 コンテンツ アイテムによって参照されているファイル およびイメージ, 7-8
 コンテンツ アイテムのオプションの設定, 7-5
 スケジュール設定, 8-4
 定義, 2-4
 ナレッジ ディレクトリ, 8-4
 必要条件, 8-2
 発行情報ページ, 7-5
 [発行スケジュール] ページ
 アクセス方法, 7-6
 使用, 8-4
 発行済みコンテンツ ウェブ サービス
 発行済みコンテンツ ポートレットの作成, 6-13
 発行済みコンテンツ ポートレット, 6-1-6-15
 削除, 6-15
 作成および編集, 6-1
 セキュリティの設定, 6-10
 定義, 2-2
 デフォルト セキュリティ, 6-10

発行済みコンテンツ ウェブ サービスによる作成, 6-13
 ポートレット アイテム, 6-12
 ポートレット設定ウィザードによる作成, 6-4
 ポートレット フォルダの管理, 6-12
 発行済みコンテンツ ポートレット テンプレート, 11-1-11-6
 お知らせポートレット テンプレート, 6-2, 6-7
 概要, 11-1
 コミュニティ ディレクトリのポートレット テンプレート, 6-3, 6-8
 作成および編集、ポートレット テンプレート設定ウィザード, 11-1-11-6
 設定、デフォルトのポートレット フォルダ セキュリティ, 11-5
 定義, 2-2
 提供, 6-1
 提供ポートレット テンプレートの編集可能なオブジェクト, 6-7
 デフォルトのポートレット フォルダ セキュリティの設定, 6-10
 ニュース ポートレット テンプレート, 6-2, 6-7
 保存, 11-5, 11-6
 発行済みコンテンツ リモート サーバー, 2-10
 発行済みコンテンツ ポートレット テンプレート
 コミュニティ ディレクトリのポートレット テンプレート, 9-7
 ニュース ポートレット テンプレート, 9-7
 発行ターゲット
 Publisher のフォルダ構造を作成する際に考慮すべき点, 4-2
 設定, 4-11-4-14

ひ

日付形式, 10-7
 日付プロパティ タイプ, 9-4
 表現の使用、pcs タグ
 演算子の優先順位, 10-18
 関係演算子, 10-16
 関数, 10-19
 算術演算子, 10-17
 定数, 10-15
 パス, 10-19
 比較, 10-15
 プロパティ名, 10-15
 論理演算子, 10-17

ふ

ファイル
 Publisher へのアップロードおよびダウンロード, 7-6
 アップロード, 7-6
 編集, 7-6
 ファイル コンテンツ アイテム
 WebDAV を使用した管理, 12-1
 アップロードおよび管理, 7-9
 コンテンツ アイテム エディタからの挿入および管理,

7-6
 定義, 2-4
 ファイル コンテンツ アイテムも参照
 ファイルのチェックインおよびチェックアウト
 Publisher エクスプローラの使用, 3-4
 コンテンツ アイテム エディタの使用, 7-3
 ファイル プロパティ タイプ, 7-6, 9-5
 ブール値プロパティ タイプ, 9-4
 フォルダ、作成, 4-4
 フォルダ管理者の役割, 2-7, 4-6
 [フォルダのワークフロー プロパティ] ページ, 6-6
 フッタ ポートレット テンプレート
 定義, 6-13
 プロパティ フィールド, 9-7
 プラムツリー検索、Publisher との関係, 2-10
 ブランディング ポートレット テンプレート
 コンテンツ キャンバス, 9-7
 フッタ, 9-7
 ヘッダ, 9-7
 ブランド ポートレット、作成, 6-13
 ブランド ポートレット テンプレート
 コンテンツ キャンバス, 6-13
 フッタ, 6-13
 ヘッダ, 6-13
 プレゼンテーション テンプレート, 10-1-10-22
 WYSIWYG エディタを使用してプレゼンテーション テンプレートのコードを作成する方法, 10-4
 検証、pcs 構文, 10-3
 コードおよび構文、pcs タグも参照, 10-5-10-21
 コピー、移動、名前の変更、および削除, 10-5
 作成および編集, 10-1
 参照、プロパティ (データ入力テンプレート), 10-12
 システム定義のプロパティの使用, 10-13
 単独で発行可能, 10-4
 追加、コード, 10-3
 定義, 2-3
 発行可能 vs ページ コンポーネント, 10-2
 プレゼンテーション テンプレート エディタ, 10-2
 プレゼンテーション テンプレート エディタ, 10-2-10-5
 プレビュー サイト、設定, 4-11-4-14
 プロパティ
 参照および評価、プレゼンテーション テンプレート, 10-12
 システム定義, 10-13
 追加、データ入力テンプレート, 9-9
 プロパティ タイプも参照
 プロパティ タイプ
 アイテム, 9-4
 一覧, 9-2
 イメージ, 9-5
 実数, 9-3
 整数, 9-3
 選択リスト, 9-5
 テキスト, 9-2
 長いテキスト, 9-3
 日付, 9-4
 ファイル, 7-6, 9-5

ブール値, 9-4
 リスト, 9-4
 プロパティも参照
 [プロパティの設定] ページ, 9-9
 プロパティ ページ, 7-4

へ

ページ コンポーネントのプレゼンテーション テンプレート, 10-3
 ヘッダ ポートレット テンプレート
 定義, 6-13
 プロパティ フィールド, 9-7
 編集者の役割, 2-7, 4-5

ほ

ポータル データベース、Publisher との関係, 2-9
 ポータル オブジェクト セキュリティ
 Publisher のフォルダ セキュリティへのマッピング, 4-9
 発行済みコンテンツ ポートレット フォルダへのマッピング, 6-11
 ポータル サーバー、Publisher との関係, 2-9
 ポートレット
 発行済みコンテンツ、発行済みコンテンツ ポートレットを参照
 ブランド, 6-13
 分離, 3-4
 ポートレット アイテム, 6-12
 ポートレット エディタ、発行済みコンテンツ ポートレットの作成, 6-4
 ポートレット設定ウィザード, 6-4-6-13
 [オブジェクトの編集] ページ, 6-5
 [コンテンツのセキュリティ] ページ, 6-6
 定義, 2-2
 発行済みコンテンツ ポートレットの作成, 6-14
 [フォルダのワークフロー プロパティ] ページ, 6-6
 [ポートレットの作成] ページ, 6-5
 [ポートレットの詳細設定] ページ, 6-6
 ポートレット テンプレート、発行済みコンテンツ ポートレット テンプレートを参照
 ポートレット テンプレート エディタ、発行済みコンテンツ
 ポートレット テンプレートの保存, 11-6
 ポートレット テンプレート設定ウィザード, 11-1-11-6
 Publisher のポートレット フォルダ セキュリティへのポータル セキュリティのマッピング, 11-5
 アクセス方法, 11-2
 指定、ポートレット テンプレートのセキュリティ, 11-4
 指定、ポートレット フォルダのデフォルト セキュリティ, 11-5
 [詳細設定] ページ, 11-3
 定義, 2-2
 [テンプレート セキュリティ] ページ, 11-4
 [ポートレット セキュリティ] ページ, 11-5
 [メイン設定] ページ, 11-2
 [ポートレットの作成] ページ, 6-5

[ポートレットの詳細設定] ページ, 6-6

ま

マッピング、ウェブ フォルダ
 有効化, 12-1

め

[メイン設定] ページ, 11-2

や

役割

Publisher の機能およびアクセス権限を持つ役割のリスト, 4-6
 Publisher フォルダへの割り当て, 4-8
 セキュリティも参照
 定義, 2-6, 4-5

ゆ

ユーザー
 定義, 2-6
 役割への一般的なマッピング, 2-7

り

リスト プロパティ タイプ, 9-4

わ

ワークフロー, 5-1-5-12
 Publisher 作業リスト ポートレットからの処理, 5-8
 アイテムの拒否, 5-10, 7-4
 アイテムの承認, 5-9, 7-4
 アクティビティ, 5-1
 上書き, 5-12
 概要, 5-1
 管理, 5-1
 コンテンツ アイテム エディタの機能, 5-8
 承認を受けるためにコンテンツを提出, 5-7, 7-3
 処理, 5-2, 5-6
 選択された Publisher フォルダのワークフロー アイテムの表示, 5-12
 定義, 2-4
 フォルダ プロパティ, 5-5
 フォルダへの添付, 5-5
 プロセス, 5-6
 ポートレット設定ウィザードからのポートレットのフォルダ ワークフロー プロパティの設定, 6-6
 ワークフロー エディタ, 5-3

- ワークフローおよびワークフロー アクティビティの定義, 5-3
- 割り当ての委任, 5-11, 7-4
- 割り当ての詳細の表示, 5-12
- 割り当ての転送, 5-11, 7-4
- 割り当ての要求および要求の取り消し, 5-11
- ワークフロー エディタ, 2-4, 5-3
- [ワークフロー管理] ページ, 5-3
- ワークフロー サービス, 5-1
- ワークフロー データベース, 2-10
- ワークフロー内のコンテンツ アイテム ポートレット , 2-5, 5-6
- [ワークフロー内のコンテンツ アイテム - ユーザー設定] ページ, 5-12
- [ワークフローの上書き] ページ, 5-12
- 「ワークフローの設定」 アクティビティ権限
 - 定義, 4-7
 - 割り当て, 4-8
- ワークフローの割り当ての委任
 - Publisher** 作業リスト ポートレットの使用, 5-11
 - コンテンツ アイテム エディタの使用, 7-4
- ワークフローの割り当ての転送, 5-11
 - Publisher** 作業リスト ポートレットの使用, 5-11
 - コンテンツ アイテム エディタの使用, 7-4
- ワークフローの割り当ての要求および要求の取り消し, 5-11
- [ワークフロー割り当て] ページ, 5-6, 5-12, 7-4